

Mimaki

UJF-605R

UV INKJET PRINTER

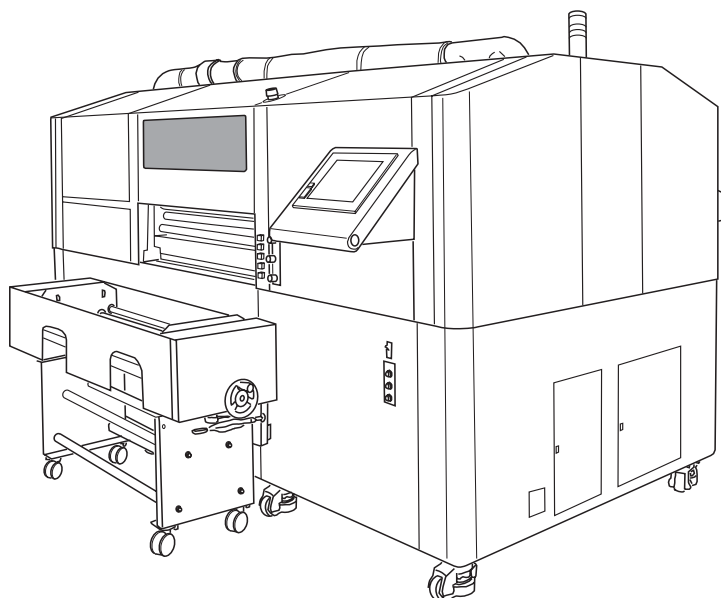
UV インクジェットプリンタ

UJF-605R

取扱説明書



- ★ 点灯中のUV ランプから出る光を、絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。



マニュアルの種類と使い方

本プリンタには、次の説明書が付属しています。

セットアップガイド

プリンタを、設置するための手順を説明しています。

本プリンタの設置は、お客様が行うことはできません。弊社サービスエンジニアおよび電気事業者がおこないます。

取扱説明書

プリンタの操作や、日常のメンテナンスなどの取扱いについて説明しています。

本書をお読みになり、十分理解してから本プリンタをお使いください。

今読んでいる
説明書です。

日常のお手入れマニュアル

プリンタの性能を十分に発揮してお使いいただくための、お客様に日常のお手入れをしていただく内容を説明しています。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

受信障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われる場合は、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- 本装置から離れた場所に、テレビやラジオを設置してください。
- 本装置と別の電源供給路にあるコンセントに、テレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、UV インクジェットプリンタ UJF-605R をご購入いただき、誠にありがとうございます。
とございます。

「UV インクジェットプリンタ UJF-605R」は、新開発の紫外線硬化インク(UV インク)使用しております。

本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

取扱説明書について

- 本書は、「UV インクジェットプリンタ UJF-605R」（以後プリンタと称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、プリンタをお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

目次

ご注意	i
電波障害自主規制	ii
受信障害について	ii
テレビ/ラジオの受信障害について	ii
はじめに	iii
取扱説明書について	iii
本プリンタのご紹介	viii
安全にお使いいただくために	ix
マーク表示について	ix
絶対にしないでください	xi
使用上のご注意	xiv
設置上のご注意	xvi
本書の読み方	xviii
タッチパネルのディスプレイの表記	xviii

1章 作図の前に

プリンタを設置する	1-2
設置場所について	1-2
プリンタの移動	1-3
レベルフットについて	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
プリンタ前面	1-4
プリンタ背面 左側	1-5
プリンタ背面 右側	1-5
操作パネル	1-6
キャリッジ	1-10
キャッピングステーション	1-10
フラッシングトレイ	1-11
ケーブルを接続する	1-12
インターフェイスケーブルを接続する	1-12
電源ケーブル接続について	1-13
UV 照射器具について	1-14
UV 照射器具	1-14
UV 照射器具表示灯の働きについて	1-15
インクカートリッジを入れる	1-17
インクステーションとヘッドの関係	1-17
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	1-18
白インク（ホワイト）の取り扱いについて	1-18
使用可能なメディアについて	1-19
メニューモードについて	1-20

2章 基本操作

作業の流れ	2-2
電源をオンにする	2-3
プリンタの情報を表示する	2-4
カバーについて	2-6
インクの初期充填を行う	2-7
メディアをセットする	2-8
作図原点を設定する	2-21
初期値	2-21
作図原点の設定	2-22
ノズル詰まりの確認 / 解消	2-25
正常なパターン	2-25
異常なパターン	2-26
データを作図する	2-27
作図を開始する	2-27
繰り返し作図する (コピー)	2-29
作図を中止する	2-30
サイクルストップ	2-31
新しいインクに交換する	2-32
カートリッジ異常が発生したら	2-33
電源のオフ	2-34

3章 日常のお手入れ

日常のお手入れ	3-2
長期間使用しない場合は	3-2
お手入れ上のご注意	3-2
テーブル、外装のお手入れ	3-2
画質不良が解消されない場合は [ステーションメンテ]	3-3
フラッシングトレイのクリーニング	3-5
廃インクタンクのインクが溜まったら	3-7
温水装置の水を交換する [おしよわか]	3-8
白インク (ホワイト) の定期メンテナンス [お休メンテナンス]	3-14
作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには	3-16
ノズル面のクリーニング	3-20

4章 ファンクション機能について

ファンクションメニューについて	4-2
メニューの基本操作	4-3
複数の作図条件をまとめて登録する（タイプの選択）	4-4
各設定機能を登録する	4-5
UV 照射器具の消灯 [UV ショウトウ]	4-8
ディスプレイの表示言語を変更する [DISPLAY]	4-9

5章 メンテナンス機能

メンテナンスについて	5-2
メンテナンス機能の導入について	5-2
設定機能一覧	5-2
設定状態を作図する [リスト]	5-3
メディアの厚みが変わったら [トットイサヒ]	5-4
ステーション内部の清掃をする [カリツク アウト]	5-6
ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合 [イノクダ ユウゲ]	5-7
ノズル面にインク滴が付着するのを防ぐ [イキワケノク]	5-8
インクセットを変更する [インクセット]	5-9
■ カラー色のみの6色インクセットに変更する	5-9
■ 特色インクを追加した8色インクセットに変更する	5-11
■ 7色インクセットの7番目の白インクを特色に変更する	5-12
インクを交換する [インク交換]	5-14
電源投入時の微量クリーニングを選択する [ヘッドメンテナンス]	5-16
UV ランプを交換する [UV ランプ]	5-17
UV ランプの照射時間を確認する	5-17
UV ランプを交換する	5-17
UV ランプの照射時間をリセットする [タイマーリセット]	5-18
UV ランプの消灯時間を設定する [ショウトウガキ]	5-19
UV 硬化が弱くなったときのチェック方法 [ウカチチェック]	5-20
UV 照度の確認方法	5-23
プリンタの情報を表示する [マシツクヨウホウ]	5-29
特色インクのノズル詰まりを防止する [トクショククリフレッシュ]	5-30

6章 困ったときは

故障?と思う前に	6-2
ディスプレイにエラーメッセージを表示しない	6-2
ディスプレイにメッセージを表示する	6-3
作図不良が発生したときは	6-4
スジ/カスレが発生する	6-4
作図中のメディア上に大きなインク滴が落ちる	6-4
作図中にメディアが浮き上がり、作図が中断する	6-4
メッセージを表示するトラブル	6-5
ワーニングメッセージ	6-5

付録

基本仕様	付録-2
インク仕様	付録-3
警告ラベルについて	付録-4
お問い合わせシート	付録-6
機能フローチャート	付録-7

索引

本プリンタのご紹介

本プリンタの持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて、作図のご理解にお役立てください。

紫外線硬化インクを使用

新開発の紫外線硬化インクの使用により、メディアに直接プリントすることができます。

高速インターフェイスを使用

高速インターフェイス「IEEE1394」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

印刷後のインク硬化定着が可能

紫外線硬化装置（UV ランプ）を搭載しておりますので、印字後、インクの硬化定着が可能です。

ワイドな印字幅

600mm（ヘッド方向）x 500mm（送り）の印字可能幅を備えています。

フィルムメディアにプリント

厚さ 0.012～0.2mm の薄いフィルムメディアに印字可能です。

ロール状フィルムメディアを自動搬送してプリントが可能

ロール巻き取りユニットを標準装備していますので、ロール状のフィルムメディアを自動搬送して印字可能です。リーフ状のフィルムメディアにも印字可能で、リーフ状のフィルムメディアに印字するときは、巻き取りユニットの脱着が可能です。

バキュームテーブルを装備

メディア固定用のバキュームテーブルを装備しています。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。
各マークの意味を理解し、本プリンタを安全に正しくお使いください。

マーク表示の例 1

本書の説明文の中によく使用しているマークです。



警告

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことを記載しています。操作の参考にしてください。

マーク表示の例 2



△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）を記載しています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を記載しています。



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、「差し込みプラグをコンセントから抜いてください」）を記載しています。

警告

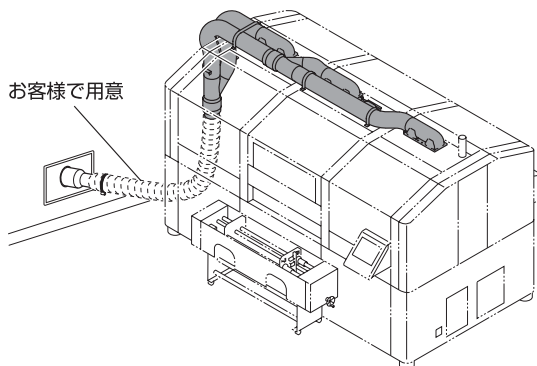


★ 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

● 排気口施工時について

本装置の故障を防ぐため、下記の注意を必ずお守りください。

1. 排気口の形状は、お客様の建物環境によりますが、開口部の面積はダクトの50%以上を確保してください。
2. 排気口に閉鎖弁等を設置する場合、本装置使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。



★ 本装置で使用するインクは、危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本装置を使用する場所は、火気厳禁としてください。



★ インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る場合があります。



★ 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。



★ 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。



★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

絶対にしないでください

はじめに

 **警 告**

分解・改造はしない



★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

湿気が多い場所では使用しない



★ 湿気が多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生



★ 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをソケットから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。

電源ケーブルの取り扱い



★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。



インクカートリッジの取り扱い



★ 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。



★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。



★ インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。
万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

接地工事



★ 本装置は、感電事故防止のため接地工事が必要です。
★ 接地工事は、C種接地工事（特別第3種接地工事）を行ってください。

保護具着用



★ 吸引ノズルやキャップのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗剤が飛び散る可能性がある場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗剤が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗剤が手に付着すると手が荒れる原因になります。



扉、蓋の開閉について



★ 本装置には開閉扉、蓋があります。扉、蓋開閉時には指、腕および胴体部の一部が挟まれる恐れがあります。万一、挟まれると、打ち身や最悪の場合、圧死もありえます。扉、蓋の開閉作業には、必ず人体の一部が挟まれることの無いように行ってください。

警告

電源、電圧について



★ 本装置には、高電圧が発生している部分があります。電気工事は、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。



★ メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源ブレーカーをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサの電荷放電時間に1分間必要な場合があります。主電源ブレーカーをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず3分後に作業するようにしてください。



★ 本装置の主電源ブレーカの投入作業も、本装置の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。



★ 接地工事は、感電事故防止のため必ず行ってください。



★ 表示された電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したソケットに差し込んでください。火災・感電の原因になります。



★ UVランプがまれに破損することがあります。定格寿命もしくは、それ以前のUVランプ交換をお勧めします。



★ 弊社推奨のランプをご使用ください。使用しない場合は、火事または器具の破損事故につながります。弊社推奨のランプ以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨のランプ以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。



★ 点灯中のランプは絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず安全眼鏡を掛けてください。



★ 紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。



★ 点灯中や消灯直後は熱いので、UVランプには手を触れないでください。ヤケドの原因となります。UVランプの交換時には、十分に冷えてから取り扱ってください。



★ ランプの交換、取付け、取外しの場合は、必ず電源をオフにして作業を行ってください。感電の原因になります。

UVランプの取り扱い



★ ガラス製品のため落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損の原因となります。



★ 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。また紙や布をランプに近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。



★ 使用済みのUVランプは割らずに必ず容器に入れ、一般の蛍光灯と同様に地域条例に従い、廃棄してください。UVランプをそのまま割るとガラス破片が飛散します。



警告

不凍液の取り扱い



★ 不凍液を取り扱う場合は、必ずゴーグルおよび手袋を着用してください。



★ 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。温水装置が故障する恐れがあります。



★ 不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）は、直接肌に触れないようにしてください。万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。

万一、不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。

また高温の温水タンク水（不凍液混合水）に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。



★ 誤って不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。



★ 不凍液をご使用の前に、必ず製品安全性データシート（MSDS）をお読みください。





















★ 不用となった不凍液または使用済みの温水タンク水（不凍液混合水）は以下の方法で処分してください。

- おがくず、ウェス等に吸着させて、焼却炉で焼却する
- 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する



★ 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。

使用上のご注意

 注意	
定期交換部品があります  ★ 本装置には、別途に定める定期交換部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めいたします。	警告ラベルについて  ★ 本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。
ホコリから守る  ★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。  ★ 夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。  ★ メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。  ★ キャッピングステーションの拭き掃除は、こまめに行ってください。  ★ ホコリが原因で、作図中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる場合があります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。(⇒P.2-26)	インクカートリッジについて  ★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから利用してください。  ★ カートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておく、正常に作図できない場合があります。  ★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。  ★ カートリッジを開封後は、お早めに使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。  ★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。  ★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。  ★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
正面カバーについて  ★ 作図中に正面カバーを開けないでください。作図が終了してしまいます。	
装置を水平に保つ  ★ 必ず、レベルフットを調整し、本装置を水平に保つようにしてください。	メンテナンス用洗浄液について  ★ メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

 注意

不凍液について



- ★ 不凍液は冷暗所で保存してください。
- ★ 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。

紫外線について



- ★ メディアの搬入、搬出部の開口部から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。



- ★ 紫外線の目への障害として、急性障害；異物等、とう痛および涙が流れる等がある。
慢性障害；白内障等がある。
本装置を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。

清掃について



- ★ 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリが溜まり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。



- ★ 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでは無く、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。



- ★ 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。



- ★ 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。



- ★ 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。

高温について



- ★ UV ランプ、UV 照射装置内部は、非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、ランプ消灯後十分温度が下がってから行ってください。



- ★ 装置外装部で高温になっている部分があります。この高温部には、高温注意銘板が貼り付けてあります。高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、触ると火傷の恐れがあります。触らないでください。



- ★ 万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。

発火、発煙について



- ★ UV ランプ等の高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。



- ★ 長年の使用で、安定器やその他使用部品についてゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性がある。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。



- ★ 長年の使用で、導電部のネジ等が緩むことが原因で、発火、発煙の可能性があります。定期的な増し締めを行ってください。



- ★ 本装置は防爆タイプではありません。危険物雰囲気での使用は爆発等の危険があります。危険物雰囲気での使用を禁止します。



- ★ 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。

 **注意**

UV ランプの注意



★ UV ランプの性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の UV 照射器具、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。



★ UV ランプ、UV 照射器具下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。(外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。)



★ ランプは、ソケットに確実に取り付けてください。落下や過熱の原因になります。

設置上のご注意

 **注意**

直射日光が当たる場所



★ 直射日光の当たる場所に、本装置を設置しないでください。

水平でない場所



★ 水平でない場所、安定しない場所に、本装置を設置しないでください。安定した作図が得られません。

温度や湿度の変化が激しい場所



★ 次の環境下でお使いください。
使用環境：15～30℃
35～65%(Rh)

振動が発生する場所



★ 振動が発生する場所に、本装置を設置しないでください。安定した作図が得られません。

エアコンなどの風が直接当たる場所



★ エアコンなどの風が直接当たる場所に、本装置を設置しないでください。インクが飛び散る可能性があります。

粉塵・タバコの煙が充満している場所



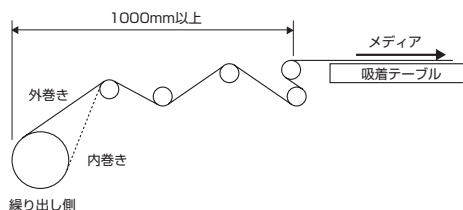
★ 粉塵、タバコの煙が充満している場所に、本装置を設置しないでください。ホコリがつきやすく、飛行曲がりなどが発生します。



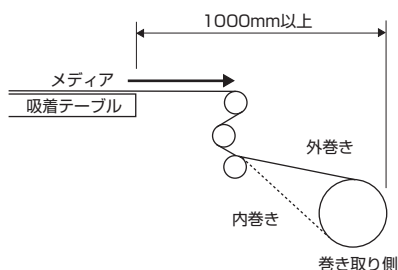
作図時の注意

ロールメディアの余白について

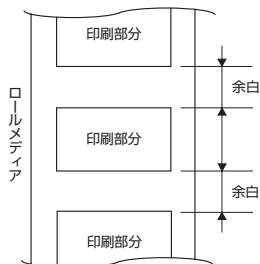
ロールメディアへの印刷開始地点は、メディア先端から最低 1000mm 以上空けてください。しわが寄る原因になります。



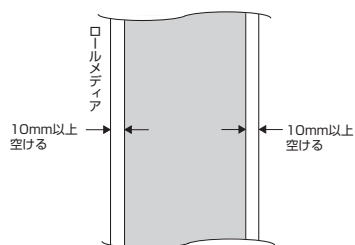
ロールメディアへの印刷は、後端まで印刷しないでください。後端から最低 1000mm 以上空けてください。しわが寄る原因になります。



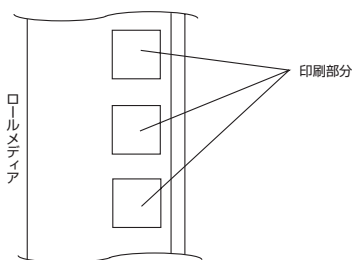
コピー印刷の際、印刷部分と印刷部分の余白は、しわが寄らない程度に RIP 側で空けてください。印刷部分と余白の部分でしわが寄り、次の印刷部分にもしわが寄る原因になります。



メディアの左右端からそれぞれ 10mm 以上内側に印刷するよう RIP 側で画像を配置してください。バキュームによって、インクがテーブルに引きつけられ、インクの付着分テーブルの高さが変わります。



印刷部分がメディア幅に対して左右どちらかに偏った印刷はしないでください。巻き取ったメディアの太さが不均等になり、しわが寄る原因になります。



使用できないフィルムについて

製袋フィルムやチューブフィルムは、テーブルに吸着できないため、使用できません。

本書の読み方

タッチパネルのディスプレイの表記

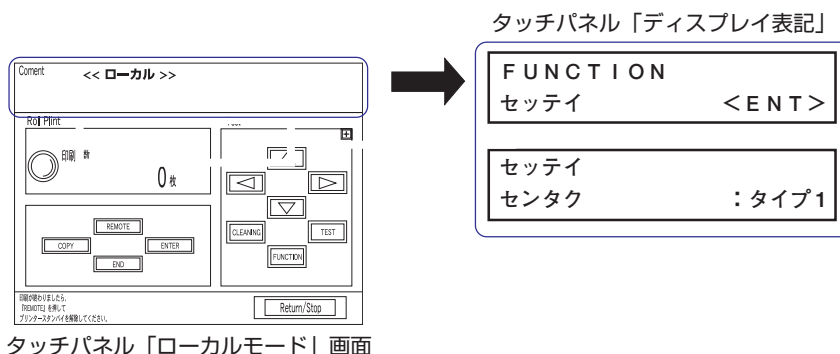
本取扱説明書では、操作手順と合わせてタッチパネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用する【 】について説明しています。(⇒ P.1-6)

ディスプレイ表記

右図のように枠の中に、表示する内容を文字表記します。

操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めます。

ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ1]・[印刷枚数]のように【 】を使用して説明しています。

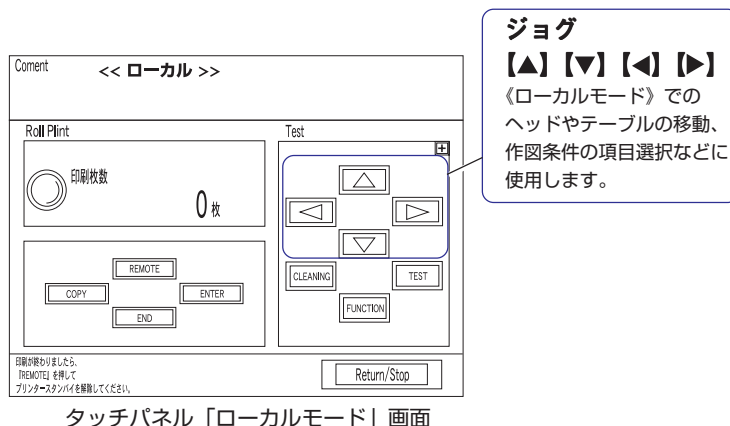


操作

本取扱説明書では、操作を【 】で説明しています。

【▲】【▼】はジョグを意味します。

その他の操作は、【FUNCTION】のように操作の名称を【 】の中に表記します。



本書の構成

本書は、6つの章に分けてプリンタの取り扱いの説明をしています。

はじめに

本プリンタをご使用になる前に、ご理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。

1章 作図の前に

プリンタの各部の名称とはたらきについて説明します。

2章 基本操作

電源のオンから作図終了までの一連の動作、設定について説明します。

3章 日常のお手入れ

日常行うプリンタのクリーニングなどを説明します。

4章 設定機能

作図条件を設定するファンクションメニューについて説明します。

5章 メンテナンス機能

ノズル詰まりの対処方法、UVランプの交換方法など、メンテナンスについて説明します。

6章 困ったときは

プリンタになんらかの異常が発生した場合のトラブル解消方法について説明します。

付録

本プリンタの仕様、機能フローチャートなどをご紹介します。

1 章

作図の前に

作図の前に、本プリンタの必要な各部の名称などについて説明します。

本書の内容

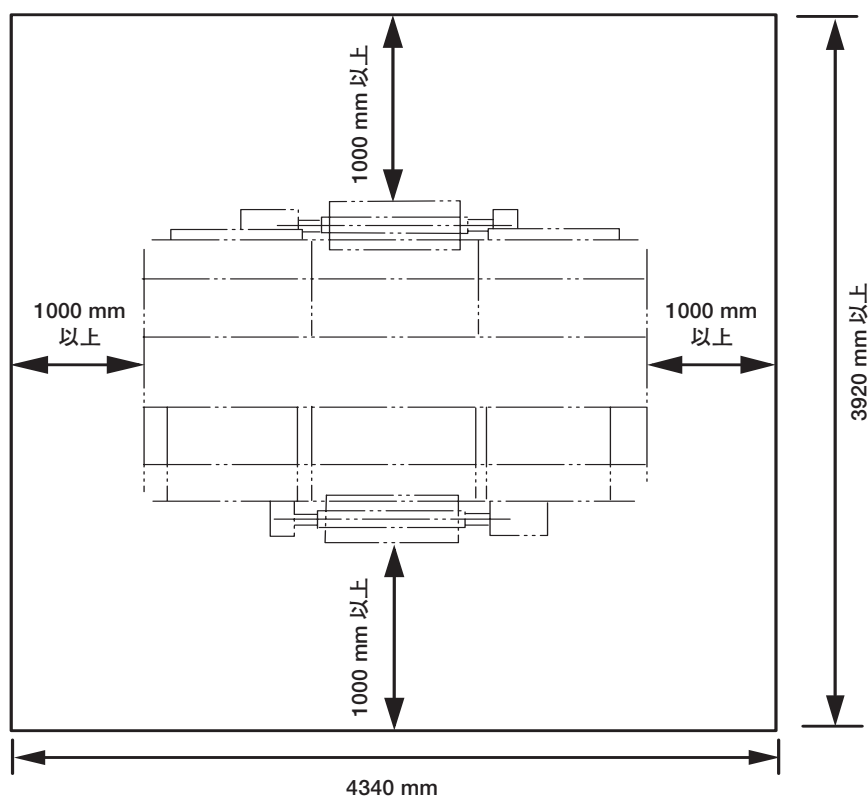
プリンタを設置する	1-2
各部の名称とはたらきについて	1-4
ケーブルを接続する	1-12
UV 照射器具について	1-14
インクカートリッジを入れる	1-17
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	1-18
使用可能なメディアについて	1-19
メニューモードについて	1-20

プリンタを設置する

設置場所について

本プリンタを組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
プリンタ本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

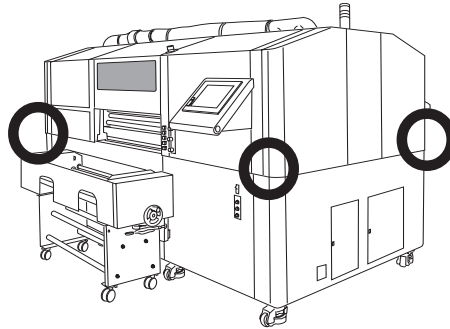
機種	横幅	縦幅	高さ	全体重量
UJF-605R	2340 mm	1920mm	1560 mm	約800 kg



- ★ プリンタの設置は、お客様が行うことはできません。弊社サービスおよび電気工事業者にお任せください。
- ★ 接地工事には、C種接地工事（特別第3種接地工事）を行ってください。
- ★ 本プリンタの電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。

プリンタの移動

本プリンタを移動する時は、レベルフットを上げてプリンタの四つ角を押して、4人以上でゆっくりと運んでください。



警告

- ★ 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になることがあります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。
- ★ 移動前にインターフェースケーブルを必ず抜いてください。
- ★ UVランプの温度が下がってから、移動してください。
- ★ 移動時は、大きな振動を与えないでください。
- ★ 移動後は、必ずレベルフットを下げてください。
- ★ 前後テーブル部分、インクカートリッジ部分を持たないでください。故障の原因となります。



注意

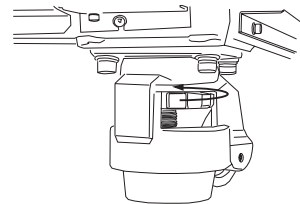
レベルフットについて

プリンタを移動する時は、テーブルフレームのレベルフットを十分に上げてください。本プリンタを設置するときは、レベルフットを下げてください。



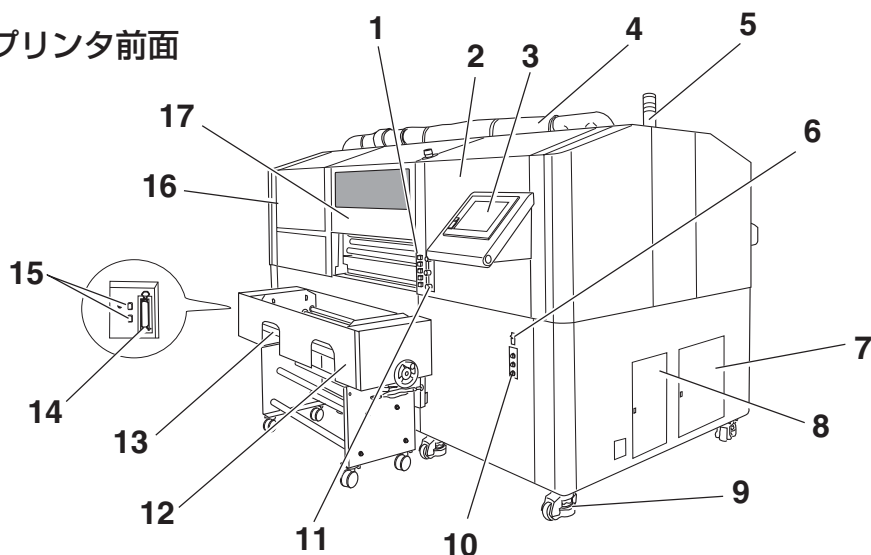
注意

- ★ レベルフットは、本プリンタに8ヶ所あります。キャスタの床面との間隔が均等になるように、少しずつ、順番に下げてください。



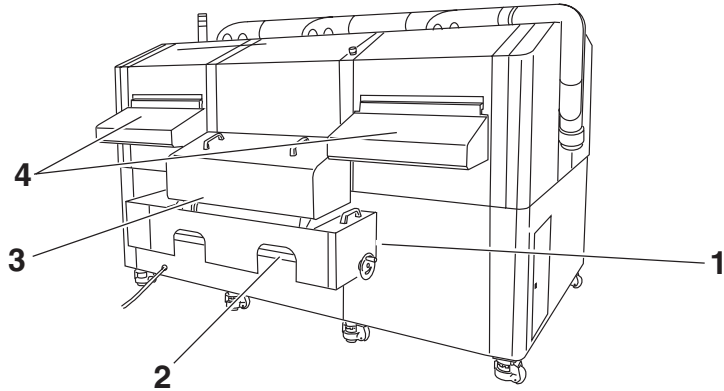
各部の名称とはたらきについて

プリンタ前面



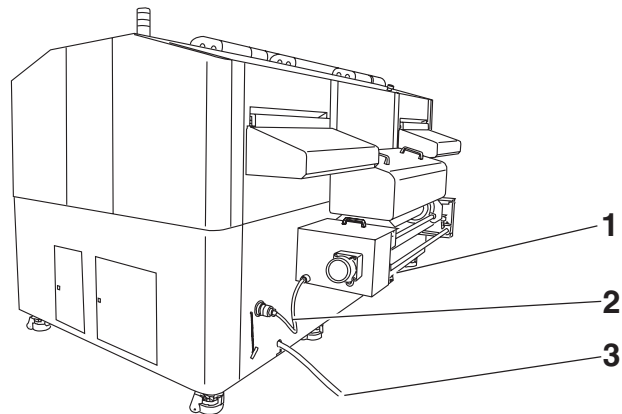
	名称	はたらき
1	サブスイッチ	メディアのセットに必要な操作ができます。(⇒P.1-9)
2	右側メンテナンスカバー	キャッピングステーションを搭載し、メンテナンス時に開閉します。
3	操作パネル (タッチパネル式)	プリンタに必要な設定を行う操作や、操作項目を表示し、指タッチして操作します。(⇒P.1-6)
4	排気ダクト	プリンタ内部の排気をします。
5	表示灯	作業中は緑色に点灯し、エラー発生時には赤色が点灯します。
6	主電源スイッチ	プリンタの電源をオン/オフします。
7	温水装置	インクの状態を適温に保ちます。(⇒P.3-8)
8	廃インクタンク	クリーニングなどで使用した廃インクを溜めるタンクを内蔵しています。(⇒P.3-7)
9	レベルフット	下げてプリンタを固定します。(⇒P.1-3)
10	UVランプ表示灯	UVランプの状態を表示します。(⇒P.1-15) 異常(赤色) / UVランプ消灯後 冷却中(橙色) / 使用可能(緑色)
11	調整ボリューム	メディア搬送のテンションと、メディアのパキューム・ブローをボリュームで調整します。(⇒P.1-9)
12	巻き取りユニット	ロールメディアを巻き取ります。
13	ロールセットバー	紙管をセンターにセットしたら、レバーを上げます。 紙管に駆動力を与えます。
14	IEEE1284コネクタ	双方向パラレルインターフェイスコネクタです。
15	IEEE1394コネクタ	400MbpsのIEEEに準拠したインターフェイスです。
16	左側メンテナンスカバー	印刷時に待機します。フラッシングトレイを搭載し、メンテナンス時に開閉します。
17	正面カバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。主電源スイッチがオフの場合でも、インク詰まり防止のため正面カバーは閉じておいてください。

プリンタ背面 右側



	名称	はたらき
1	繰り出しユニット	ロールのメディアを繰り出します。
2	ロールセットレバー	ロールメディアをセンターにセットしたら、レバーを上げます。ロールメディアに駆動力を与えます。
3	ロールメディアカバー	ロールメディアの搬送経路をカバーします。
4	インクステーション	カバーを開けて、インクカートリッジを差し込みます。

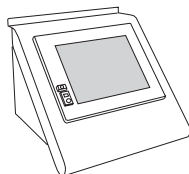
プリンタ背面 左側



	名称	はたらき
1	繰り出しユニット	ロールのメディアを繰り出します。
2	繰り出し接続用 コネクタ	繰り出しユニット作動用の電源コネクタです。
3	本体電源ケーブル	プリンタの電源を供給します。AC200V

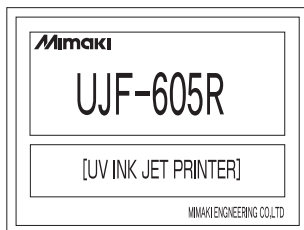
操作パネル

操作パネルはタッチパネル式で、作図方法の設定、各種操作に使用します。



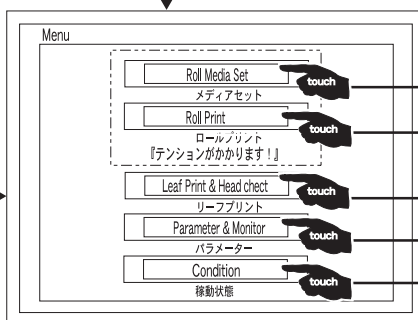
オープニング画面

プリンタが起動された時のみに表示されます。



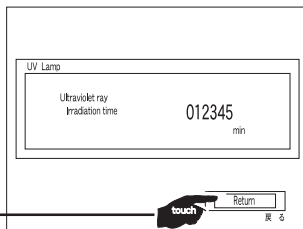
トップメニュー画面

オープニング画面が消えて、自動的に表示されます。項目を指でタッチすると、それぞれの画面に移行します。



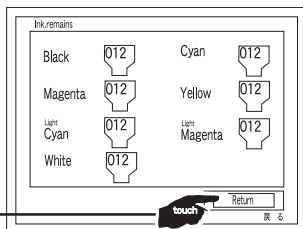
UVランプ照射時間画面

UVランプの連続照射時間を表示します。



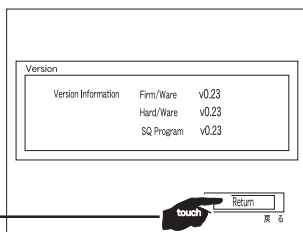
インク残量画面

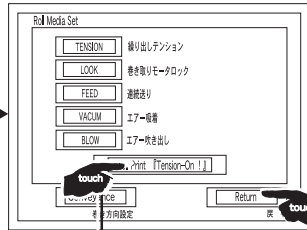
各色インクの残量を表示します。



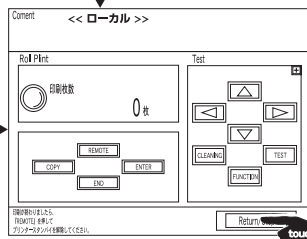
プリンタバージョン画面

Firm/Ware、Hard/Ware、SQ Programのバージョンを表示します。

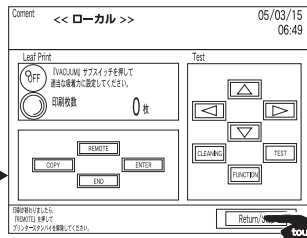




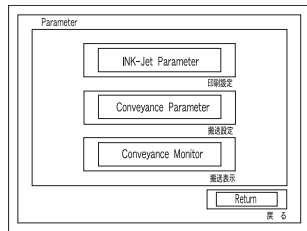
ロールメディアセット画面
ロールメディアをセットする時の操作画面です。プリンタ前面右側にあるサブスイッチでも同じ動作ができます。



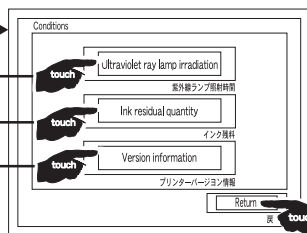
ロールプリント画面
ロールにプリントするときの、ローカルモード画面です。



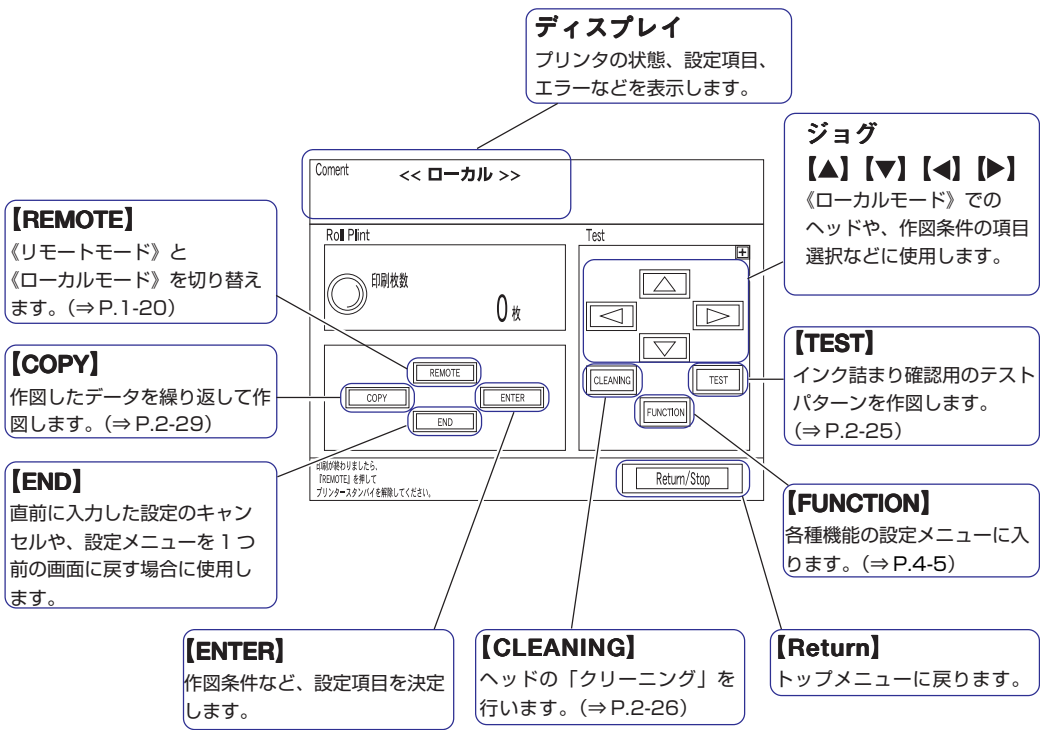
リーフプリント画面
リーフにプリントするときの、ローカルモード画面です。



パラメータメニュー画面
パラメータの設定は、サービスエンジニアが行います。



コンディション画面
項目をタッチすると、UV ランプ照射時間、インク残料、プリンタのバージョンを表示します。



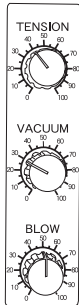
ジョグのはたらき

ジョグは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	作図原点、範囲設定時	機能選択時	設定の選択時
◀	キャリッジを左へ移動	——	——
▶	キャリッジを右へ移動	——	——
▲	キャリッジを奥側へ移動	1つ前の機能に戻る	1つ前の値を選択する
▼	キャリッジを手前へ移動	次の機能に移る	次の値を選択する

調整ボリューム

メディアをの搬送と固定に関する調整をします。



TENSION:テンションを調整します。

VACUUM:メディアを吸着固定する時の吸着力を調整します。

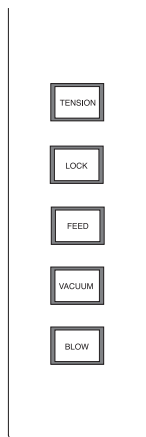
BLOW :搬送時のメディア浮上量を調整します。

サブスイッチ

メディアをセットするとき使用するスイッチで、タッチパネル上のロールメディアセット画面と同一の操作ができます。

ロール式メディアをセットするとき、タッチパネルとサブスイッチを使用します。

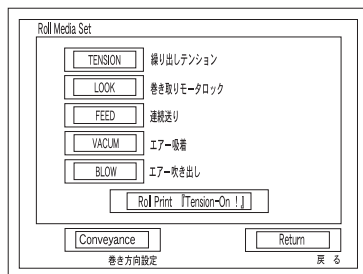
リーフ式メディアをセットするとき、VACUUM スイッチを使います。



ロール リーフ	スイッチ名称と動作内容	
<input type="radio"/>	-	【TENSION】 繰り出し側のモーターを駆動させて、テンションローラーを作動させ、メディアが繰り出し側に引っ張られる状態にします。
<input type="radio"/>	-	【LOCK】 フリー状態の巻き取り側モーターをロックします。
<input type="radio"/>	-	【FEED】 巻き取り側のモーターを駆動させて、メディアを巻き取ります。
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【VACUUM】 テーブルがメディアを吸引して、メディアを吸着固定します。
<input type="radio"/>	-	【BLOW】 テーブルがエアを吐出して、吸着固定しているメディアをテーブルから剥がして浮かせます。

○:有効 -:無効

タッチパネルの『ロールメディアセット画面』

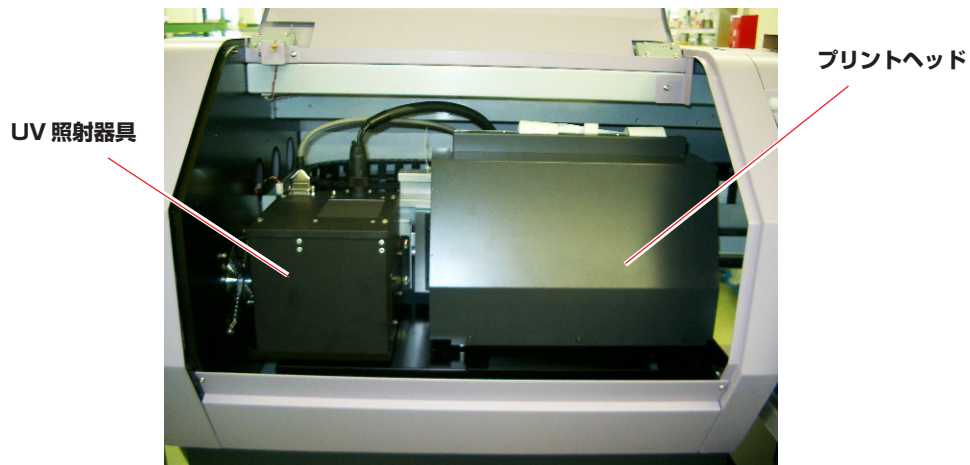


非常停止スイッチ

プリンタ本体上部に2個設置しています。非常時に押し、電源が遮断されます。再起動はスイッチを回転させてロックを解除し、電源オンから再起動させます。

キャリッジ

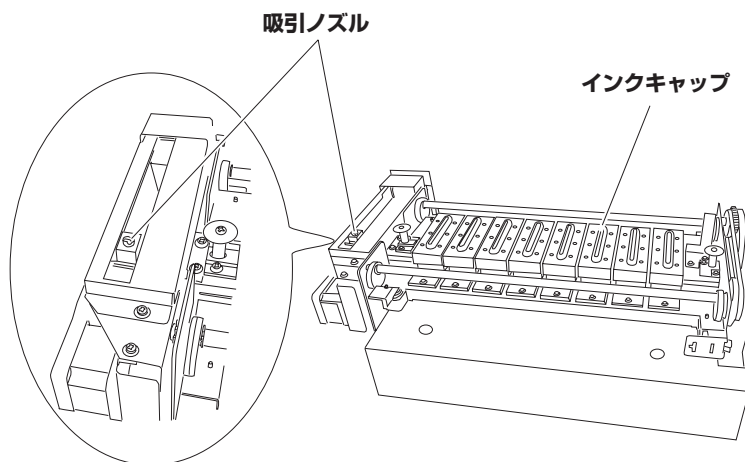
キャリッジには、作図用のプリントヘッド、UV 照射器具を搭載しています。キャリッジは待機時には左側メンテナンスカバー内部に移動します。



キャッピングステーション

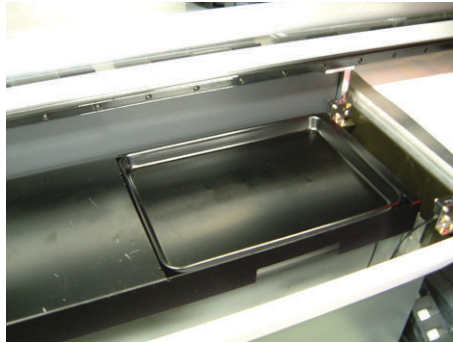
プリンタ正面の右側メンテナンスカバー内部にあります。キャッピングステーションは、プリントヘッドのメンテナンスを行うインクキャップ、吸引ノズル機構で構成されています。

(⇒ P.3-3)



フラッシングトレイ

フラッシングトレイは、プリンタ本体正面の左側メンテナンスカバー内部にあります。プリントヘッドがフラッシングした際に、フラッシングトレイに廃インクがたまります。溜まった廃インクはこまめに清掃してください。(⇒ P.3-5)



注意

- ★ フラッシングトレイには、燃えやすい物を置かないでください。UV ランプの熱で燃える原因になります。

ケーブルを接続する

インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータとプリンタをインターフェイスケーブルで接続します。

本プリンタは、2種類のインターフェイスケーブルが使用可能です。ご使用のコンピュータや、出カソフトに合わせて使用するケーブルと接続を選択してください。



- ★ インターフェイスケーブルを接続する場合は、主電源スイッチをオフにしてください。

IEEE1394 インターフェイスをご使用の場合は

ご使用のコンピュータが IEEE1394 のインターフェイスを搭載している場合は、コンピュータとプリンタを IEEE1394 のインターフェイスケーブルで接続します。

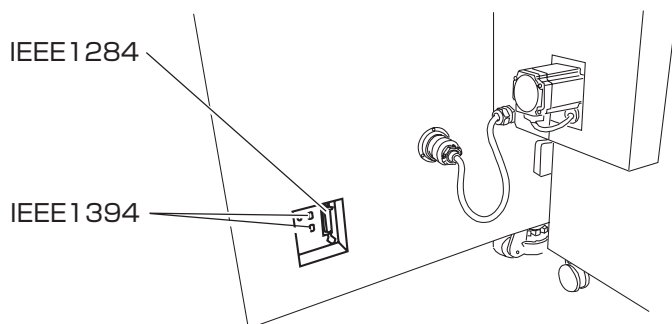


- ★ ご使用の RIP が IEEE1394 インターフェイスに対応している必要があります。
- ★ IEEE1394 の 2 つあるコネクタは、どちらでもご使用できます。
- ★ IEEE1394 のボードがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

IEEE1284 準拠インターフェイスをご使用の場合は

コンピュータとプリンタを IEEE1284 の準拠インターフェイスケーブルで接続します。

IEEE1284 で接続する場合、IEEE1394 を使用したデータ送信より遅くなります。



電源ケーブル接続について



★ 電源ケーブル接続について

本プリンタは、電源取得の際に、配電盤の工が必要です。
本プリンタの電源ケーブル接続はお客様が行うことは出来ません。
電源ケーブルを接続する場合は、必ず弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

また設置場所の移転等により、電源ケーブルの接続を変更する場合も同様に、必ず弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
サービスコールをせずに、お客様による電源ケーブル接続を行った際に生じた不具合については、弊社はいっさい責任を負いかねますので、ご了承ください。

UV 照射器具について

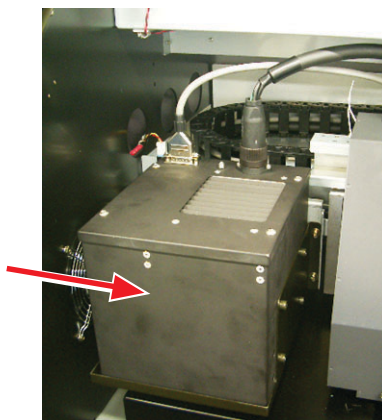
UV 照射器具



- ★ 点灯中の UV ランプから出る光を直接肉眼で見ないでください。
- ★ 点灯中、消灯後は触らないでください。熱くなり、大変危険です。

主電源スイッチをオンにしてから、2分間後には照射可能状態になります。

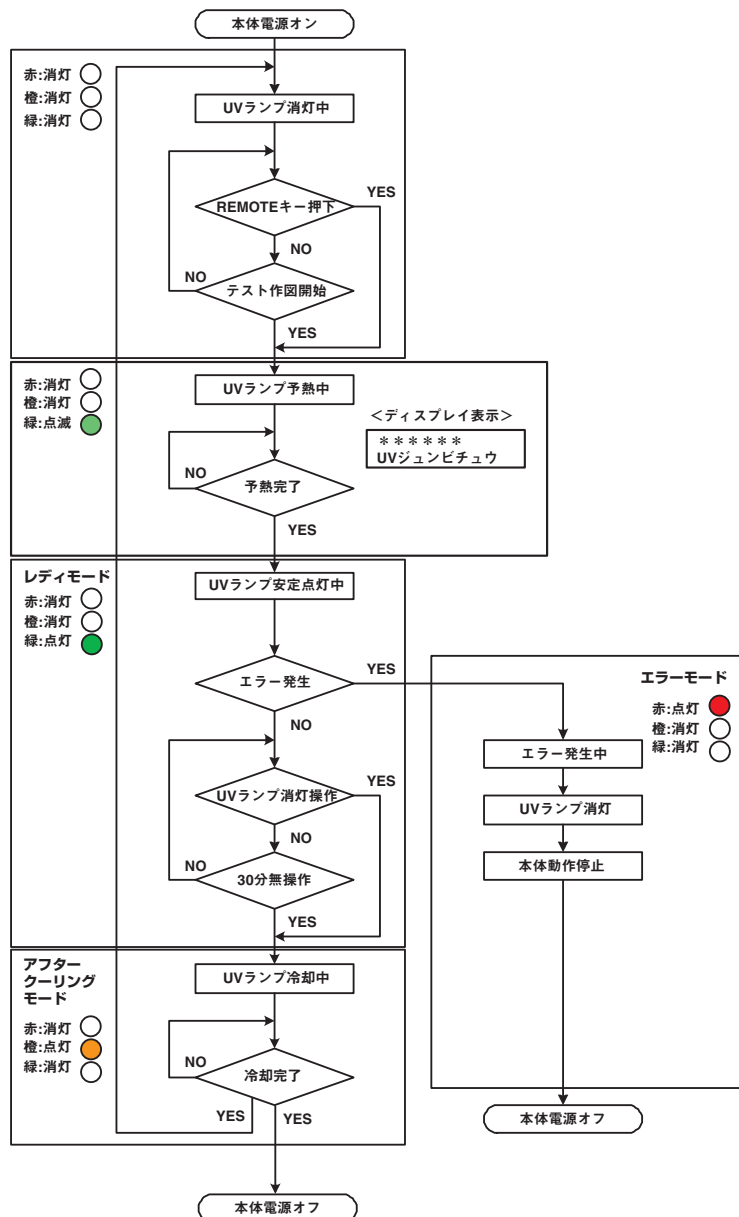
UV 照射器具は、シャッター機構を内蔵しています。作図時のみ自動的にシャッターが開きます。









UV 照射器具表示灯の働きについて

主電源スイッチの下にある、3つのUV照射器具表示灯の動作について説明します。表示灯には3つのモードがあります。プリンタ前面の表示灯にて、各モードの状態を表します。また、UVランプは30分以上作図がないと自動的に消灯します。長時間作図しない場合（30分以上）は、UVランプを消灯してください。（⇒P.4-7）

点灯フローチャート



表示灯の説明

モード	UV ランプの状態	概要
レディモード		
点灯 / 点滅 (緑色) 	[作図可能状態] UV ランプの予熱中 (点滅) UV ランプの予熱完了 (点灯) UV ランプ安定点灯中 (予熱時間 2分 30 秒～3 分)	[REMOTE]、または[Test]をタッチして、[テストサクス]を選択した時、UV ランプを予熱します。 予熱が完了すると、UV ランプの準備完了となり、作図を開始します。
消灯 	[作図不可能状態] UV ランプの消灯中 もしくは他の 2 モード	→ UV ランプの準備ができていません。
アフタークーリングモード		
点灯 (橙色) 	[作図不可能状態] UV ランプを冷却中 (6 分間)	以下の場合に、UV ランプを消灯します。 ・ 消灯するオペレーションをした時 ・ 作図後 30 分以上が経過した時 ・ プリンタにエラーが起きた時 UV ランプ消灯後、ランプ部を冷却しています。 UV ランプは再点灯できず、プリンタも作図動作は行えません。一旦、消灯するまでお待ちください。
消灯 	他の 2 モード	
エラーモード		
点灯 (赤色) 	[作図不可能状態] エラーが発生 (UV ランプは消灯する)	① UV 電源の異常 ② UV ランプのオーバーヒート UV ランプを消灯し、ランプ冷却ファンを停止します。プリンタの作図動作はストップします。 ③ UV 照射器具のシャッターが正常に動作しない場合
消灯 	正常	

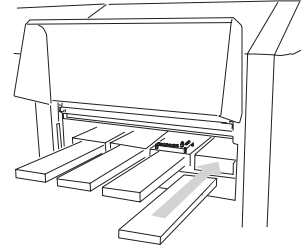
インクカートリッジを入れる

インクステーションにインクカートリッジを挿入します。



★ インクカートリッジを差し込む場合は、ICチップがある方を上面にむけて、横にして差し込んでください。

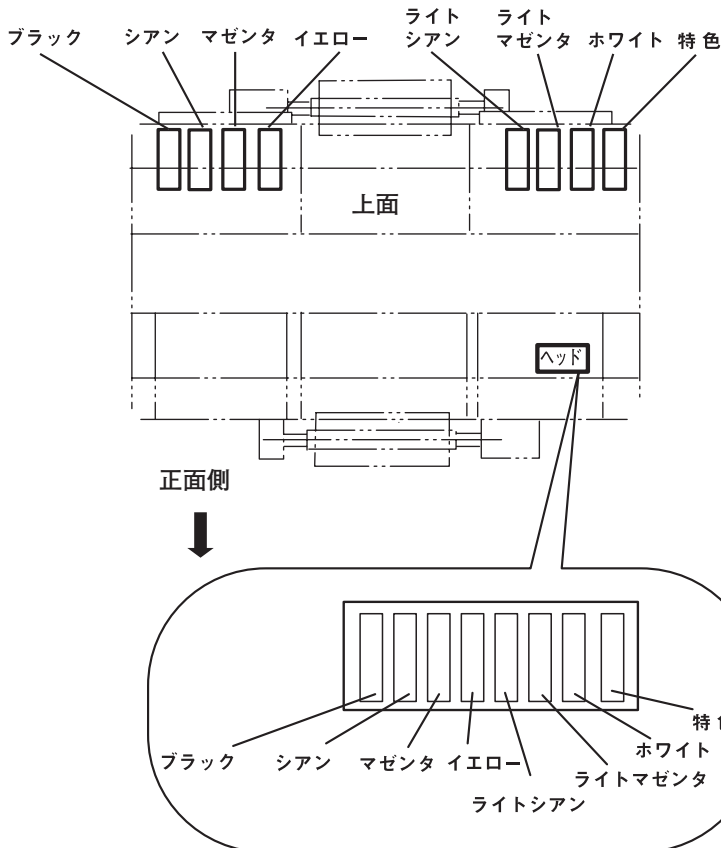
★ 主電源スイッチをオンにした後は、必ず初期充填を行ってください。
(⇒ P.2-7)



インクステーションとヘッドの関係

1列のノズルに対して1色のインクが対応しています。

ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご使用ください。



インクカートリッジ取り扱い上のご注意



- ★ インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。
- ★ インクには直接ふれないようにしてください。誤ってインクを付けてしまった場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- ★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- ★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ★ インクカートリッジは開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- ★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ★ 未使用のインクカートリッジは、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- ★ 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- ★ インクカートリッジに記載している有効期限を過ぎた場合は、そのインクカートリッジを使用しないでください。
- ★ インクカートリッジをご使用の前に、必ず安全データシート（MSDS）をお読みください。



- ★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- ★ インクカートリッジは分解しないでください。
- ★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

白インク（ホワイト）の取り扱いについて

白インク（ホワイト）は他のインクに比べて長期使用しない場合カートリッジ内部で、沈殿してしまう場合があります。白インクの状態を良好に保つため、3章をご覧になり必ず定期メンテナンス作業を行ってください。（⇒P.3-14）



- ★ インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。
- ★ 一週間に一度、白インクの状態を良好に保つため、インクカートリッジを抜き、白インクをよく振ってください。

使用可能なメディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

	ロールメディア	リーフメディア
幅	最大 640mm、最少 180mm	
最大長	ロール巻長による	540mm
最大作図幅	600mm x 500mm	
厚さ	0.02 ~ 0.2mm	
ロール外径	φ 180mm 以下	—
ロール重量	25 kg 以下	—
紙管内径	3 インチ	—

- ・ ロールメディアは、紙管にテープまたは弱粘着材で巻き終り処理を行います。
- ・ メディアサイズが小さく吸着穴が開放状態にある場合は、作図に影響のないようにテーブルの吸着穴を塞ぎ、粘着テープで固定してください。なお、吸着穴を塞ぐ手段として、メディアを用いるか、メディアよりも薄いものを使用して下さい。
- ・ 粘着テープで固定する際は、ドラフティングテープのように吸着プレートにノリが残らないものをご使用ください。
- ・ メディアと粘着テープを厚みは、0.2mm 以下にしてください。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



★ メディアの伸縮

包装を開けて間もないリーフ状のメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、30 分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。



★ メディアの反り

リーフ状メディアは、平らなもの、作図面を上にして下に反っているもの（中央が浮いているもの）をご使用ください。上に反っているメディアは、テーブルに吸着できない場合があります。反りやすいメディアは、一回り小さめの台やパレットの上に置くなど、下反りになるように保管してください。



★ テーブルを使用する場合

吸着効果を維持するために、メディアが覆えないテーブル上の吸着穴は、できるだけ使用するメディアよりも薄いメディアで塞いでください。（⇒ P.2-17）



★ その他の注意点

- ・ コート紙の表面に物を置かないでください。コート紙によっては変色する場合があります。
- ・ カールして吸着しきれないリーフメディアは使用できません。テープ貼付などでメディアを固定してからご使用ください。

メニューモードについて

本プリンタには3つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ローカルモード

トップメニュー画面の、【Roll Print】をタッチするとロールプリントのローカルモードが表示されます。

【Leaf Print & Head check】をタッチするとリーフプリントのローカルモードがタッチパネルに表示されます。ローカルモードは、作図準備状態のモードです。

全ての操作スイッチが有効です。

コンピュータから、データを受信できます。ただし、作図は行いません。

ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. ジョグを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
2. 【TEST】をタッチして、「テスト作図」を行います。
3. 【CLEANING】をタッチして、「ヘッドクリーニング」を行います。
4. 【COPY】をタッチして、作図したデータを繰り返して作図します。
5. 【FUNCTION】をタッチして、各種機能を設定します。(→ファンクションモード)

ファンクションモード

ローカルモード時に、【FUNCTION】をタッチするとファンクションモードになります。

作図方法に関する機能設定を行います。詳細は、4章設定機能、5章メンテナンス機能をご覧ください。

リモートモード

受信したデータを作図します。

作図中に【REMOTE】をタッチすると、一時停止します。

ローカルモード時は、【REMOTE】をタッチするとリモートモードになります。

2章

基本操作

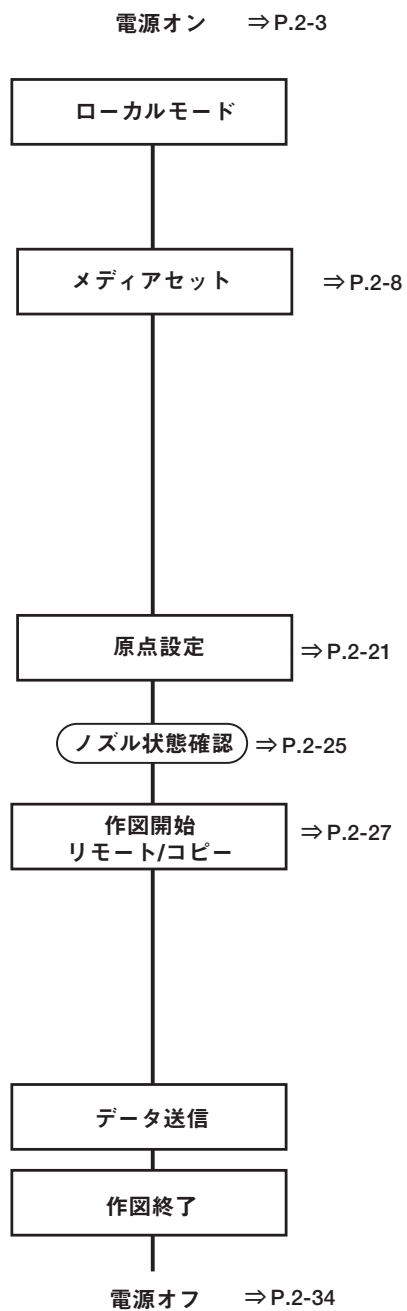
作図を行うために必要な操作について説明します。

本章の内容

作業の流れ	2-2
電源をオンにする	2-3
カバーについて	2-6
インクの初期充填を行う	2-7
メディアをセットする	2-8
作図原点を設定する	2-21
ノズル詰まりの確認 / 解消	2-25
データを作図する	2-27
新しいインクに交換する	2-32
カートリッジ異常が発生したら	2-33
電源のオフ	2-34

作業の流れ

電源を入れてから、作図が終了するまでの作業について説明します。
各項目の詳細は、参照ページをご覧ください。



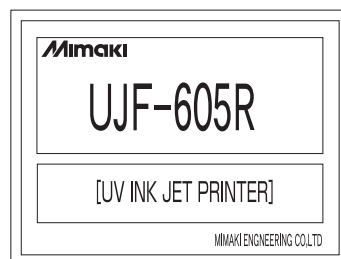
電源をオンにする

1. 主電源スイッチをオンにします。
「I」側に倒します。



電源をオンにするとタッチパネルに『オープニング画面』が表示されます。

初期動作を実行します。



2

基本操作

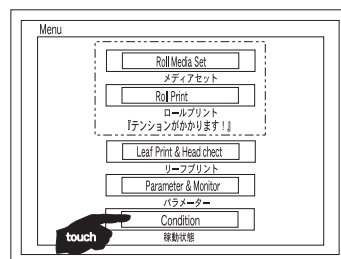


注意

- ★ 温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

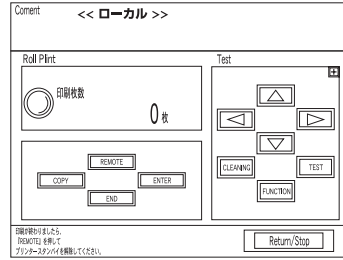
<<ローカル>>
オンスイジュンビチュウ

2. 『トップメニュー画面』が表示されたら、メディアの種類を選択します。
ロールメディアにプリントするときは、【ロールプリント】をタッチします。
ロールメディアをセットしていない場合は、【メディアセット】にタッチします。
P.2-8 「メディアをセットする」をご参照ください。



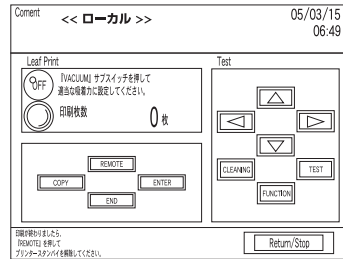
3. 『ローカルプリント画面』のローカルモードになります。

自動的にメディアにテンションがかかり、吸着がオンします。



4. リーフメディアにプリントするときは、【リーフプリント】をタッチします。

『リーフプリント画面』のローカルモードになります。



5. 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

プリンタの情報を表示する

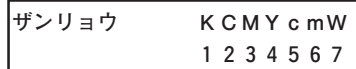
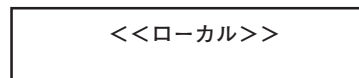
【ENTER】をタッチして、プリンタの情報を表示します。以下はローカルモード中に情報を表示する方法を説明します。



- リモートモードでも【ENTER】をタッチして、同様に情報を表示できます。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
2. 【ENTER】をタッチすると、インク残量を表示します。



3. 【ENTER】をタッチすると、バージョン、コマンドなどの情報を表示します。



V 1. 1 0 / M R L - 2 B



- 使用機種情報について、メンテナンス項目の「マシンジョウホウ」でも確認することが出来ます。
(⇒ P.5-29)

4. 【ENTER】をタッチすると、現在のUVランプの照射時間を表示します。

U V ショウシャジカン
6 0 0 h 0 0 m

- UVランプの照射時間については、「UVランプを交換する」
(⇒ P.5-17) をご参照ください。

5. 【ENTER】をタッチすると、ローカルモードに戻ります。



<<ローカル>>

カバーについて



- ★ 作図中にカバーを開けないでください。作図中にカバーを開けると、画像の作図が中断され、継続できなくなります。

作図中にカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、プリンタの作図動作が止まります。この場合、次の操作手順でプリンタ、およびコンピュータを再起動してください。

操作手順

1. 作図中にカバーを開けると、メッセージを表示します。
作図を停止します。

! カバーオープン
カバー ヲ シメテクダサイ

2. コンピュータからのデータ送信を停止します。

3. カバーを開めます。

4. 【ENTER】を1回タッチします。



(COVER OPEN)
< ENT >ヲ オシテクダサイ

シハラク オマチクダサイ

5. キャリッジが動き始めます。
プリンタの電源をオンにした時と同じ初期動作をします。

6. 【FUNCTION】をタッチして、データクリアを表示します。



<<ローカル>>

7. 【ENTER】をタッチします。
再度、作図操作をしてください。



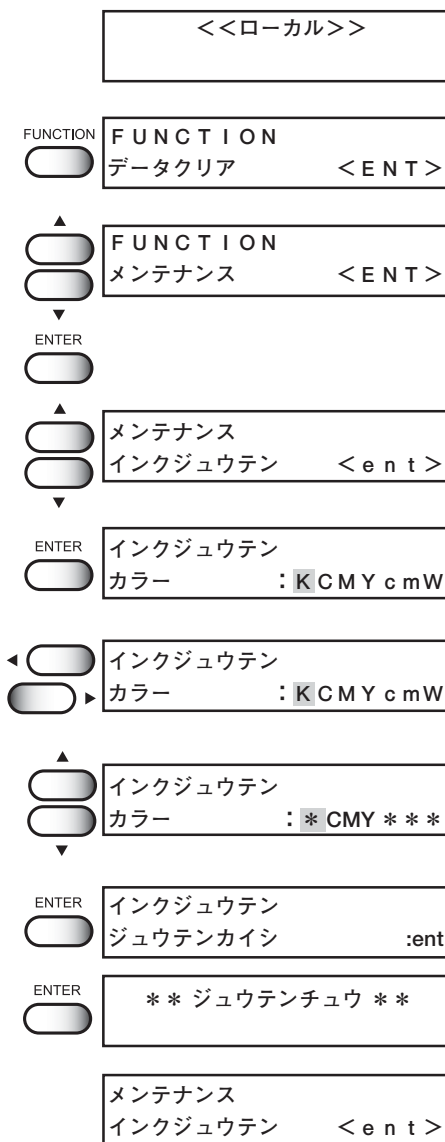
FUNCTION
データクリア < ENT >

インクの初期充填を行う

本プリンタを初めて使用する場合、プリンタにインクカートリッジを取り付けてインクを充填する必要があります。新しくインクを交換する場合は、P.2-32をご参照ください。

操作手順

1. インクステーションにインクカートリッジを正規の位置まで差し込み、セットしてあることを確認します。
2. ローカルモードになっていることを確認します。
3. [FUNCTION] をタッチします。
4. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[メンテナンス] を選択します。
5. [ENTER] をタッチします。
6. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[インクジュウテン] を選択します。
7. [ENTER] をタッチします。
8. ジョグ [◀] または [▶] をタッチして、インクを充填する色を選択します。
9. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、インクを充填する色を表示させます。インク充填をしない場合は「*」にします。
10. [ENTER] をタッチします。
11. 再度 [ENTER] をタッチします。自動的にインク充填を開始します。
12. インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。
[END] を2回タッチすると、ローカルモードに戻ります。



メディアをセットする

使用可能メディア

以下の条件を満たしているメディアのみ、ご使用できます。

	ロールメディア	リーフメディア
幅	最大 640mm、最少 180mm	
最大長	ロール巻長による	540mm 最少幅 180mm
最大作図幅	600mm x 500mm	
厚さ	0.02 ~ 0.2mm	
ロール外径	φ 180mm 以下	—
ロール重量	25 kg 以下	—
紙管内径	3インチ	—

- ・ロールメディアは、紙管にテープまたは弱粘着材で巻き終り処理を行います。
- ・テーブル吸着穴よりメディアサイズが小さく吸着穴が開放状態にある場合は、作図に影響のないようにテーブルの吸着穴を塞ぎ、粘着テープで固定してください。(P.1-19 をご参照ください)



- ★ 使用可能なメディアの厚みは、0.02 ~ 0.2mm までです。
- ★ 製袋フィルムやチューブフィルムは、テーブルに吸着できないため、使用できません。
- ★ メディアはシワの無いようにセットしてください。メディアにシワがあると、正常に作図することができません。
- ★ テーブル面幅よりも大きなメディアは使用しないでください。

テンションボリュームとバキュームボリュームの目安

以下に OPP と PET についてのテンションボリュームとバキュームボリュームの目安を示します。印刷しながら、シワが無いよう微調整してください。

メディア	厚さ (mm)	幅 (mm)	テンション	バキューム
OPP	0.02	600	50~60	25
	0.03		10~80	
	0.06		10~90	
PET	0.025		10~30	
	0.05		10~90	

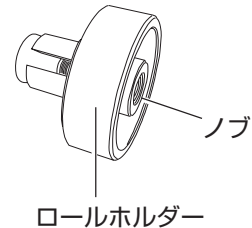
ロールメディアのセット手順



★ ロールホルダーとロールメディアの重量は、約 25 kgあります。2人でロールメディアをセットしてください。

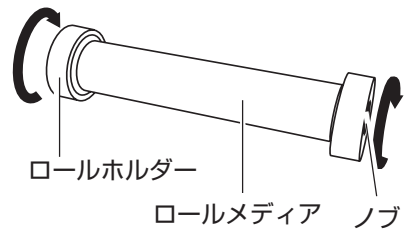
1. ロールホルダーの取り付け準備。

ロールホルダーのノブを反時計方向に回転し、ロールホルダーの先端を狭めます。



2. ロールメディアにロールホルダーを取り付けます。

ロールメディアの紙管両端に、ロールホルダーを取り付けます。
ロールホルダーのノブを、固くなるまで時計方向に回転させて固定します。

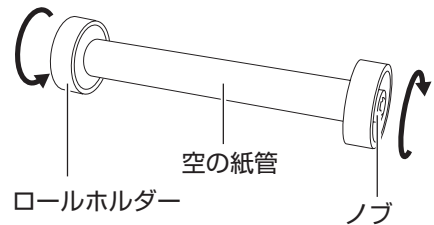


3. 空の紙管にロールホルダーを取り付けます。

空の紙管両端に、ロールホルダーを取り付けます。
ロールホルダーのノブを、固くなるまで時計方向に回転させて固定します。

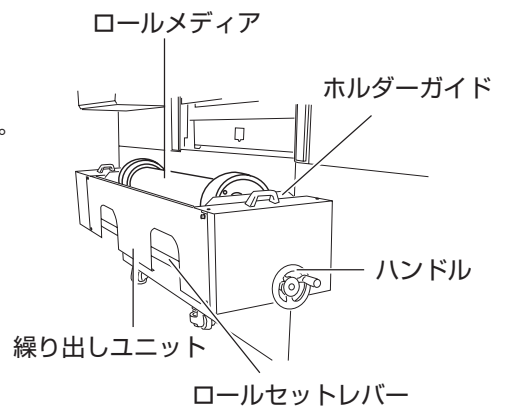


- あらかじめハンドルを反時計まわりに回転させ、ホルダーガイドを十分に開けておきます。
- ロールセットレバーは下げてください。



4. ロールメディアを巻き出しユニットに取り付けます。

両端にロールホルダーを取り付けた状態で、ロールメディアを、繰り出しユニットに取り付けます。

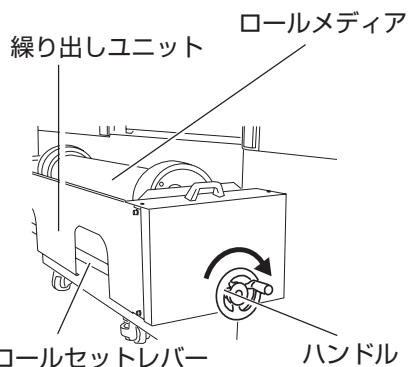


5. 繰り出しユニットに取り付けた巻き出しロールをセンターにセットします。

繰り出しユニットの右側にあるハンドルを時計方向に回転させて、ロールメディアを繰り出しユニットのセンター位置にセットします。



- ハンドルはいっぱいに締め込んだ位置から 1/4 回転程度、戻します。



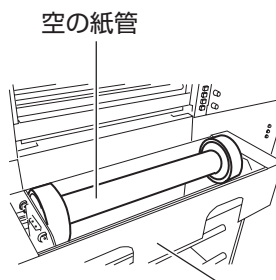
6. ロールセットレバーを上げます。

7. 空の紙管を巻き取りユニットに取り付けます。

両端にロールホルダーを取り付けた状態で、空の紙管を、巻き取りユニットに取り付けます。



- あらかじめハンドルを反時計まわりに回転させ、ホルダーガイドを十分に開けておきます。
- ロールセットレバーは下げておきます。

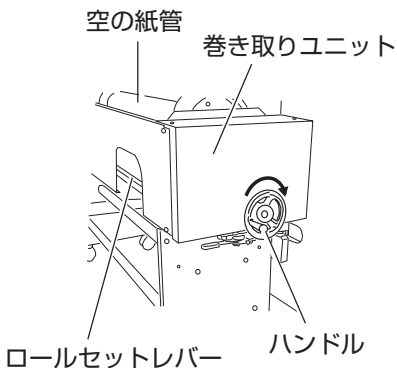


8. 巻き取りユニットに取り付けた空の紙管をセンターにセットします。

巻き取りユニットの右側にあるハンドルを時計方向に回転させて、空の紙管を巻き取りユニットのセンター位置にセットします。



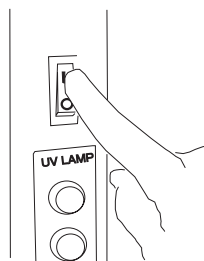
- ハンドルはいっぱいに締め込んだ位置から 1/4 回転程度、戻します。




9. ロールセットレバーを上げます。

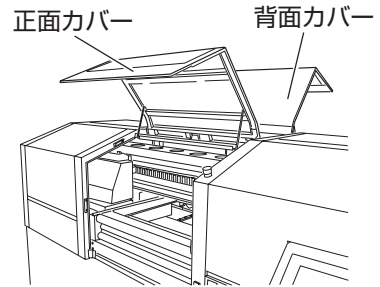
10. プリンタの電源をオンにします。

プリンタの電源をオンにして、待機状態にします。



11. 正面カバーと背面カバーを開けます。

 **注意** ★ カバーを開けたときは、必ず保持バーでカバーを保持してください。保持バーでカバーを保持しないと、カバーが下降して、ケガの原因となることがあります。

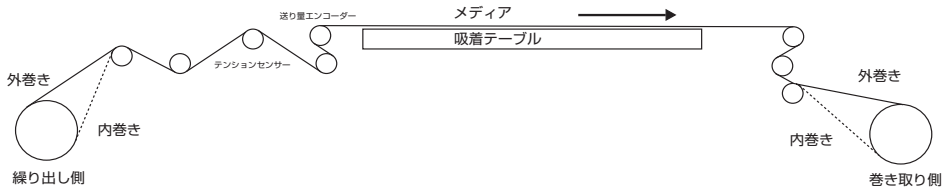


12. メディアの繰り出し・巻き取りの方向を決めます。

メディアの繰り出し・巻き取りの「内巻き」か「外巻き」かの方向を決めて、タッチパネルで設定します。

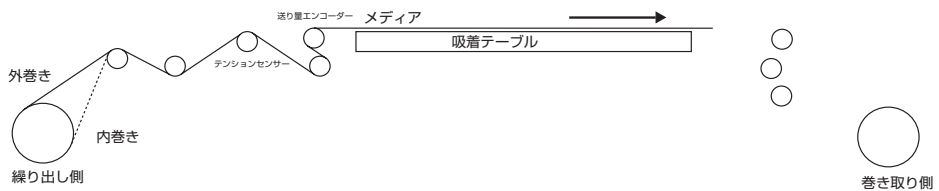
繰り出し側を「内巻き」または「外巻き」のどちらかに、巻き取り側を「内巻き」または「外巻き」のどちらかに設定します。

巻き方向は、繰り出し側と巻き取り側で単独に設定できますので、各々どちらの方向にも設定できます。デフォルトは、繰り出し・巻き取り共に内巻きに設定してあります。



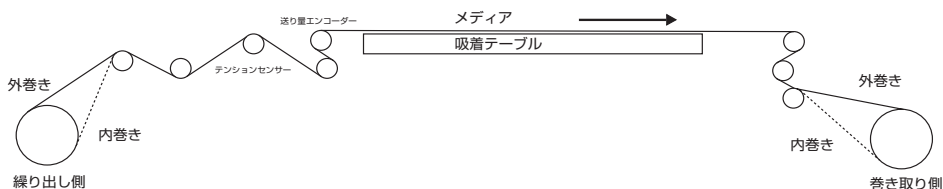
13. ロールメディアを引き出します。

ロールメディアを、ローラー間を通して、吸着プレートの手前まで引っ張りだします。



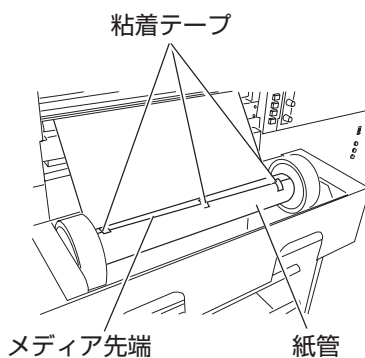
14. メディアを空の紙管まで引き寄せます。

吸着プレートの手前まで引き出したメディアを、ローラー間を通して、空の紙管まで引き寄せます。



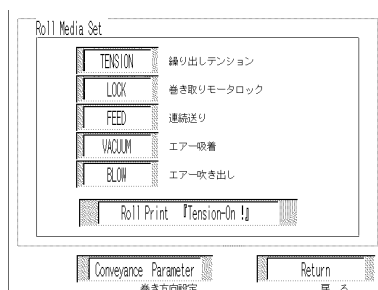
15. メディアを空の紙管に固定します。

メディアの先端の中央を粘着テープで固定します。その後、メディア先端の左右端を粘着テープで固定します。



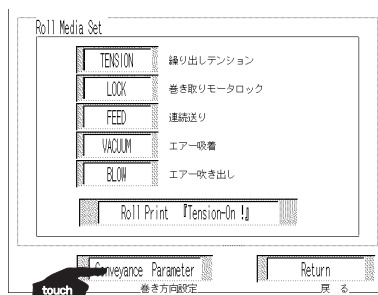
16. タッチパネルで【ロールメディアセット画面】に設定します。

タッチパネルで『トップメニュー画面』から【メディアセット】をタッチして、『ロールメディアセット画面』に入ります。

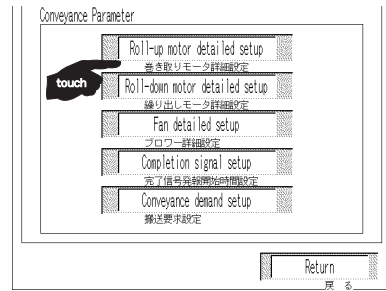


17. 巻き取り方向と繰り出し方向の設定をします。

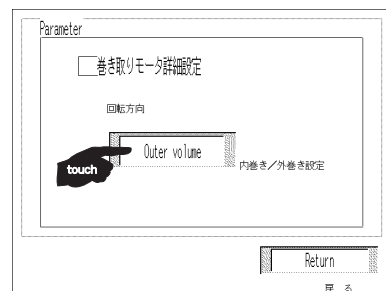
< 1. 巻き取り方向の設定 >



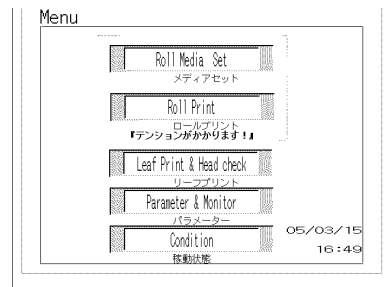
- a. 【巻き方向設定】をタッチします。
- b. 【巻き取りモータ詳細設定】をタッチします。



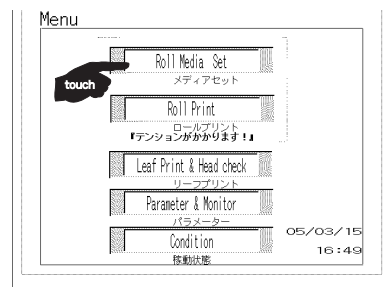
- c. 【内巻き / 外巻き設定】をタッチします。タッチする度に、内巻き (Inner Volume) と外巻き (Outer Volume) が切り替わります。



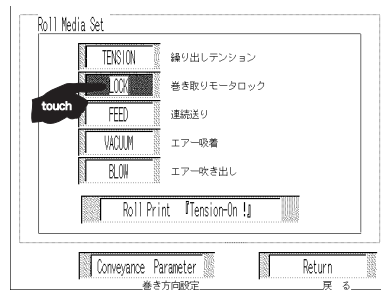
- d. 【Return】を3回タッチします。
『トップメニュー画面』に戻ります。



- e. 【メディアセット】をタッチします。

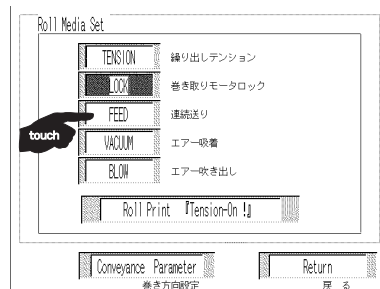


f. 【巻き取りモータロック】をタッチします。



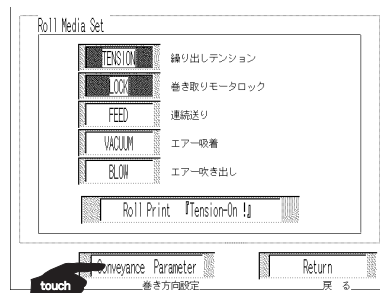
g. 【連続送り】をタッチして、回転方向を確認します。

【連続送り】をタッチしている間、紙管が回転します。
回転方向を間違えた場合は、手順 a からやり直してください。

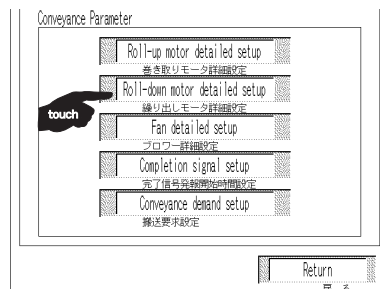


< 2.繰り出し方向の設定 >

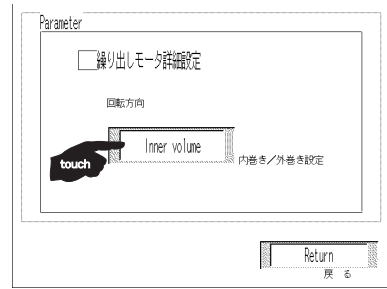
a. 【巻き方向設定】をタッチします。



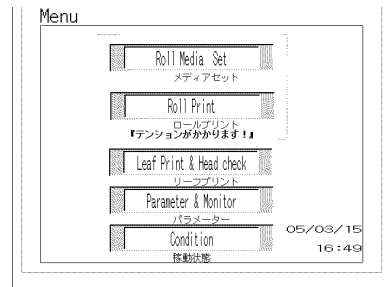
b. 【繰り出しモータ詳細設定】をタッチします。



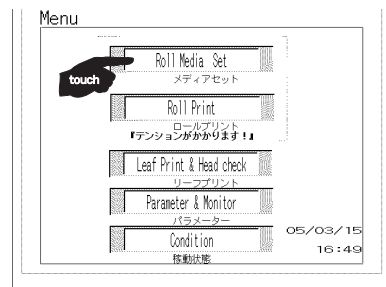
- c. 【内巻き / 外巻き設定】 をタッチします。
 タッチする度に、内巻き(Inner Volume)と外巻き(Outer Volume)が切り替わります。



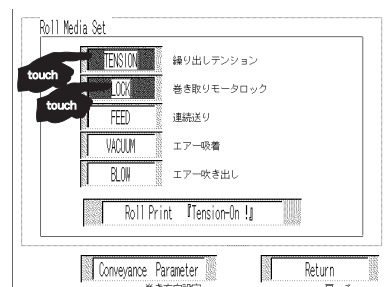
- d. 【Return】 を3回タッチします。
 『トップメニュー画面』に戻ります。



- e. 【メディアセット】 をタッチします。

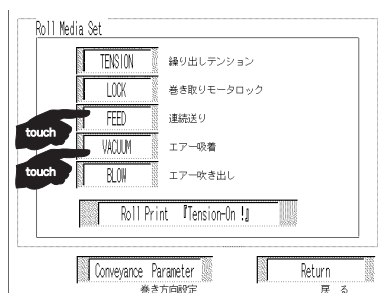


- f. 【繰り出しテンション】 と 【巻き取りモータロック】 をタッチします。
 ロールメディアが回転します。
 回転方向を確認します。
 回転方向を間違えた場合は、手順 a からやり直してください。



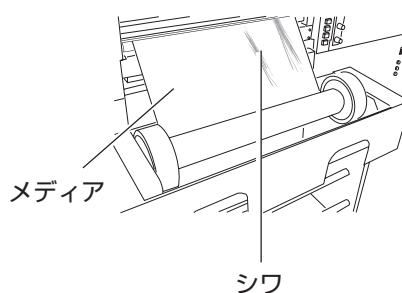
18. メディアを実際に搬送します。

タッチパネルの【エア吹き出し】【連続送り】をタッチして、メディアを実際に搬送します。サブスイッチでも同じ動作ができます。タッチしている間、搬送状態になります。



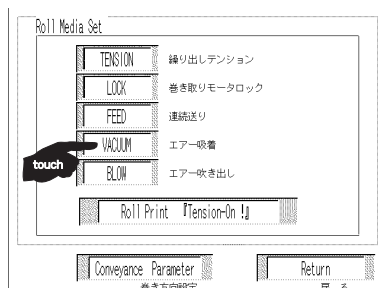
19. シワと斜行発生の修正をします。

搬送しているメディアにシワが発生する場合、手順 13 から再度やり直します。



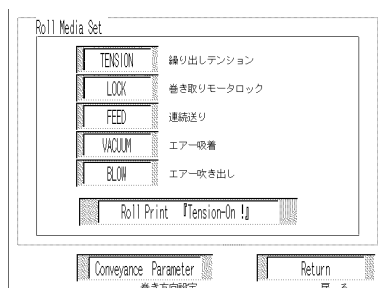
20. 吸着プレートでメディアを吸着させます。

搬送停止状態でタッチパネルの【エア吸着】をタッチして、メディアを吸着します。【Roll Print】をタッチします。

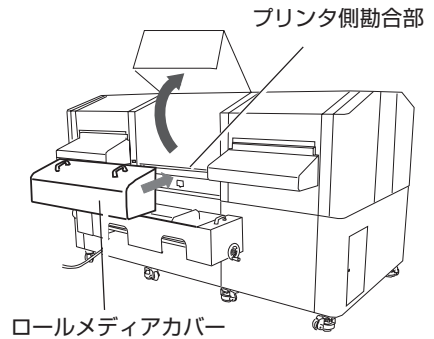


21. メディア搬送の確認をします。

【連続送り】 → 【エア吸着】 → 【エア吹き出し】 → 【連続送り】のサイクルで、メディアにシワが無く搬送できていることを確認できれば、メディアのセットは終了です。



22. ロールメディアのセットを終了します。
 ロールメディアカバーを取り付けて、ロールメディアのセットは終了です。

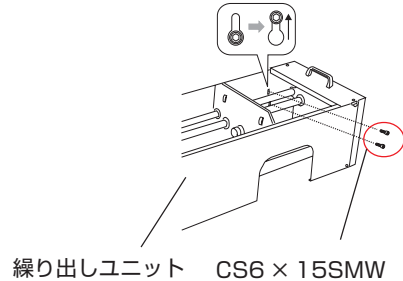


シワと斜行がメディアセットで解決しない場合

作画パネルのローラーに対して、ロールホルダーが傾いています。
 ロールホルダーの傾きを修正します。

- a. ロールホルダーの傾きを修正するには、繰り出しユニットをプリンタ本体に固定しているホルダーブロックの、左右CS6 × 15SMW ネジ2本を緩めます。

CS6×15SMWを大きめから通して、繰り出しユニットを下げる。
 CS6×15SMWが、上方で繰り出しユニットを保持する。

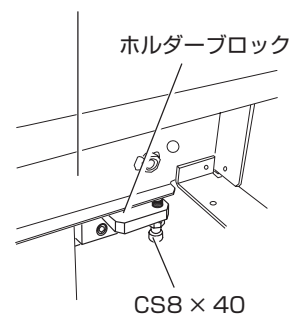


- b. 繰り出しユニット上下調整
 CS8 × 40 ネジを六角レンチで調整して、傾きを修正します。
 調整ネジでの傾き修正が終了したら、繰り出しユニットを固定している左右CS6 × 20SMW ネジ2本を締めます。



★ メディアサイズが小さく吸着穴が解放状態にある場合は、メディアでテーブルの吸着穴を塞ぎ、ドラフティングテープのようにノリ残りのない粘着テープで固定してください。

繰り出しユニット奥左側



リーフメディアのセット手順

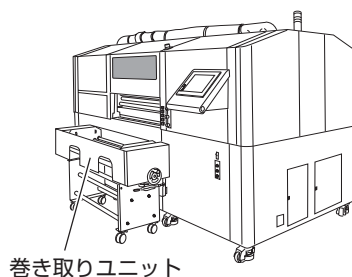
リーフメディアにプリントするとき、巻き取りユニットは取り外すことができます。(取り付けたままでもプリントすることができます。)



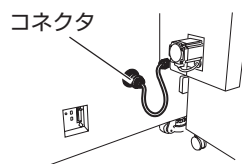
- ★ 巻き取りユニットを、取り外したり取り付けたりする場合は、プリンタの電源をオフにしてから行ってください。

巻き取りユニット取り外し/取り付け手順

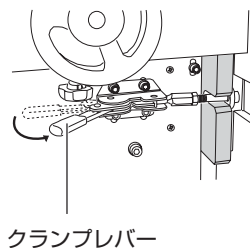
1. 巻き取りユニットを外します。
リーフメディアにプリントするとき、巻き取りユニットが邪魔なときは取り外します。



2. 電源コネクタを外します。
巻き取りユニットの電源ケーブルコネクタを、プリンタ側のコネクタから外します。

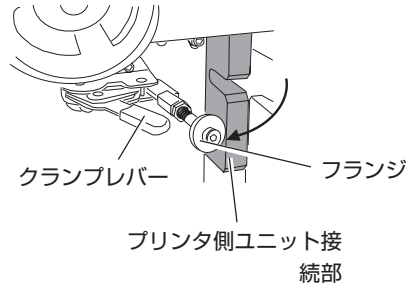


3. クランプレバーを緩めます。
左右のクランプレバーを巻き取りユニット側から押して、クランプレバーを緩めます。



4. クランプレバーを外します。

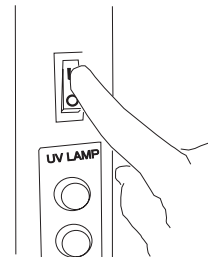
さらにクランプレバーを押し込み、クランプレバーのフランジを、プリンタ本体左右の接続部の溝から外します。これで巻き取りユニットは、プリンタ本体から外れます。



! ★ 取り付けは、取り外しと逆の手順で行ってください。

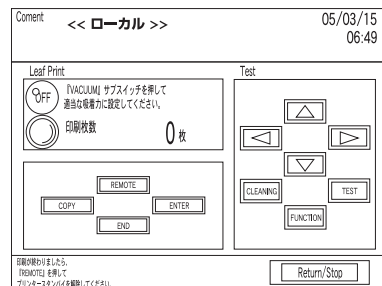
5. プリンタの電源をオンにします。

プリンタの電源をオンにして待機状態にします。



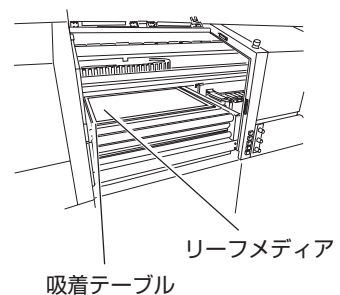
6. タッチパネルで『リーフプリント画面』に設定します。

タッチパネルで『トップメニュー画面』から【リーフプリント】をタッチして、『リーフプリント画面』に入ります。



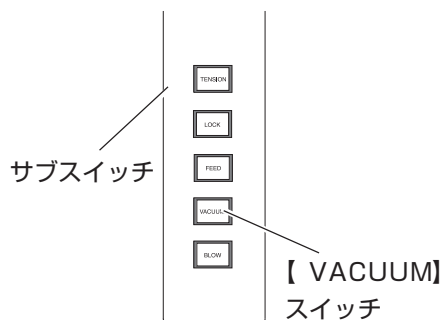
7. リーフメディアをセットします。

吸着プレートにリーフ状メディアをセットします。



8. リーフメディアを吸着固定します。

サブスイッチの【VACUUM】スイッチを押して、リーフメディアを吸着テーブルに吸着固定します。メディアサイズが小さく、テーブル上の吸着穴の全てを塞げないメディアは、メディアよりも薄いシートで、吸着穴を塞ぎ、粘着テープで固定してください。



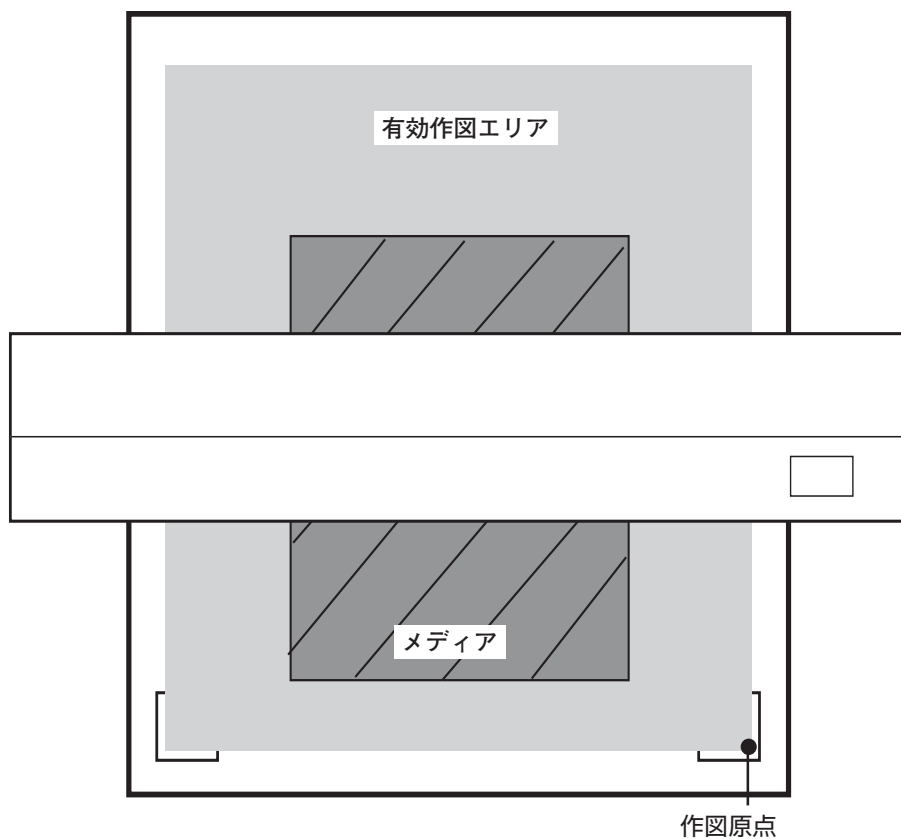
9. リーフ状メディアのセット終了です。

作図原点を設定する

初期値

作図原点は新たに設定するまで、下図のように設定してあります。

後面（繰り出し側）



正面（巻き取り側）

作図原点の設定

初期値以外の場所で作図する場合は、作図原点を変更します。

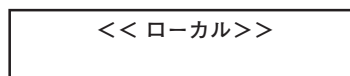
作図原点の設定方法は、2種類あります。

- ジョグによる作図原点の設定
- ファンクションメニュー「ゲンテン」設定からの作図原点の設定

ジョグによる作図原点の設定

操作手順

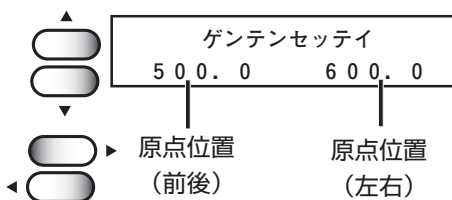
1. ローカルモードにします。



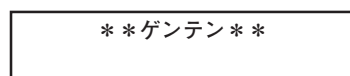
2. ジョグ【▲】、【▼】、【◀】または【▶】をタッチして、作図原点を設定する位置まで動かします。



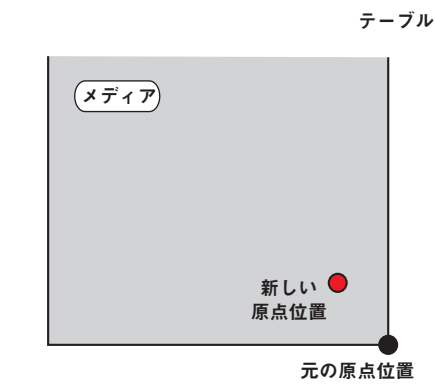
- ヘッドの右手前の角が表示座標になります。



3. 作図原点を決定したら、【ENTER】をタッチします。




- 再度、作図原点を変更するまで、この設定を保存します。
- 正確に原点設定をする場合は、【FUNCTION】メニューの「ゲンテン」設定で、ゲンテンを設定します。
- ジョグによる原点設定は、電源をオフにすると設定値がクリアされます。



ジョグによる原点位置

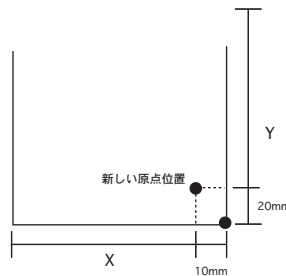
正確に作図原点位置を設定する場合 [FUNCTION] - [ゲンテン]

原点位置を正確に設定する場合、ファンクションメニューからX,Y原点の設定をします。この設定で原点を設定した場合、設定した値が原点位置 (0.0) となります。



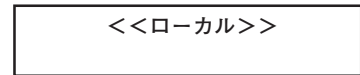
★ 設定後、電源をオフにしても原点位置はクリアされませんが、ジョグで原点を更新する場合は設定した値がクリアされます。(⇒P.2-17)

注意



操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。



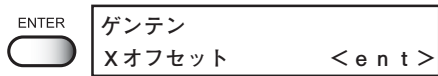
2. [FUNCTION]をタッチします。



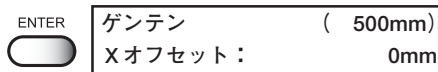
3. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[ゲンテン]を選択します。



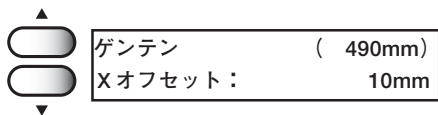
4. [ENTER] をタッチします。



5. 再度 [ENTER] をタッチして、[Xオフセット] を選択します。
X原点の設定します。

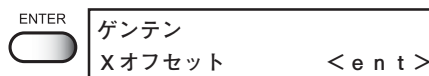


6. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、数値を入力します。

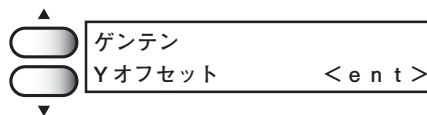


1行目のカッコ内の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表示しています。

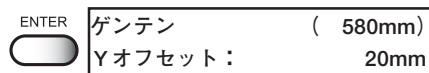
7. 【ENTER】をタッチします。
LCD表示は操作手順4に戻ります。



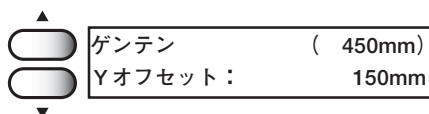
8. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【Y
オフセット】を選択します。
Y原点の設定します。



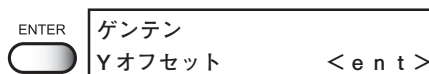
9. 【ENTER】をタッチします。



10. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、数
値を入力します。



11. 【ENTER】をタッチして、Y原点を設定しま
す。
LCD表示は操作手順8に戻ります。原点が設定さ
れました。



12. 【END】を2回タッチして、ローカルモード
に戻ります。

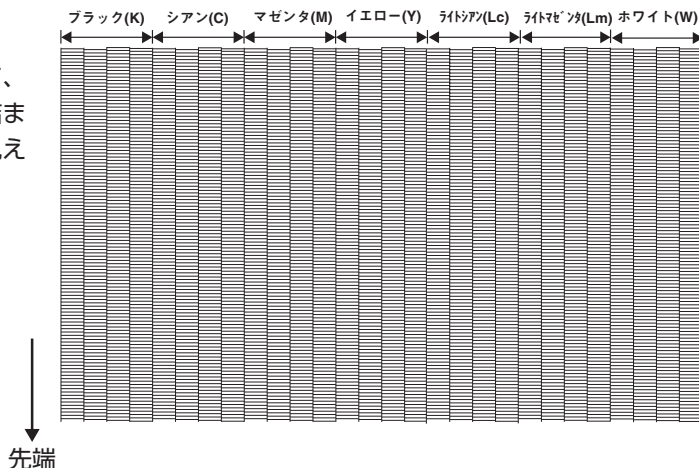


ノズル詰まりの確認 / 解消

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの作図不良（カスレや抜け）がないか確認します。異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

正常なパターン

右のパターンにおいて、先端と後端がノズル詰まりをしているように見えますが、正常です。



テスト作図を行う



注意

★ UV 照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

オンスイジュンビチュウ

UV ジュンビチュウ

メディアがセットされ、原点位置をセットしてあることを確認してください。

1. ローカルモードになっていることを確認します。
2. 【TEST】 をタッチします。
3. 【ENTER】 をタッチして、テスト作図を開始します。
4. テスト作図が終了すると、ローカルモードに戻ります。
5. 作図結果を確認します。
正常な場合は、操作を終了します。**異常があった場合は、次の操作に進みます。**

<<ローカル >>



テストサクス
ノズルチェック <ENT >



** テスト サクス**

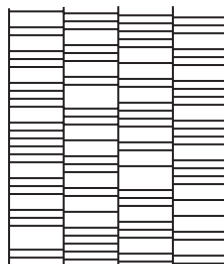
<<ローカル >>

異常なパターン

右のような異常なパターンが作図された場合は
ヘッドのクリーニングを行います。
クリーニングには、2種類あり、パターン作図の
結果によって使い分けてください。

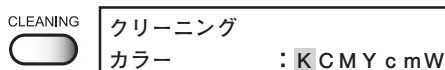
ノーマル： 線の抜けがある時
ハード： ノーマル で作図不良が改善しない時

また、画質品質が改良されない場合は、吸引ノズル、
キャップのクリーニングをする必要があります。
3章日常のお手入れをご参照ください。

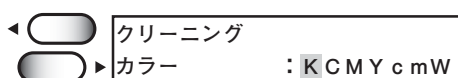


クリーニングの実行

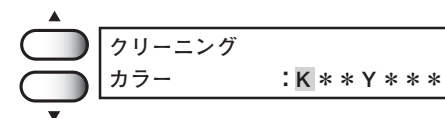
1. 【CLEANING】をタッチします。



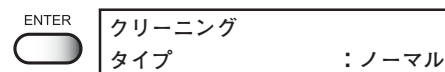
2. ジョグ【◀】または【▶】をタッチして、
クリーニングを実行するヘッドを選択します。



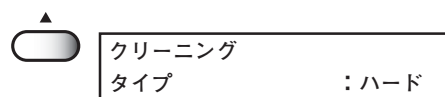
3. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
クリーニングを実行するヘッドを表示します。
クリーニングを実行しない場合は「*」にしてく
ださい。



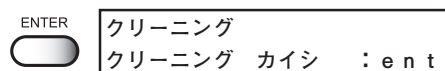
4. 【ENTER】をタッチします。



5. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
クリーニングタイプを選択します。



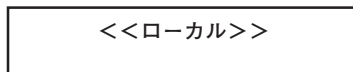
6. 【ENTER】をタッチします。



7. 【ENTER】をタッチして、クリーニングを開
始します。



8. クリーニングが終了すると、ローカルモード
に戻ります。




9. 作図原点が自動的に更新されるので、再度テ
スト作図を実行し、作図結果を確認します。
作図結果が正常になるまで、<クリーニング→テ
スト作図>を繰り返します。

データを作図する

作図を開始する

作図の開始手順を説明します。

各種機能の設定は、「4章 ファンクション機能について」をお読みください。



注意

★ UV 照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

<リモート>
UV ジュンビチュウ

<リモート>
オンスイジュンビチュウ



- 両方のエラー表示がされていても、データは送信できます。作図は表示が消えてから開始します。

操作手順

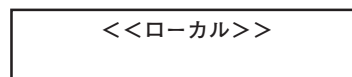
1. メディアをセットします。
2. ローカルモードになっていることを確認します。
3. [REMOTE] をタッチします。
4. コンピュータからデータを送信します。
作図条件を表示します。

データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

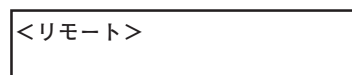
5. 作図を開始します。



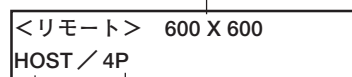
- 作図原点は、作図が終了しても変更されません。
- 繰り返し、同じデータを作図する場合は、コピー機能を使用します。
(⇒ P.2-29)



REMOTE



解像度 600 DPI



優先順位
(P.4-6)

パス



注意

★ 作図中にUVランプによる熱で、メディアが浮き上がり、印刷が中断される場合があります。新しいメディアをセットし直し、作図を開始してください。

6. 作図終了後、バキュームスイッチをオフにして、メディアを取り外します。

[リーフメディアの場合]

サブスイッチの【VACUUM】を押して、吸着をオフにし、メディアを取り外します。


[ロールメディアの場合]

1. タッチパネルでロールメディアセット画面に設定します。
2. 【VACUUM】をタッチして、吸着をオフにします。
3. 【FEED】をタッチして、作図したメディアを吸着テーブルの外まで送ります。

繰り返し作図する（コピー）

直前に作図したデータを再度、作図します。

操作パネルまたはサブパネルでも操作は可能です。操作方法も同様です。


注意

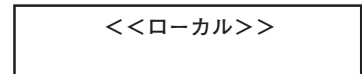
★ UV 照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

<コピー>
UV ジュンビチュウ

<コピー>
オンスイジュンビチュウ

操作手順

1. データを作図終了後、ローカルモードにします。
メディアをセットします。



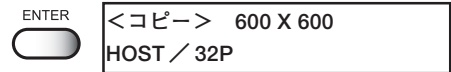
2. 【COPY】 をタッチします。



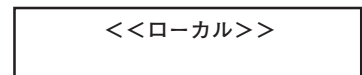
3. 【ENTER】 をタッチします。




- サブパネルを使用する際は、ENTER をタッチする必要はありません。



4. 作図終了後、ローカルモードに戻ります。




注意

★ 直前に作図したデータがない場合は、下記のメッセージを表示し、ローカルモードに戻ります。

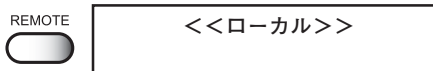
<コピー>
データガアリマセン

作図を中止する

作図を途中で中止する場合、作図動作を止め、すでに受信したデータをプリンタから消去します。

操作手順

1. 作図中に、【REMOTE】をタッチして、作図動作を中止します。

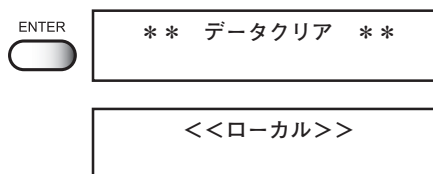


2. コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。

3. 【FUNCTION】をタッチします。
[データクリア]を表示します。



4. 【ENTER】をタッチします。
受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。



サイクルストップ

現在作図中の絵を作図し終わってから、停止する動作をサイクルストップといいます。

操作手順

1. 作図中に、【END】をタッチします。



2. サイクルストップ部分が点滅表示します。

<<リモート>>サイクルストップ
HiST1***

3. 作図が終わると、ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
サイクルストップ



- 作図を再開するときは【REMOTE】をタッチしてください。
- 作図を終了するときは、「作図を中止する」(P.2-30)と同様に受信データを消去してください。



新しいインクに交換する

インクカートリッジ内のインクが少なくなってくるとメッセージを表示します。
なお、作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。



- ★ [ニアエンド]を表示したら、速やかにインクを交換してください。
- ★ インクカートリッジを差し込む場合は、ICチップがある方を上面にむけて、横にして差し込んでください。

<使用中に、インク残量が少なくなった場合>

インク残量が少ない色を表示します。
右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

<<0-カ>>	ニアエンド
カラー	:K

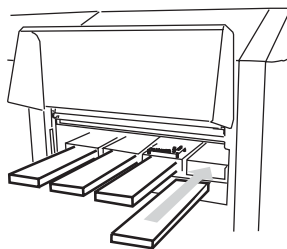
交換手順

1. 作図中に、メッセージを表示します。

<<0-カ>>	ニアエンド
カラー	:K

2. 新しいインクと交換します。

インク色を表示したインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。



3. 【REMOTE】をタッチして、リモートモードにします。

連続して作図ができます。



カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。
作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。



★ カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの原因になります。ノズルが詰まった場合、サービスエンジニアによる修理が必要になります。

1. カートリッジ異常の詳細を表示します。
カートリッジ異常の内容を確認することができます。詳細は、「6章困ったときは」のメッセージを表示するトラブルをご参照ください。

！インクカートリッジ
カラー : KCMYcmWS

2. ローカルモードの時に【ENTER】をタッチします。



<<ローカル>>

3. 【ENTER】をタッチします。
インクカートリッジに異常がなければローカルモードに戻ります。
複数のカートリッジ異常が発生している場合、再度【ENTER】をタッチすると、表示されます。
【ENTER】をタッチして、すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、ローカルモードに戻ります。



！インク IC イジョウ
カラー : KCMYcmWS

！インク ヒジュンセイ
カラー : KCMYcmWS

！インク シュルイ
カラー : KCMYcmWS

！インク カラー
カラー : KCMYcmWS

！インク キゲン
カラー : KCMYcmWS

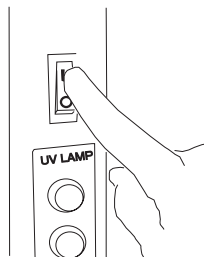
電源のオフ

電源をオフにする場合は、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。



★ カバーは閉めたままにしてください。

1. UV 消灯作業を開始します。
2. UV ランプ表示灯の「COOLING」ランプ（橙色）が消えます。
3. 接続してあるコンピュータの電源をオフにします。
4. 主電源スイッチをオフにします。
「○」側に倒します。



3章

日常のお手入れ

日常行うお手入れについて説明します。

本章の内容

日常のお手入れ	3-2
画質不良が解消されない場合は[ステーションメンテ]	3-3
フラッシングトレイのクリーニング	3-5
廃インクタンクのインクが溜まったら	3-7
温水装置の水を交換する[おスイッチカ]	3-8
白インク（ホワイト）の定期メンテナンス[お休メメンテナンス]	3-14
作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには	3-16

日常のお手入れ

プリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

長期間使用しない場合は



- ★ 必ず主電源スイッチをオフにしてください。(P.2-34)
- ★ セットしてあるメディアを取り除いてください。

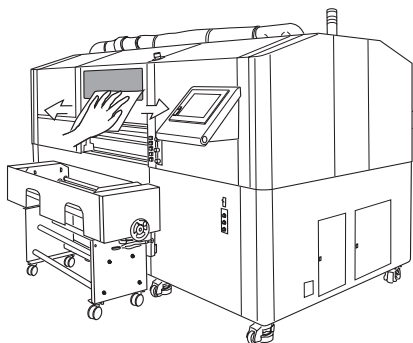
お手入れ上のご注意



- ★ プリンタは、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。
- ★ プリンタの内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。
- ★ お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- ★ UV ランプの温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。
- ★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- ★ プリンタの内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ内部が故障する恐れがあります。

テーブル、外装のお手入れ

プリンタの外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、軽くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。



画質不良が解消されない場合は[ステーションメンテ]

ステーション内部の汚れがひどい場合、またヘッドのクリーニング機能（⇒ P.2-26）を実行しても画質不良が解消されない場合は、洗浄キットを使用して吸引ノズルとキャップのクリーニングを行います。

洗浄キットには、以下の物が入っています。アルコール、水等は使用しないでください。

- ・メンテナンス用洗浄液
- ・手袋・清掃棒・ゴーグル



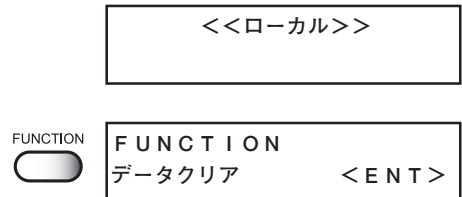
★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

ステーション内部の洗浄

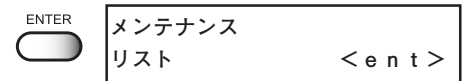
1. ローカルモードから、【FUNCTION】をタッチします。



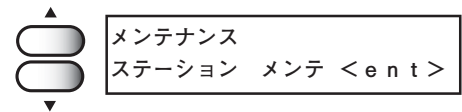
2. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[メンテナンス]を選びます。



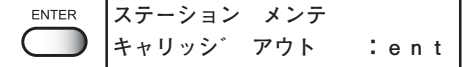
3. 【ENTER】をタッチします。



4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[ステーションメンテ]を選びます。




5. 【ENTER】をタッチします。

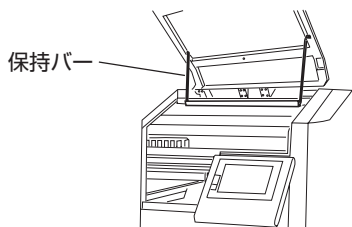


6. 【ENTER】をタッチします。
キャリッジがテーブル上に移動します。




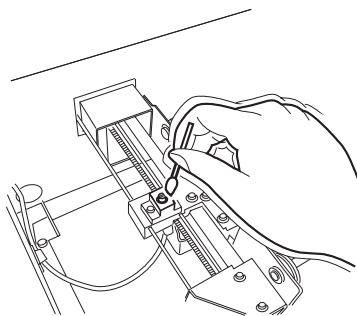
7. 右側のメンテナンスカバーを開けます。


 **注意** ★ カバーを開けたときは、必ず保持バーでカバーを保持してください。保持バーでカバーを保持しないと、カバーが下降して、ケガの原因となることがあります。



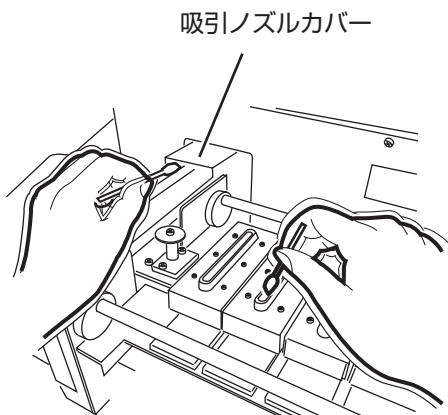
8. メンテナンス用洗浄液を含ませた専用の清掃棒で吸引ノズルのよごれを取り除きます。

 **注意** ★ 吸引ノズルはていねいにクリーニングしてください。




-  ● 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 専用の清掃棒をお求めの場合は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

9. キャップのゴムや、吸引ノズルカバーの内側に付着したインク等を専用の清掃棒で拭き取ります。



10. メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】をタッチします。
初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

ENTER 

ステーション	メンテ	
シュウリョウ		: e n t

シハ ^ラ ク	オマチクダ ^サ イ
-------------------	----------------------

<<ローカル>>

フラッシングトレイのクリーニング

フラッシングトレイにたまった廃インクをふき取ります。

クリーニングに必要な物：

メンテナンス用洗淨液 FS (SPC-0385)・手袋・紙タオル・ゴーグル



★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



注意

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

★ フラッシングトレイにたまった廃インクは、こまめに取り除いてください。UV ランプの光に当たり、固まって除去できなくなる場合があります。

操作手順

1. ローカルモードから、【FUNCTION】をタッチします。

<<ローカル>>

FUNCTION



FUNCTION

データクリア

<ENT>

2. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[メンテナンス]を選びます。



FUNCTION

メンテナンス

<ENT>

3. 【ENTER】をタッチします。

ENTER



メンテナンス

リスト

<ent>

4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[ステーションメンテ]を選びます。



メンテナンス

ステーション

メンテ

<ent>

5. 【ENTER】をタッチします。

ENTER



ステーション

メンテ

キャリッジ

アウト

:ent

6. 【ENTER】をタッチします。

キャリッジがテーブル上に移動します。


ENTER

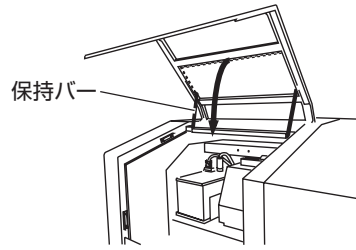


3


日常のお手入れ

7. 左側のメンテナンスカバーを開けます。

 **注意** ★ カバーを開けたときは、必ず保持バーでカバーを保持してください。保持バーでカバーを保持しないと、カバーが下降して、ケガの原因となることがあります。




8. フラッシングトレイにたまった廃インクをメンテナンス用洗浄液を含ませた紙タオルで拭き取ります。固まったインクがある場合は、軽くたたいて取り除きます。

 **注意** ★ UVランプの光によって強固に固まり、除去できなくなったインクがある場合、固まったインクによってヘッドを破損する恐れがあります。この場合には、新しいフラッシングトレイと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。



9. メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】をタッチします。初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。



ステーション	メンテ
シュウリョウ	: e n t

シバ ^ラ ク オマチクタ ^サ イ
--

<<ローカル>>

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。



- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



★ ヘッドクリーニング中などのインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。

廃インクがタンクに一杯になると、次のエラーを表示します。

！ハイインクタンク
ハイインクタンク フル

交換手順

1. 廃インクボックスカバーを開けます。
2. 廃インクタンクを下げながら、手前に引き出します。



★ 廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をティッシュなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから廃インクタンクを交換してください。



3. 廃インクを別のポリエチレンタンクに移します。



★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

4. 空にした廃インクタンクを再度セットします。
廃インクボックスカバーを締めます。



★ 空の廃インクタンクを入れる場合、ケースの角で指などのけががないように注意して入れてください。



5. 【ENTER】 をタッチして、終了します。
ローカルモードに戻ります。



ハイインク タンク
タンクシヨリカンリヨウ : e n t

<<ローカル>>

3

日常のお手入れ

温水装置の水を交換する[オンスイロカン]

インクの状態を適温に保つため、温水装置を稼働させます。温水装置内の温水タンクに、不凍液と水をいれます。半年に一回、必ず確認してください。

補充・交換に関する注意



- ★ 水のつぎたしはできません。
- ★ 水と不凍液の割合は、水2：不凍液1にしてください。その後補充、または交換を行ってください。
- ★ 不凍液を入れず、水だけを温水タンクに入れた場合は、ヘッドが故障する原因になります。
- ★ 温水装置に必要な水量、温水タンク内の汚れを確認するために半年に一回、温水装置の確認をしてください。
- ★ 温水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- ★ 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



不凍液の取り扱い上のご注意



- ★ 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属のゴーグルおよび手袋を着用してください。



- ★ 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。温水装置が故障する恐れがあります。



- ★ 不凍液には直接ふれないようにしてください。誤って不凍液を付けてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- ★ 不凍液は冷暗所で保存してください。
- ★ 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ★ 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- ★ 不凍液をご使用前に、必ず製品安全性データシート（MSDS）をお読みください。



- 予備の温水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃温水タンク水を移すポリエチレンタンクをご用意ください。
- 温水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。エラーを表示した場合は、下記の手順と同様に、水を交換してください。

ERROR 70
ミズブソク

不凍液の補充・交換方法

1. ローカルモードから、【FUNCTION】をタッチします。



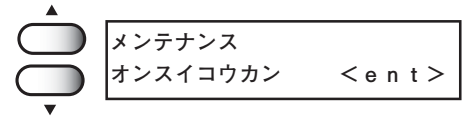
2. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【メンテナンス】を選びます。



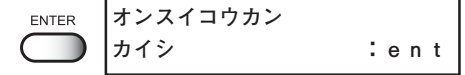
3. 【ENTER】をタッチします。



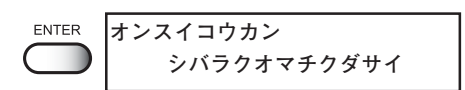
4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【オンスイコウカン】を選びます。



5. 【ENTER】をタッチします。



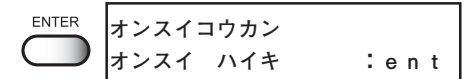
6. 【ENTER】をタッチすると、温水装置の冷却作業を開始します。



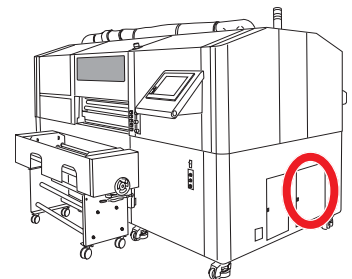
★「シバラクオマチクダサイ」が消えるまえに、温水装置は触らないでください。高温のため、火傷をす
る恐れがあります。

また、交換作業前にプリンタを使用していた場合、「シバラクオマチクダサイ」が消えるまで約20分程かかります。

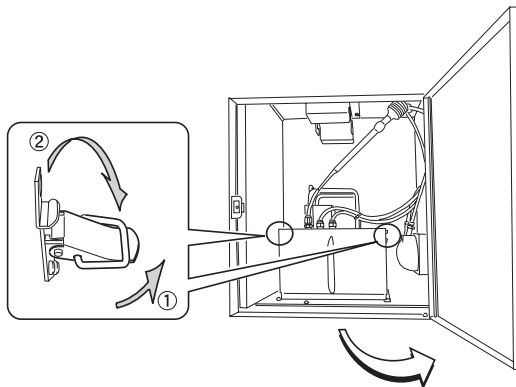
7. 【オンスイハイキ】が表示されたら、【ENTER】をタッチします。




8. 温水装置カバーを開けます。

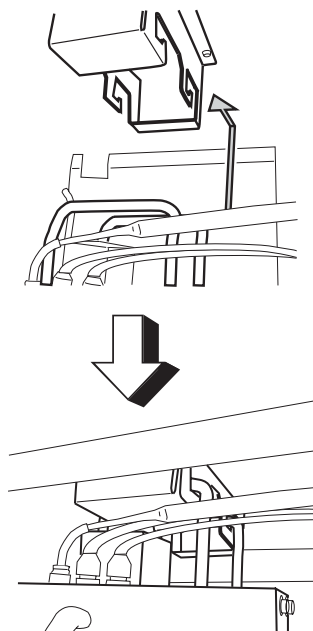


9. カバーの両サイドにあるキャッチクリップを外します。




10. 温水装置カバーを持ち上げ、温水装置のハンガーをフックにかけます。

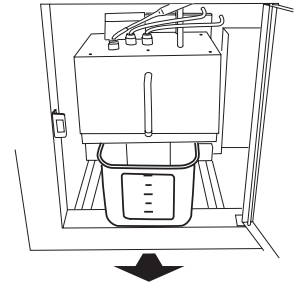
 **注意** ★ フックにハンガーを掛ける際は、ケーブル、チューブを折り曲げたり、無理な力をかけて引っ張らないでください。温水装置の故障の原因となります。




11. 温水タンクを取り出します。

 ★ 液体がこぼれないように交換してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。


注意



12. 温水タンク水を別のポリエチレンタンクに移します。

 ★ 液体がこぼれないように交換してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。


注意

 ★ 温水タンク水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

13. 空の温水タンクを温水装置にセットします。


14. 温水装置を元に戻し、キャッチクリップを締めて、カバーを閉じます。

15. [ENTER] をタッチします。
プリンタ内にたまった不凍液を排出します。

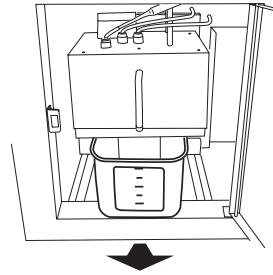
ENTER  オンスイコウカン
タンク セット : e n t

オンスイコウカン
シバラクオマチクダサイ


16. [オンスイハイキ] が表示されたら、
[ENTER] をタッチします。


ENTER  オンスイコウカン
オンスイ ハイキ : e n t

17. 温水装置カバーを開け、温水タンクを取り出します。




18. 再度、温水タンク水を別のポリエチレンタンクに移します。

 **注意** ★ 水はこぼれないように交換してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。

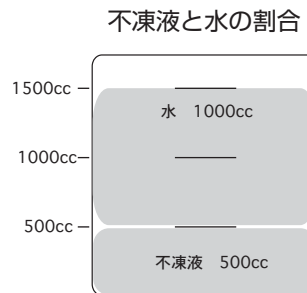
 ★ 温水タンク水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

19. 温水タンクを洗います。

 **注意** ★ 中性洗剤を使用してタンクを洗った場合は、よく水でタンクをゆすいでください。



20. 温水タンクに不凍液と水を入れます。
付属の不凍液 500cc を入れた後に、水 1000cc の水を入れてください。



21. 温水タンクと温水装置を元に戻し、キャッチクリップを締めて、カバーを閉じます。

22. 【ENTER】 をタッチします。

ENTER
オンスイコウカン
フトウエキ セット : e n t

23. 【END】 をタッチして、【オンスイコウカン】を終了します。

END
メンテナンス
オンスイコウカン < e n t >

白インク（ホワイト）の定期メンテナンス[ホワイトメンテナンス]

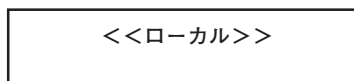
白インク（ホワイト）は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。本プリンタを2週間以上使用しない場合、プリンタ内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまいます。沈殿した場合、作図時にノズル詰まりが発生し、正常な作図結果が得られなくなります。これを防ぐため、また白インクの状態を良好に保つために、必ず、2日に1回は下記の定期的メンテナンスを行ってください。



- ★ 2日に1回は必ず、白インクの状態を良好に保つため、インクカートリッジを抜き、白インクを10回程度ゆっくりと、上下に振ってください。
- ★ インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。

操作手順

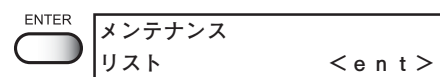
1. ローカルモードから、【FUNCTION】をタッチします。



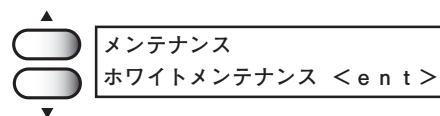
2. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【メンテナンス】を選びます。



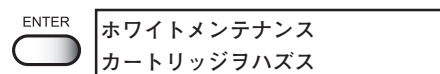
3. 【ENTER】をタッチします。



4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【ホワイトメンテナンス】を選びます。

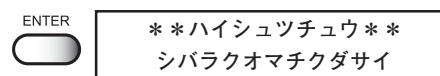


5. 【ENTER】をタッチします。

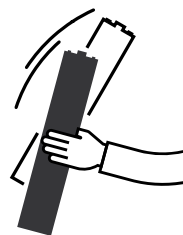


6. 白インクカートリッジをインクステーションから抜きます。

7. 【ENTER】をタッチします。
白インクの排出作業を行います。



8. 白インクカートリッジを 10 回程度ゆっくりと上下に振ります。



9. 白インクカートリッジをインクステーションに戻します。

10. 【ENTER】をタッチして、インク充填を開始します。
白インク充填終了後に、右記表示になります。



ホワイトメンテナンス カートリッジリセット
ジュウテンチュウ シバラクオマチクダサイ
メンテナンス ホワイトメンテナンス < e n t >

作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには

キャリッジ下面のヘッドガードプレートには、作図によるインク滴が発生することがあります。インク滴のボタ落ちによりメディアが汚れたり、作図不良の原因となりますので、定期的にキャリッジ下面をクリーニングしてください。

クリーニングに必要なもの：清掃棒(SPC-0386)、メンテナンス洗剤液(SPC-0385)、手袋、メガネ



★ 必ず電源をオフにしてから、クリーニングを行ってください。

★ 十分にUV照射器具が冷えてから作業を行ってください。

操作手順

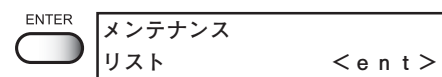
1. ローカルモードから、【FUNCTION】をタッチします。



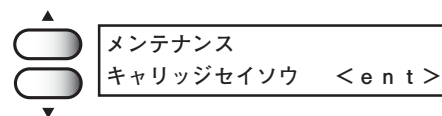
2. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[メンテナンス]を選びます。



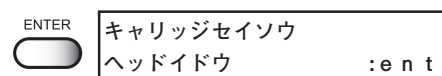
3. 【ENTER】をタッチします。



4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[キャリッジセイソウ]を選びます。



5. 【ENTER】をタッチします。
キャリッジがメンテナンスステーションに移動します。



★ UVランプが点灯している場合は、消灯を促す画面になります。画面の指示に従ってください。

作図中のインク滴のポタ落ちを防ぐためには

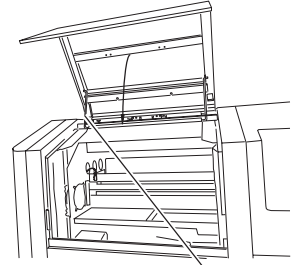
6. 左側のメンテナンスカバーを開けます。



注意

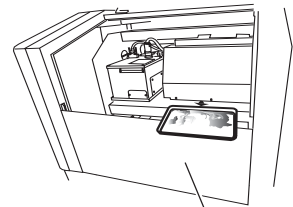
★ カバーを開けたときは、必ず保持バーでカバーを保持してください。保持バーでカバーを保持しないと、カバーが下降して、ケガの原因となることがあります。

ヒダリカバーヲ
アケテクダサイ



保持バー

7. フラッシングトレイを取り出します。



フラッシングトレイ

8. 【ENTER】 をタッチします。



キャリッジセイソウ
トレイヲハズス : e n t

9. 左側のメンテナンスカバーを閉めます。

ヒダリカバーヲ
シメテクダサイ

10. 【ENTER】 をタッチします。
キャリッジがフラッシングトレイ上に移動します。

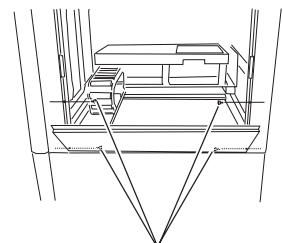


キャリッジセイソウ
ヘッドイドウ : e n t

11. 左側のメンテナンスカバーを開けます。

ヒダリカバーヲ
アケテクダサイ

12. 正面カバー左内側の白い化粧ネジを外し、正面カバーを開けます。



正面カバー左固定化粧ネジ4本（内側）

3

日常のお手入れ

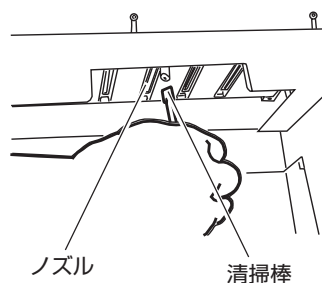
13. メンテナンス洗浄液を含んだ洗浄棒でキャリッジ下面をクリーニングします。
清掃棒の背部を使って、キャリッジ下面をクリーニングします。



★ ヘッド、ノズルには絶対に触らないでください。破損する原因になります。



● 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



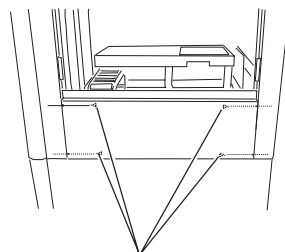
14. クリーニング終了後、【ENTER】をタッチします。



キャリッジセイソウ
シュウリョウ : e n t

15. 正面カバーを化粧ネジで取り付け、左側のメンテナンスカバーを閉めます。

ヒダリカバーヲ
シメテクダサイ



正面カバー左固定化粧ネジ4本（内側）

16. 【ENTER】をタッチします。
キャリッジがメンテナンスステーションに移動します。

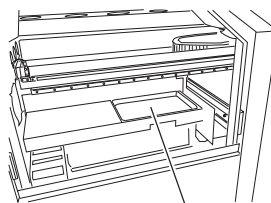


キャリッジセイソウ
クリーニングカンリョウ : e n t

17. 左側のメンテナンスカバーを開けます。

ヒダリカバーヲ
アケテクダサイ

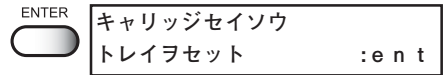
18. フラッシングトレーをセットします。



フラッシングトレー

作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには

19. 【ENTER】 をタッチします。



20. 左側のメンテナンスカバーを閉めます。



21. 原点検出後、ローカル画面に戻ります。



3

日常のお手入れ

ノズル面のクリーニング

ヘッドのノズル面に、作図によるインク滴が発生したり、インク滴のポタ落ちによりメディアを汚した場合に実行してください。

操作手順

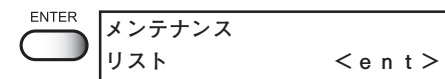
1. ローカルモードから、【FUNCTION】をタッチします。



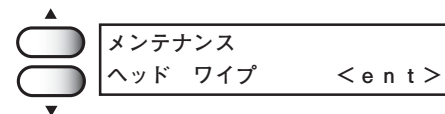
2. ジョグ【▲】または【▼】をタッチし、【メンテナンス】を選びます。



3. 【ENTER】をタッチします。



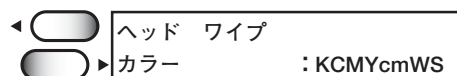
4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【ヘッド ワイブ】を選びます。



5. 【ENTER】をタッチします。

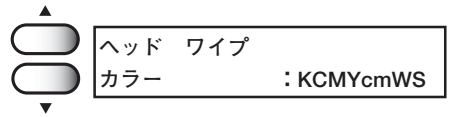


6. ジョグ【◀】または【▶】をタッチし、インク滴が付着しているヘッドを選択します。



作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには

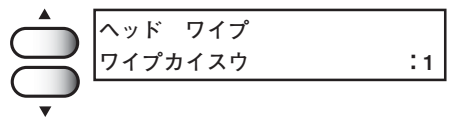
7. ジョグ【▲】または【▼】をタッチし、ワイプのオン/オフ表示します。
OFF表示は-となります。



8. 【ENTER】をタッチします。



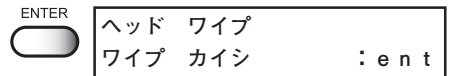
9. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、ワイピングの回数1～9回を選びます。



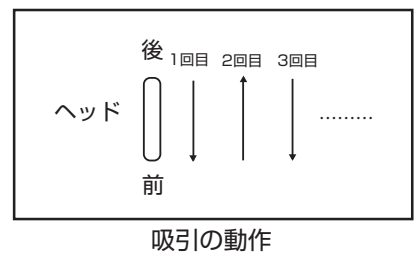
10. 【ENTER】をタッチします。



11. 【ENTER】をタッチします。



12. ワイピングが開始されます。



4章

ファンクション機能について

ファンクション機能について説明します。

本章の内容

ファンクションメニューについて	4-2
複数の作図条件をまとめて登録する（タイプの選択）	4-4
各設定機能を登録する	4-5
UV照射器具の消灯 [UV ショウトウ]	4-8
ディスプレイの表示言語を変更する [DISPLAY]	4-9

ファンクションメニューについて

ファンクションメニューとは、プリンタの作図条件を設定するメニューのうち、ファンクション（作図機能）について設定する項目のことを言います。ファンクションメニューの構造と操作を覚えて、作図条件を設定しましょう。

（ファンクションメニューの[メンテナンス]については、「5章メンテナンス機能」をお読みください。）

ファンクションメニューの設定は、一連の作図設定をまとめて使用可能にするために、まず最初に設定する作図方法をタイプ 1 から 4 に割り当ててから、各詳細設定を行います。

作図条件の設定の前に

作図条件の各設定をする前に、ファンクションメニューの基本操作について説明します。以下の 3 点を確認してから、ファンクションメニューの作図条件の各設定をします。

1. メニューモードが《ローカル》モードになっているかを確認します。
2. ディスプレイに表示する言語が選択してあるか確認します。
3. 作図条件の一連の設定を記憶する[タイプ]を選択します。

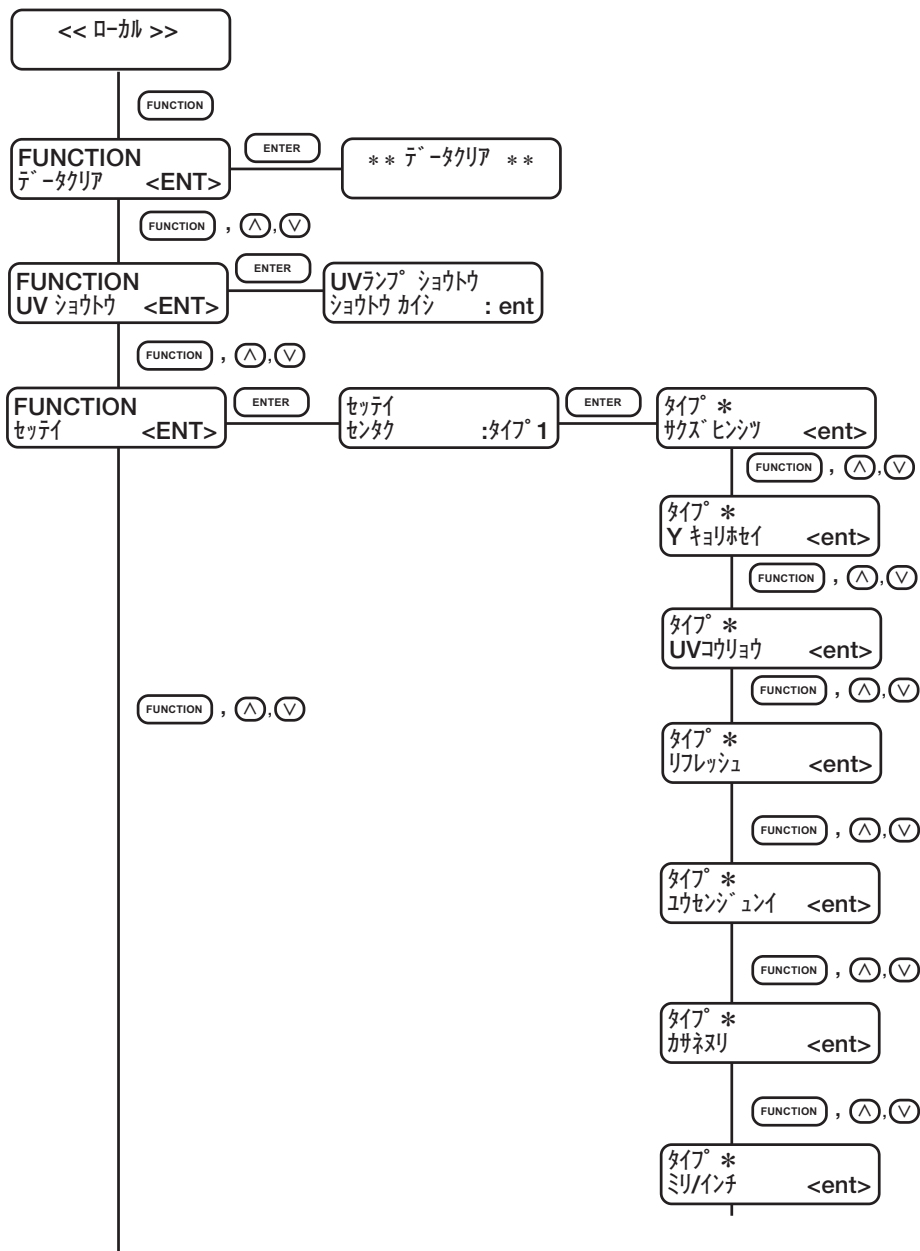
ファンクションメニュー設定の前に基本操作の確認をして、各作図条件を設定します。

メニューモードを確認する

ファンクションメニューの設定をする前に、メニューモードを確認します。メニューモードは、ローカルモードまたはファンクションモードから開始します。ディスプレイが、《ローカル》または《FUNCTION》になっているかを確認します。

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
 各メニューに入る操作は、下図のようになります。
 詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。



複数の作図条件をまとめて登録する（タイプの選択）

作図条件をファンクションモードで設定した場合に、その一連の作図条件をまとめてプリンタに登録します。一連の作図条件は、タイプ 1 から 4 までの 4 種類を登録し、次回使用する場合に[タイプ]ごとの作図条件を使用可能です。使用するメディアや、作図方法に合わせて作図条件をタイプごとに設定しておく并使用する際に便利です。

ここでは、作図条件をどのタイプに割り当てて登録するかを説明します。

選択可能なタイプは 4 種類あります。

[タイプ 1] [タイプ 3]
[タイプ 2] [タイプ 4]

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>

2. [FUNCTION] をタッチします。

FUNCTION



FUNCTION

データクリア

<ENT>

3. ジョグ【▼】をタッチして、[セッテイ]を選択します。



FUNCTION

セッテイ

<ENT>

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER



セッテイ

センタク

: タイプ1

5. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、タイプ 1 から 4 を選びます。



セッテイ

センタク

: タイプ3

6. [ENTER] をタッチします。
各作図条件を設定します。(⇒ P.4-5)

ENTER



タイプ3

サクズ ヒンシツ

<ent>

タイプの変更

既にタイプ 1 から 4 の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定に切り替えて使用できます。

1. 上記操作手順 1 から 5 を実行します。
使用するタイプを選択します。

セッテイ

センタク

: タイプ3

2. [END] をタッチします。
選択したタイプの作図条件で作図が行えます。

END



タイプ3

サクズ ヒンシツ

<ent>

各設定機能を登録する

ファンクションモードには、6 項目の設定機能があります。

また、設定機能の中には 6 項目の設定機能があります。下記は設定項目の内容を示しています。

機能名称	概要	参照	
データクリア	受信済みのデータを消去します。	P.2-30	
UV ショウトウ	UV ランプを消します。	P.4-7	
セッテイ	タイプ	作図条件をまとめて登録します。	P.4-4
	サクズヒンシツ	作図画像の品質を設定します。	P.4-5
	Y キョリホセイ	作図データのスケールを微調整します。	P.4-5
	UV コウリョウ	UV ランプの光量を調整します。	P.4-5
	リフレッシュ	プリントヘッドのリフレッシュを行います。	P.4-6
	ユウセンジュンイ	コンピュータとプリンタの設定の優先順位を決めます。	P.4-6
	カサネヌリ	インクの重ね塗りをを行います。	P.4-6
	カラーパターン	作図中のノズル詰まりを確認できます。	P.4-6
	UV スキャン ツイカ	作図終了付近での UV 照射を行います。	P.4-6
	ミリ/インチ	表示単位を決定します。	P.4-6
セッテイリセット	設定条件を初期化します。	P.4-6	
メンテナンス	お手入れに関する操作を行います。	P.5-1 ~	
ゲンテン	作図原点を設定します。	P.2-21	
DISPLAY	表示言語を設定します。	P.4-8	

[サクズ ヒンシツ]

作図品質を選択します。

- 【ヒョウグン】 : 標準的な作図品質
- 【ホイ】 : 高品質・低スピード
- 【ハイ】 : 高スピード・やや劣る品質

[Y キョリホセイ]

出力時に、作図データのスケールを微調整します。

調整値: ± 0.39%

[UV コウリョウ]

UV ランプの硬化が弱くなった場合に、UV ランプの光量を調整します。通常、【ヒョウグン】に設定します。また、【レイヤ】を設定すると最大 4 レイヤまで、レイヤごとに UV 光量を設定できます。

- 【ツイ】: 強い光量
- 【ヒョウグン】: 標準的な光量
- 【ツイ】: 弱い光量
- 【オ】: UV ランプのシャッターを閉じて印刷する
- 【インツツ オ】: 印刷せずにツイ光量で照射する
- 【レイヤ】: 版 (レイヤ) 毎に UV 光量を設定する。最大 4 版まで設定が可能

[リフレッシュ]

プリントヘッドのリフレッシュを行います。

ホコリが多い場所や、湿度が低い場所で本機能を使用し、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。作図中、待機中の2パターンで設定できます。レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。

リフレッシュ回数: レベル0～3
(レベル0では、リフレッシュを行いません。)

[ユウセンジュンイ]

2機能（作図品質[出カソフト] / 重ね塗り[カサネヌリ]）をそれぞれ、本装置で設定した値を優先にするか、コンピュータで設定した値を優先にするか選択します。

[ホト]: コンピュータ（出カソフト）の設定を優先して作図します。

[ハネ]: プリンタ（本装置）の設定を優先して作図します。

[カサネヌリ]

重ね塗りを設定します。

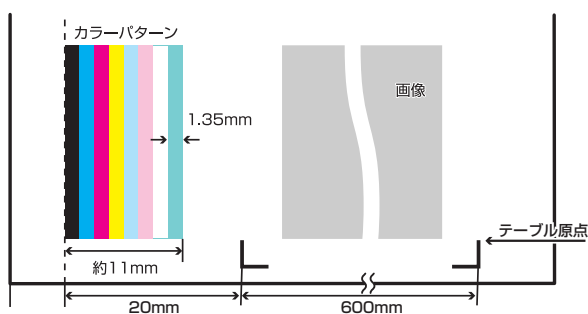
カサネヌリ回数: 1～9回

[カラーパターン]

作図範囲の外側に塗りつぶしパターンを作図し、作図中のノズル詰まりを確認できます。

[ON]: 有効作図エリアの左端より +20mm の位置からパターン作図します。
8ヘッド使用時には、約11mmの幅になります。

[OFF]: カラーパターンを作図しません。



[UV スキャン ツイカ]

作図終了した付近では、UV 照射不足により UV インクが未硬化の場合があります。この場合、作図終了付近で UV を照射させながらスキャンを行う設定をします。

[UV スキャン ツイカ]: 0～9回
(0ではスキャンしません。)

[ミリ/インチ]

ディスプレイに表示する設定値の単位を設定します。
出荷時は[ミリ]に設定してあります。

[ミ]: 設定値の単位をミリで表示します。

[イ]: 設定値の単位をインチで表示します。

[セッテイ リセット]

設定した作図条件を工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。

ENTER : 設定をリセットします。

END : 設定をリセットしません。

UV 照射器具の消灯 [UV ショウトウ]

UV 照射器具は 30 分以上作図がないと自動的に消灯しますが、長い間隔をあけて作図をする場合、UV ランプの寿命を長く保つために、任意で UV ランプを消しておくことができます。再度作図が始まると、UV 照射器具は自動的に動作し、UV ランプが点灯します。



- 消灯までの時間を設定することができます。設定については「UV ランプの消灯時間を設定する」P.5-19 をご参照ください。消灯までの時間の初期値は 30 分です。
- 「ショウトウジカン」の設定が「ON」になっているまたは、長時間作図をしない場合（30 分以上）は、このメニューで UV ランプを消灯してください。
- ランプ消灯をしてから再点灯し、作図可能になるまで、10 分間ほどかかります。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>

2. [FUNCTION] をタッチします。

FUNCTION

FUNCTION

データクリア

<ENT>

3. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[UV ショウトウ] を選択します。



FUNCTION

UV ショウトウ

<ENT>

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER

UV ランプ ショウトウ

ショウトウ カイシ : e n t

5. [ENTER] をタッチします。
UV 照射器具の消灯を開始します。

ENTER

6. ランプが消灯すると完了メッセージを表示して、操作手順 3 に戻ります。

UV ランプ ショウトウ

ショウトウ カンリョウ

ディスプレイの表示言語を変更する [DISPLAY]

ディスプレイに表示する言語は、日本語または英語を選択できます。
プリンタの初期値は[Japanese]です。表示言語を英語にしてみましょう。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>

2. [FUNCTION] をタッチします。

FUNCTION



FUNCTION
データクリア <ENT>

3. ジョグ [▲] をタッチして、[DISPLAY] を選択します。



FUNCTION
DISPLAY <ENT>

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER



DISPLAY
センタク : JAPANESE

5. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、表示する言語を選びます。



DISPLAY
センタク : ENGLISH

6. [ENTER] をタッチします。
ローカルモードに戻ります。

ENTER



<< LOCAL >>

4

5章

メンテナンス機能

プリンタを適正にお使いいただくよう、作図品質の悪化の解決や、UVランプの交換などのメンテナンスについて説明します。

本章の内容

メンテナンスについて	5-2
設定状態を作図する [リスト]	5-3
メディアの厚みが変わったら [トットイホセイ]	5-4
ステーション内部の清掃をする [キリツグ アウト]	5-6
ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合 [イカダ ユウテン] ...	5-7
ノズル面にインク滴が付着するのを防ぐ [イキワカノク]	5-8
インクセットを変更する [インクセット]	5-9
インクを交換する [インクウカ]	5-14
電源投入時の微量クリーニングを選択する [ヘッドメンテナンス]	5-16
UVランプを交換する [UVランプ]	5-17
UVランプの照射時間をリセットする [タイマリセット]	5-18
UVランプの消灯時間を設定する [シャウトウカ]	5-19
UV硬化が弱くなったときのチェック方法 [ウカチェック]	5-20
UV照度の確認方法	5-23
プリンタの情報を表示する [マシジヨウホウ]	5-29
特色インクのノズル詰まりを防止する [トクシヨクノズル]	5-30

メンテナンスについて

メンテナンスは、プリンタを適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンス機能の導入について

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>

2. 【FUNCTION】を1回タッチします。

FUNCTION
データクリア <ENT>

3. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
【メンテナンス】を選択します。

▲
FUNCTION
メンテナンス <ENT>
▼

4. 【ENTER】をタッチします。

ENTER
メンテナンス
リスト <ent>

5. 次の操作を選択します。

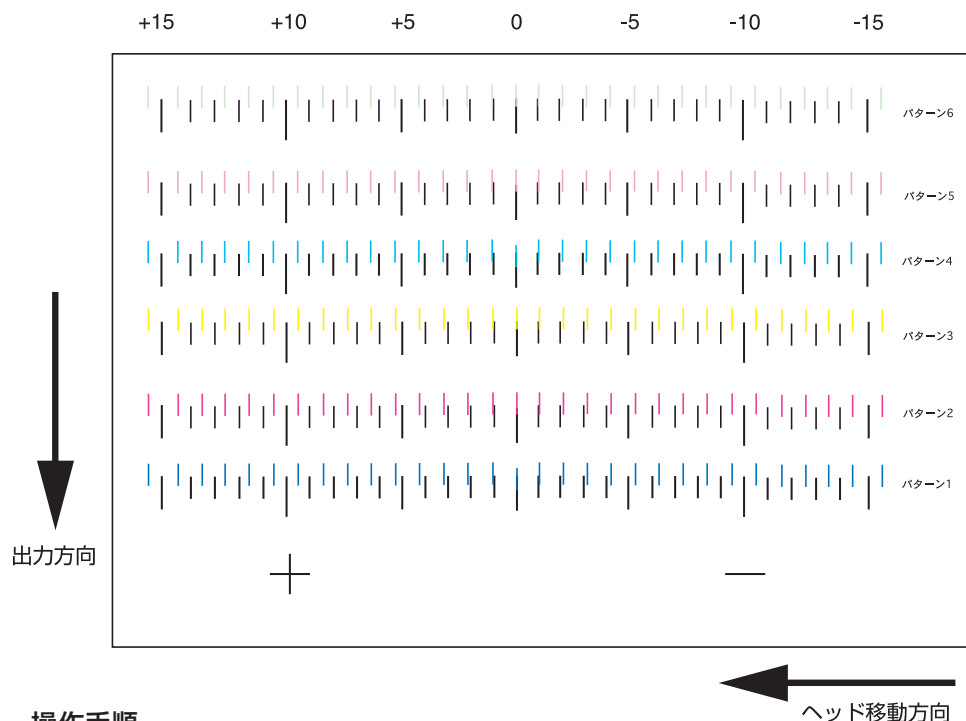
設定機能一覧

機能名称	概要	参照ページ
リスト	プリンタの設定状態を作図します。	P.5-3
ドットイチホセイ	ヘッド高さを変更した後、ドット位置を補正します。	P.5-4
ステーションメンテ	ステーション内部の清掃を行います。	P.5-6
インクジュウテン	ノズル詰まりが復旧しない場合に行います。	P.5-7
ヘッドワイプ	ノズル面に付着したインク滴をクリーニングします。	P.3-20
テキワイピング	定期ワイピングの設定を行います。	P.5-8
キャリッジセイソウ	キャリッジ下面の清掃を行います。	P.3-16
インクセット	インクの組み合わせを変更します。	P.5-9
インクコウカン	インクの交換をします。	P.5-14
オンスイコウカン	温水装置の水を交換します。	P.3-8
ホワイトメンテナンス	白インクの定期メンテナンスを行います。	P.3-14
ヘッドメンテナンス	電源投入時の微量クリーニングを実行するヘッドを選択します。	P.5-16
UVランプ	消耗したUVランプを交換します。	P.5-17
ポンプモーター	本機能は使用しません。	—
マシンジョウホウ	本プリンタのファームウェアバージョン、シリアル番号を表示します。	P.5-29
トクシヨクリフレッシュ	白インクをセットしている場合、白インクに適したリフレッシュ動作を行うために設定変更します。	P.5-30

メディアの厚みが変わったら[ドットイチホセ]

作図のインク落下点の位置を補正し、適正な作図結果を得られるようにします。
6パターンのテスト作図のインク落下点を比較して補正します。プリントヘッドの高さを調整した後は、必ずドット位置補正を実行してください。

●パターン作図例



操作手順

1. A4 サイズ以上のメディアをセットし、作図原点を設定します。
2. メンテナンスモードに入ります。
3. [ドットイチホセ]を選びます。
4. [ENTER] をタッチします。
5. [ENTER] をタッチします。
ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。
テストパターンは6種類作図します。

メンテナンス
ドットイチホセ < e n t >

ENTER	ドットイチホセ
<input type="button" value="ENTER"/>	サクズカイシ : e n t

ENTER	** サクズチュウ **
<input type="button" value="ENTER"/>	

6. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、パターン1のドット位置補正をします。
出力した6パターンは、作図した順にパターン1から6と呼びます。
パターン1の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンが、1本の直線になっている位置を選びます。



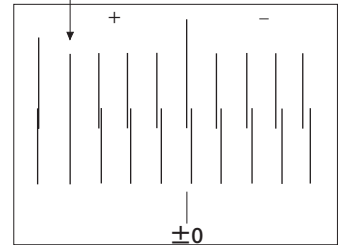
注意

★ 直線のパターンの補正值が、-15から+15の中にない場合は、ヘッドの高さ調整をしてから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。



ドットイチホセイ
パターン1 : * . *

プラス方向に0位置から4本目が直線で表示しています。この場合のドット位置補正值は4.0です。



7. 【ENTER】をタッチします。



ドットイチホセイ
パターン1 : * . *

8. 手順5・6の操作を再実行し、続けてパターン6までのドット位置補正をします。
各パターンの適正ドット位置を選択します。

ドットイチホセイ
パターン2 = 0 . 0

ドットイチホセイ
パターン3 = 0 . 0

ドットイチホセイ
パターン4 = 0 . 0

ドットイチホセイ
パターン5 = 0 . 0

ドットイチホセイ
パターン6 = 0 . 0

パターン作図開始画面に戻ります。

9. 【ENTER】をタッチして、ドット位置補正を終了します。
【END】をタッチして、ローカルモードに戻ります。



メンテナンス
ドットイチホセイ < e n t >

5

メンテナンス機能

ステーション内部の清掃をする[キャリッジ アウト]

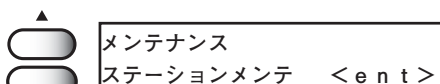
ステーション内部の清掃の際にキャリッジを移動します。



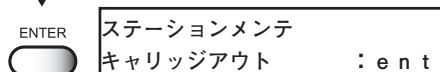
- ★ 手でキャリッジをキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジはジョグを使用して動かします。

操作手順

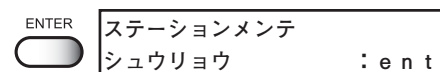
1. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[ステーションメンテ] を選びます。



2. [ENTER] をタッチします。
ヘッドをテーブル上に移動します。



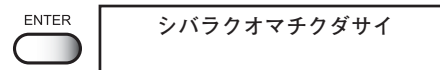
3. [ENTER] をタッチします。



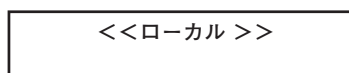
4. メンテナンスカバーを開けて、ステーション内部のメンテナンスを行います。

キャップ、吸引ノズル、キャリッジのクリーニングについては、3章をご参照ください。

5. メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER] をタッチします。









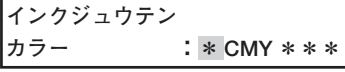

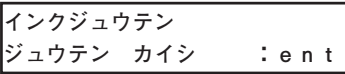

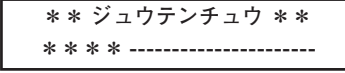
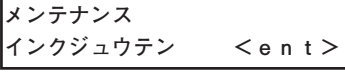

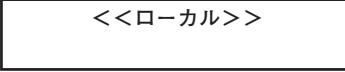
6. ローカルモードに戻ります。



ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合[インクジュウテン]

ヘッドクリーニング (⇒P.2-26) を行っても、ノズル詰まりが復旧しない場合、本機能を使用します。

操作手順

1. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
[インクジュウテン] を選択します。
メンテナンス
インクジュウテン < e n t >
2. 【ENTER】をタッチします。
 インクジュウテン
カラー : K C M Y c m W
3. ジョグ【◀】または【▶】をタッチして、インクを充填するヘッドを選択します。
 インクジュウテン
カラー : K C M Y c m W
4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、インクを充填するヘッドを表示させます。
充填を行わないヘッドは「*」を表示させます。
 インクジュウテン
カラー : * C M Y * * * *
5. 【ENTER】をタッチします。
 インクジュウテン
ジュウテン カイシ : e n t
6. 【ENTER】をタッチして、インク充填を開始します。
 ** ジュウテンチュウ **
**** -----
7. インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。
メンテナンス
インクジュウテン < e n t >
8. 【END】を2回タッチして、ローカルモードに戻ります。
 <<ローカル>>

ノズル面にインク滴が付着するのを防ぐ [テイキワイピング]

ヘッドのノズル面に作図によりインク滴が付着する場合があります。

本機能は、設定された回数分印刷した後、次の印刷を開始する前にヘッドのワイブを行い、ヘッド面に付着したインク滴を取り除きます。

操作手順

1. メンテナンス項目の[テイキワイピング]を選択します。(⇒ P.5-2)

メンテナンス
テイキワイピング < e n t >

2. [ENTER] をタッチします。

ENTER
テイキワイピング
インサツカイスウ : OFF

3. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、印刷回数を選択します。(OFF、1～99回)

▲
テイキワイピング
インサツカイスウ : 10
▼



- 「インサツカイスウ」の初期値はOFFです。使用状況に応じて設定値を変更してください。

- 定期ワイピングをしない場合は、OFFです。

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER



- OFFにした場合は、手順8に進みます。

5. ジョグ [◀] または [▶] をタッチして、ワイブするヘッドを選択します。

◀
テイキワイピング
カラー : * C M Y c m W S
▶

6. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、ワイブのオン、オフを選択します。
オフの表示は「*」です。

▲
テイキワイピング
カラー : * C M Y c m W S
▼

7. [ENTER] をタッチします。

ENTER
メンテナンス
テイキワイピング < e n t >

8. [END] を2回タッチして、ローカルモードに戻ります。

END
<<ローカル>>

インクセットを変更する [インクセット]

本プリンタの標準インクセットは7色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト）ですが、以下のインクセットに変更することができます。

- カラー色だけの6色インクセットに変更（6色のみ、白インクは使用しない）
- 特色インクを追加した8色インクセットに変更
- 7番目の白インクを特色インクに変更



注意

- ★ インクセット中に、カバーを開けたり、電源をオフにしたりしないでください。正常にインクセットの変更が出来なくなります。
- ★ 充填するインクカートリッジは、インクが十分に入っているものをセットしてください。インクが十分に入っていない場合は、正常にインクセットの変更が出来なくなります。
- ★ 廃インクタンク内の容量を確認してください。廃インクの量が多い場合は、廃インクを捨ててください。(⇒P.3-7参照)

■ カラー色だけの6色インクセットに変更する

7色インクセットから6色インクセットに変更する手順を説明します。

操作方法

1. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[インクセット]を選択します。

メンテナンス
インクセット <ent>

2. [ENTER] をタッチします。

ENTER
インクセット
Uv-7 [KCMYcmS]

3. 6色対応のインクセットを選択します。
ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
[Uv-6 [KCMYcm]]を選択します。

▲
○
○
▼
インクセット
Uv-6 [KCMYcm]

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER
インクセット : KCMYcm
セットイシマスカ? : ent

5. [ENTER] をタッチします。

ENTER
インクセット : *****W
カートリッジヨハズ

6. 不要になる白インクカートリッジを外します。

5

メンテナンス機能

7. 【ENTER】をタッチします。
不要になったインクカートリッジのインクを洗浄
します。



センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

8. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジ
をセットします。

インクセット :*****W
センジョウジグヲセット

9. 【ENTER】をタッチします。
洗浄液を吸引し、洗浄します。



センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

10. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを
外します。

インクセット :*****W
センジョウジグヲハズス

11. 【ENTER】をタッチします。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。



センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

インクセット :KCMYcm
シバラクオマチクダサイ

洗浄液排出後、ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>



- 7色インクセットに設定を戻す場
合は、手順3まで戻り、「Uv-7
[KCMYcmW]」を選択して
ください。

■特色インクを追加した8色インクセットに変更する

8色インクセットには、2種類のインクセットがあります。

1. Uv-8[KCMYcmWS] : 7色インクセットに特色インクを追加した8色インクセット
2. Uv-8[KCMYcmSs] : 7色インクセットの白インクを特色インクに、さらに特色インクを1つを追加した8色インクセット

7色セットから特色インクを追加した8色インクセットに変更する手順を説明します。

操作手順

1. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[インクセット] を選択します。

メンテナンス
インクセット < e n t >

2. [ENTER] をタッチします。

ENTER
インクセット
U v - 7 [K C M Y c m S]


3. 8色インクセットが表示されているのを確認し、[ENTER] キーを押します。
[Uv-8 [KCMYcmWS]] を選択します。

ENTER
インクセット : K C M Y c m W S
セッテイシマスカ? : e n t

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER
インクセット : * * * * * * * S
カートリッジヲセット

5. 特色のインクカートリッジをセットします。



注意 ★ 充填するインクカートリッジは、インクが十分に入っているものをセットしてください。インクが十分に入っていない場合は、正常にインクセットの変更が出来なくなります。


6. [ENTER] をタッチします。
セットされたインクカートリッジのインク充填を開始します。

ENTER
* * ジュウテンチュウ * *
シバラクオマチクダサイ

インク充填が終了すると、ローカルモードに戻ります。

インクセット : K C M Y c m W S
シバラクオマチクダサイ

<<ローカル>>

-  7色インクセットに設定を戻す場合は、手順3まで戻り、「Uv-7 [KCMYcmW]」を選択してください。

■7色インクセットの7番目の白インクを特色に変更する

7色インクセットから、白インクの代わりに特色インクを使う7色インクセットに変更する手順を説明します。

操作手順

1. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[インクセット]を選択します。

```
メンテナンス  
インクセット      < e n t >
```

2. [ENTER] をタッチします。

```
インクセット  
U v - 8      [ K C M Y c m W S ]
```

3. 7色対応のインクセットを選択します。

ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
[Uv-7 [KCMYcmS]]を選択します。

```
インクセット  
U v - 7      [ K C M Y c m S ]
```

4. [ENTER] をタッチします。

```
インクセット : K C M Y c m W S  
セットイシマスカ? : e n t
```

5. [ENTER] をタッチします。

```
インクセット : * * * * * W  
カートリッジヲハズス
```

6. 不要になる白インクカートリッジを外します。

7. [ENTER] をタッチします。




不要になったインクカートリッジのインクを洗淨
します。

```
* * センジョウチュウ * *  
シバラクオマチクダサイ
```

8. 右の表示になったら、洗淨液カートリッジを
セットします。

```
インクセット : * * * * * W  
センジョウジグヲセット
```


インクセットを変更する【インクセット】

9. **【ENTER】** をタッチします。
洗浄液を吸引し、洗浄します。
- ENTER 
- **センジョウチュウ**
シバラクオマチクダサイ
10. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
- インクセット :*****W
センジョウジグハズ
11. **【ENTER】** をタッチします。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。
- ENTER 
- **センジョウチュウ**
シバラクオマチクダサイ
12. 右の表示になったら、特色のインクカートリッジをセットします。
- インクセット :*****S
カートリッジヲセット
13. **【ENTER】** をタッチします。
セットされたインクカートリッジのインク充填を開始します。
インク充填が終わると、ローカルモードに戻ります。
- ENTER 
- **ジュウテンチュウ**
シバラクオマチクダサイ
- インクセット :KCMYcmS
シバラクオマチクダサイ
- <<ローカル>>

インクを交換する [インクコウカン]

インクを交換する場合には、下記の操作手順に従ってインクを交換します。
必要なもの：洗浄液（SPC-0371FS）

操作手順

1. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、[インクコウカン]を選択します。

メンテナンス
インクコウカン < e n t >

2. [ENTER] をタッチします。

ENTER

インクコウカン
カラー : K C M Y c m W

3. ジョグ【◀】または【▶】をタッチして、インクを交換するカートリッジを選択します。



インクコウカン
カラー : K C M Y c m W

4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、インクを交換するカートリッジを表示させます。



インクコウカン
カラー : * C M Y * * * *

交換を行わないカートリッジは、「*」を表示させます。

5. [ENTER] をタッチします。

ENTER

6. 交換するインクカートリッジを外します。
充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

インクコウカン
カートリッジヨハズス

7. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。

センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

8. [ENTER] をタッチします。

洗浄液を吸引します。

ENTER

インクコウカン
センジョウジグヲセット

センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ



● 洗浄液カートリッジは、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。

9. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。

吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

ENTER

インクコウカン
センジョウジグヲハズス

センジョウチュウ
シバラクオマチクダサイ

10. 終了後、インクステーションに各インクカートリッジを差し込みます。

11. **【ENTER】** をタッチします。
インク充填が始まります。



インクコウカン
カートリッジリセット

12. インク交換が終了すると「インクコウカン」に戻ります。

ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ

メンテナンス
インクコウカン < e n t >

電源投入時の微量クリーニングを選択する[ヘッドメンテナンス]

電源投入時に行う微量クリーニングを実行するヘッドを選択します。


操作手順

- 1 [メンテナンス]-[ヘッドメンテナンス]を選択します。(⇒P.5-2)




メンテナンス
ヘッドメンテナンス < e n t >

- 2 [ENTER] キーを押します。




ENTER
ヘッドメンテナンス
カラー : KCMYcmW

- 3 ジョグキー [◀] [▶] を押し、微量クリーニングするカートリッジを選択します。




ヘッドメンテナンス
カラー : KCMYcmW

- 4 ジョグキー [▲] [▼] を押し、微量クリーニングのオン・オフを選択します




ヘッドメンテナンス
カラー : * * * YcmW

- 5 [ENTER] キーを押します。



ENTER
メンテナンス
ヘッドメンテナンス < e n t >

- 6 [END] キーを2回押して、ローカルモードに戻します。



END
<<ローカル>>

UV ランプを交換する [UV ランプ]

UV ランプは消耗品です。

本プリンタは、UV ランプの照射使用時間をカウントし、交換時期をお知らせします。

UVランプの照射時間を確認する

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>

2. **[ENTER]** を数回タッチします。

照射使用時間を表示します。

LCD 表示は、照射使用時間 1 3 0 時間 0 5 分を表示しています。



- 「プリンタの情報を表示する」(⇒ P.2-4) をご参照ください。

ENTER

UV ショウシャジカン
1 3 0 h 0 5 m

3. **[ENTER]** をタッチすると、ローカルモードに戻ります。

ENTER

<<ローカル>>

UV ランプを交換する

一定の照射時間を超えると、ランプ交換のメッセージを表示します。

メッセージを表示したら、お早めにランプを交換するため、サービスコールしてください。

[ENTER] をタッチして、UV ランプの交換を行います。

ENTER

! UV ランプ
! UV ランプ コウカン : e n t



- ★ 交換メッセージが表示された場合は、新しい UV ランプと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

5

メンテナンス機能

UVランプの照射時間をリセットする【タイマーシヨキカ】

UVランプを交換後、本プリンタで記憶している照射時間をリセットします。

操作手順

1. メンテナンス項目の[UVランプ]を選択します。
FUNCTIONメニューからメンテナンス機能に入ります。

メンテナンス
UVランプ < e n t >

2. 【ENTER】をタッチします。

ENTER
UVランプ
コウリョウソクテイ < e n t >

3. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
【タイマーシヨキカ】を選択します。

▲
UVランプ
タイマーシヨキカ < e n t >
▼

4. 【ENTER】をタッチします。

ENTER
UVタイマーシヨキカ
シヨキカ カイシ : e n t

5. 再度、【ENTER】をタッチします。
照射時間を初期化します。

ENTER

6. 動作を終了すると、右の表示に戻ります。

UVランプ
タイマーシヨキカ < e n t >

7. 【END】を2回タッチして、ローカルモード
に戻ります。

END
<<ローカル>>

UV ランプの消灯時間を設定する [ショウトウジカ]

UV ランプの消灯時間を設定します。

連続照射 OFF OFF を選択した場合は、自動的に UV ランプが設定した時間後に消灯する作業を行います。初期値は 30 分となっています。

連続照射 ON ON にを選択した場合は UV ランプが常時点灯している状態になります。消灯する場合は、UV ショウトウ (⇒ P.4-7) メニューでランプを消灯します。

操作手順

1. メンテナンス項目の[UV ランプ]を選択します。
FUNCTION メニューからメンテナンス機能に入ります。

メンテナンス
UV ランプ < e n t >

2. [ENTER] をタッチします。

ENTER
UV ランプ
コウリョウソクテイ < e n t >

3. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、
[ショウトウジカ] を選択します。

▲
UV ランプ
ショウトウジカ : e n t
▼

4. [ENTER] をタッチします。

ENTER
UV ランプ
レンゾクショウシャ : ON

5. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、
[レンゾクショウシャ] を OFF に選択します。

▲
UV ランプ
レンゾクショウシャ : OFF
▼

6. [ENTER] をタッチします。

ENTER
ショウトウジカ
0 0 h 0 0 m

7. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、消
灯する時間を分単位で入力します。

▲
ショウトウジカ
0 1 h 3 0 m
▼

8. [ENTER] をタッチします。

ENTER
UV ランプ
ショウトウジカ < e n t >

9. [END] をタッチして、ローカルモードに戻
ります。

END
<<ローカル>>

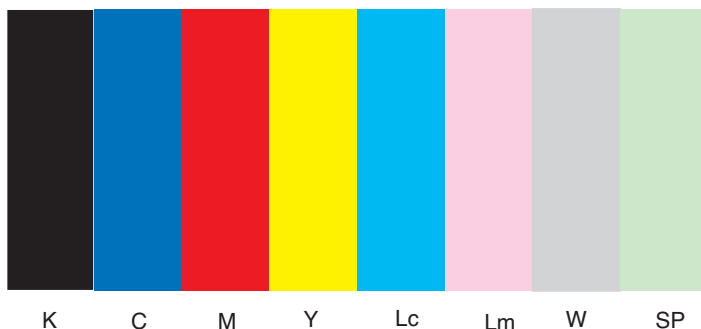
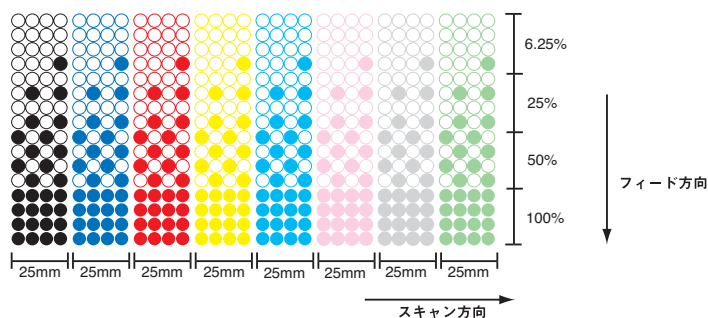
5

メンテナンス機能

UV 硬化が弱くなったときのチェック方法【コウカチェック】

UV ランプの消耗にともない、インクの硬化が弱くなる場合があります。
硬化チェックをすることにより、インクの硬化度をチェックし、UV ランプの光量を変更
することができます。

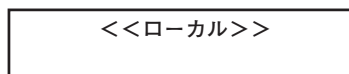
UV 硬化チェックテストパターン



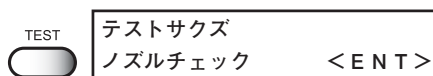
操作手順

1. テーブルに、作図パターン用としてメディア
をセットしておきます。
バキュームスイッチをオンにしてください。その
後、作図原点を設定します。

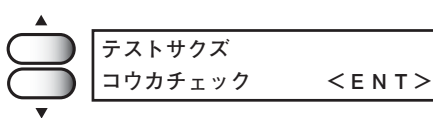
2. ローカルモードになっていることを確認しま
す。



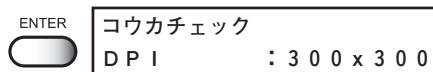
3. 【TEST】 をタッチします。



4. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、
【コウカチェック】を選択します。

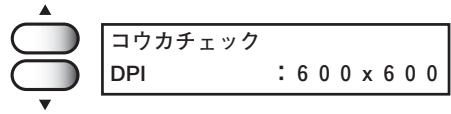


5. 【ENTER】 をタッチします。

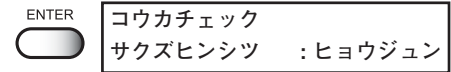


UV 硬化が弱くなったときのチェック方法【コウカチェック】

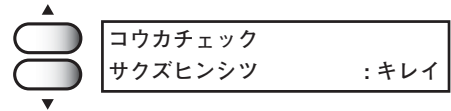
6. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、解像度を選択します。



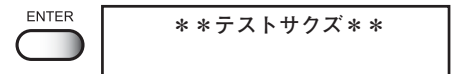
7. 【ENTER】をタッチします。



8. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、作図品質を選択します。



9. 【ENTER】をタッチすると、テスト作図を開始します。



注意

★ UV 照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

UV ジュンビチュウ

オンスイジュンビチュウ

10. テスト作図終了後、作図パターンをチェックします。

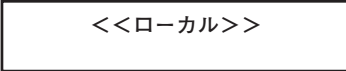
UV 光量が弱くなっている場合は、良質な作図パターンは得られません。その場合は、次の手順に進んでください。



5



メンテナンス機能

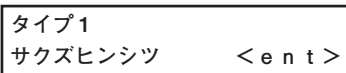

UV光量の変更

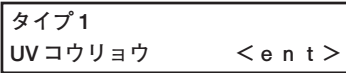

操作手順

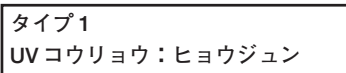

1. ローカルモードになっていることを確認します。

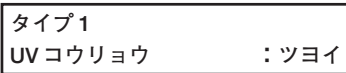

<<ローカル>>
2. 【FUNCTION】 をタッチします。



FUNCTION
データクリア <ENT>
3. ジョグ【▼】をタッチして、【セッテイ】を選択します。

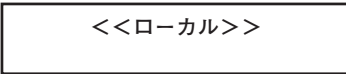

タイプ1
セッテイ <ent>
4. 【ENTER】を2回タッチします。

タイプ1
サクズヒンシツ <ent>
5. ジョグ【▼】をタッチして、【UVコウリヨウ】を選択します。

タイプ1
UVコウリヨウ <ent>
6. 【ENTER】をタッチします。

タイプ1
UVコウリヨウ：ヒョウジュン
7. ジョグ【▲】または【▼】をタッチして、【ツヨイ】を選択します。

タイプ1
UVコウリヨウ :ツヨイ
8. 【ENTER】をタッチします。

タイプ1
UVコウリヨウ <ent>
9. 【END】をタッチして、ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
10. 再度、UV硬化をチェックします。
メディアをセットし、UV光量の作図パターンを作成します。(⇒P.5-20)



- UV光量の度合いを変更しても、変化がない場合は、UVランプが消耗しています。下記の方法で確認してください。

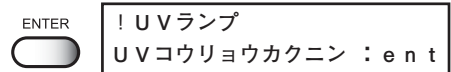
- UVランプの照射時間を確認する (⇒P.2-5、5-17)
- UVランプの照度を確認 (⇒P.5-23)
- UVランプ交換のためサービスコールをする (⇒P.5-17)

UV 照度の確認方法

UV ランプの消耗にとまれない、インクの硬化が弱くなる場合があります。
添付の照度計を使用して、UV ランプの照度を測定します。
付属の照度計取り扱いマニュアルを参照し、UV ランプの照度を確認してください。

一定の照度時間を超えると、照度確認のメッセージを表示します。

[ENTER] をタッチして、添付の照度計で照度を確認します。



UV照度測定について

UV ランプのレベルを変更しても、作図後のUV 硬化が上がらない場合があります。これはUV ランプの消耗により、十分な照度が得られていません。

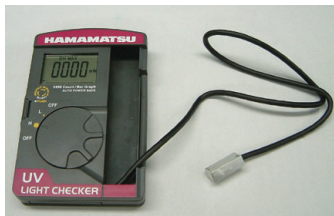
UV ランプ照度測定の目安

出荷時のランプ照度と 1000 時間経過後のランプ照度は、照度計の内側に記載されています。この値を元に照度を確認してください。

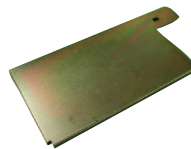


- ランプは時間経過につれて照度が低下します。1000 時間を超えると約 30% 低下します。著しく照度が低下している場合は、UV ランプの故障が考えられますので、お近くの販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 1000 時間経過後も、急に照度が落ちたり、点灯が不安定になることはありませんが、照度は徐々に低下します。UV 硬化性能チェック (⇒ P.5-20 参照) または照度測定をこまめに行ってください。

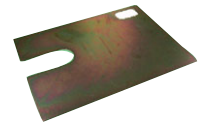
付属品 : UJ 照度セット



照度計



照度計ブラケット①



照度計ブラケット②



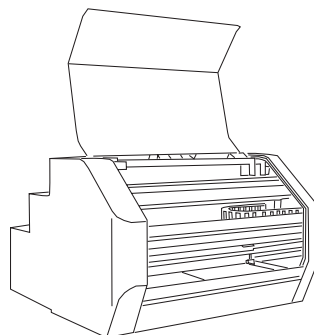
★ 照度測定の際の注意

- 測定をする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。
- 肌を UV ランプの光から守るために、長袖を着用してください。



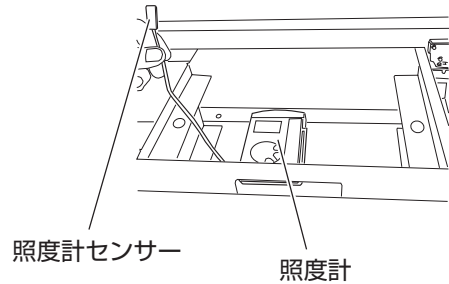
操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
 <<ローカル>>
2. FUNCTION をタッチします。
 FUNCTION
データクリア <ENT>
3. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[メンテナンス] を選択します。
 FUNCTION
メンテナンス <ENT>
4. [ENTER] をタッチします。
 ENTER
メンテナンス
リスト <ent>
5. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[UVランプ] を選択します。
 ENTER
メンテナンス
UVランプ <ent>
6. [ENTER] をタッチします。
 ENTER
UVランプ
コウリョウソクテイ <ent>
7. [コウリョウソクテイ] を選択し、[ENTER] をタッチします。
 ENTER
UVコウリョウソクテイ
ヘッドイドウ :ent
8. [ENTER] をタッチし、ヘッドをキャップステーションに移動させます。
ヘッドが移動します。
 ENTER
イドウチュウ
シバラクオマチクダサイ
9. 左側メンテナンスカバーを開けます。
 ヒダリカバー
アケテクダサイ
10. フラッシングトレイを外して、UV照度計をセットします。

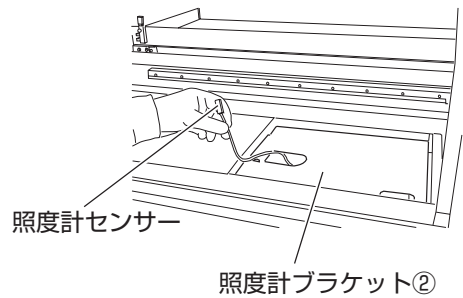


UV照度計のセット方法

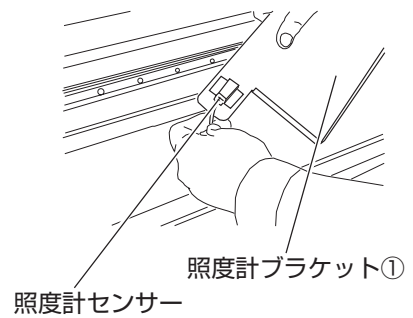
A. 照度計をセットします。



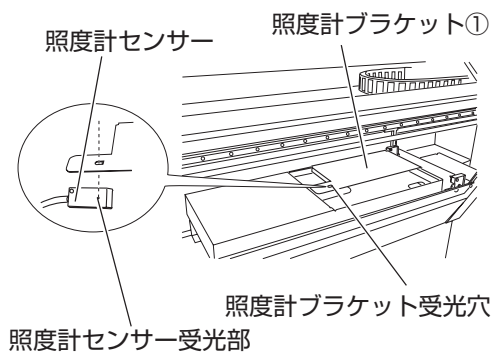
B. 照度計の上に、照度計ブラケット②をセットします。



C. 照度計センサーを、照度計ブラケット①にセットします。



D. 照度計センサーの受光部（検知部）が照度計ブラケット①の受光穴からUV光を検知できるように、受光部を上にしてセットします。

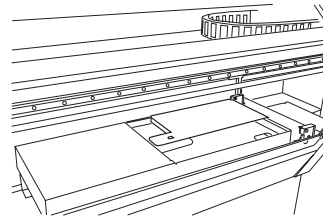
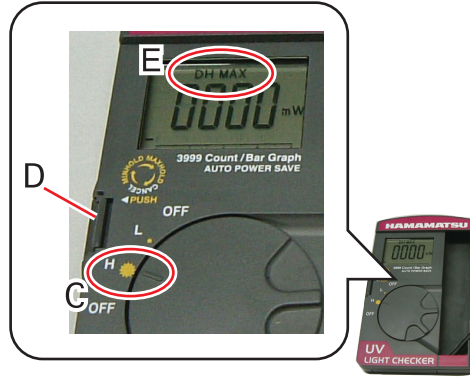


E. 照度計のスイッチを「H」にセットします。

F. 左側のボタンを数回押します。

G. 「DH MAX」を表示させます。

H. 右上のコーナーに合わせて、取っ手が右上になるように、照度計ブラケット①をかぶせます。



11. 照度計をセット後、【ENTER】をタッチします。



UV コウリョウソクテイ
ジグラセット : e n t

12. 左側メンテナンスカバーを閉じます。

ヒダリカバーヲ
シメテクダサイ

13. 【ENTER】をタッチし、測定開始します。



UV コウリョウソクテイ
ソクテイカイシ : e n t



● 測定時ランプが点灯していない場合は、点灯に時間がかかります。

ソクテイチュウ
シバラクオマチクダサイ

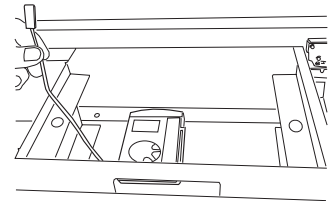
14. 測定終了後、左側メンテナンスカバーを開けます。

ヒダリカバーヲ
アケテクダサイ

15. 照度計ブラケット②を取り外し、測定値を確認します。



● 測定値の目安は、照度計の内側をご覧ください。



注意

★ 照度測定後、照度計ブラケット②の左半部分は、UV ランプの熱で熱くなっていますので、触らないでください。火傷をする恐れがあります。

16. 測定値を確認後、【ENTER】をタッチします。



UV コウリョウソクテイ
ジグヲカクニン : e n t

17. ジョグ【▶】をタッチし、照度測定を終了します。



UV コウリョウソクテイ
ソクテイ< >シュウリョウ

再度測定をする場合はジョグ【◀】をタッチします。UV 照度計のセット方法 E を行ってください。



注意

★ 再度測定を行う場合は、時間をおいてから行ってください。UV ランプの熱により、正しい測定値が得られません。

UV コウリョウソクテイ
ソクテイカイシ : e n t

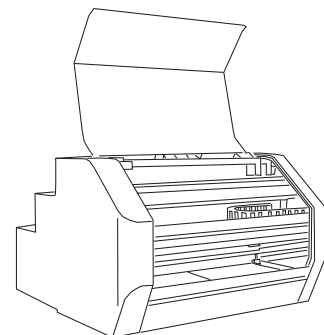
ヒダリカバーク
シメテクダサイ

18. 照度計と照度計ブラケット①を取りはずします。



注意

★ 照度測定後は、照度計ブラケット①、また照度計のセンサー部分が UV ランプの熱で熱くなっています。少し時間をおいてから取り外してください。火傷をする恐れがあります。



19. フラッシングトレイを取り付けて、
【ENTER】をタッチします。



UV コウリヨウソクテイ トレイヲセット : e n t

20. 左側メンテナンスカバーを閉めます。
原点検出を行い、「ローカル」画面に戻ります。

ヒダリカバーヲ シメテクダサイ

<<ローカル>>

プリンタの情報を表示する[マシンジョウホウ]

本プリンタのファームウェアバージョン、シリアル番号を表示します。
トラブル発生時に、販売店または弊社営業所にこの情報とトラブル内容とをご連絡ください。
付録のお問い合わせシートをご利用いただくと、速やかに対処いたします。

操作手順

1. メンテナンス項目の[マシンジョウホウ]を選択します。

FUNCTION メニューからメンテナンス機能に入ります。

メンテナンス	
マシンジョウホウ	<ENTER>

2. [ENTER] をタッチします。



マシンジョウホウ	
バージョン	<ENTER>

3. 再度 [ENTER] をタッチして、[バージョン]を選択します。

バージョンが表示されます。



MAIN	Ver * * . * * *
I / F	Ver * * . * * *

4. [ENTER] をタッチして、[バージョン]に戻ります。



マシンジョウホウ	
バージョン	<ENTER>

5. ジョグ [▲] または [▼] をタッチして、[シリアルNo.]を選択します。



マシンジョウホウ	
シリアルNo.	<ENTER>

6. [ENTER] をタッチします。
シリアル番号を表示します。



シリアルナンバー	
S / N * * * * * * * *	

7. [ENTER] をタッチして、[シリアルNo.]に戻ります。



マシンジョウホウ	
シリアルNo.	<ENTER>

8. [END] を3回タッチして、ローカルモードに戻ります。



<<ローカル>>

特色インクのノズル詰まりを防止する[トクシヨクリフレッシュ]

本装置は、ヘッドのノズル詰まりが発生しないように電源オンの状態でリフレッシュを行っていますが、白インクは他の色のインクと特性が異なるため、通常のリフレッシュでもノズル抜けが発生する場合があります。このような場合、白インクが充填されているヘッドのリフレッシュ動作を、白インクに適したリフレッシュ動作に変更することでノズル抜けを防ぎます。

操作手順

1. メンテナンス項目の[トクシヨクリフレッシュ]を選択します。(⇒P.5-2)

メンテナンス
トクシヨクリフレッシュ <ENT>

2. [ENTER] キーを押します。



- 特色リフレッシュの初期値は全てオンです。



トクシヨク リフレッシュ
カラー :KCMYcmWS

3. ジョグキー【▶】または【◀】を押して、特色リフレッシュするヘッドを選択します。



トクシヨク リフレッシュ
カラー :KCMYcmWS

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押し、特色リフレッシュのオン・オフを選択します。



- 白インクを充填しているヘッドをオンにしてください。表示は「W」となります。
- インクセットを変更して、特色インクに白インクを充填している場合も、そのヘッドをオンにしてください。表示は「S」となります。



トクシヨク リフレッシュ
カラー :*****WS

5. [ENTER] キーを押し、設定を有効にします。



メンテナンス
トクシヨクリフレッシュ <ent>

6章

困ったときは

プリンタになんらかの異常が発生した場合、エラーメッセージを表示した場合のトラブルの解消方法について説明します。

本章の内容

故障？と思う前に	6-2
作図不良が発生したときは	6-4
メッセージを表示するトラブル	6-5

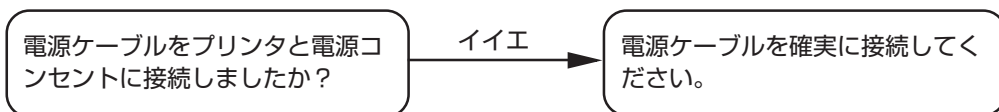
故障？と思う前に

ディスプレイにエラーメッセージを表示しない

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

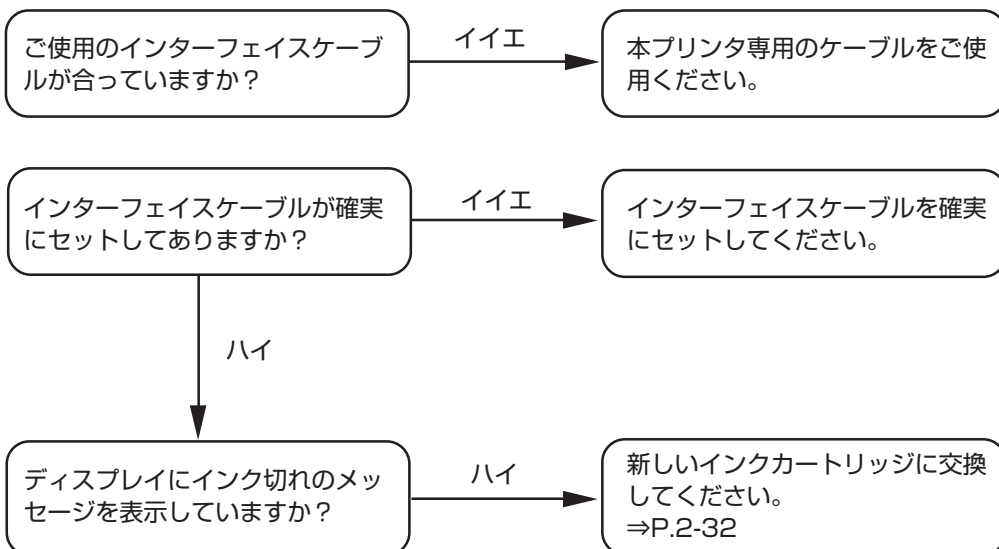
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



作図できない

作図ができない場合は、データが適正にプリンタに送られていない場合があります。また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



ディスプレイにメッセージを表示する

「オンスイジユンビチュウ」または「UV ジュンビチュウ」

ディスプレイに「オンスイジユンビチュウ」と表示された場合、温水装置の水温が一定に達していません。また「UV ジュンビチュウ」と表示された場合は、UV ランプの温度が一定に上がっておらず、UV ランプが使用できず、作図することはできません。

一定の温度になるまで作図はできません。

一定の温度になるまで、待機してください。一定温度に達するとディスプレイ表示が消え、作図が可能になります。

作図不良が発生したときは

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

スジ/カスレが発生する

- 対処方法：1. ヘッドクリーニングを行ってください。⇒P.2-26
2. ステーション内部のメンテナンスをしてください。
⇒P.3-3、P.5-6
3. ヘッドが通過する部分にゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。

作図中のメディア上に大きなインク滴が落ちる

- 対処方法：1. インクキャップのクリーニングをしてください。
⇒P.3-3
2. ヘッドクリーニングを実行してください。⇒P.2-26
3. メディア表面のホコリを取り除いてご使用ください。
4. テーブル表面に付着しているホコリをクリーニングしてください。
5. キャリッジ下面のクリーニングをしてください。
⇒P.3-16

作図中にメディアが浮き上がり、作図が中断する

作図中にUVランプによる熱で、メディアが浮き上がり、印刷が中断される場合があります。

- 対処方法：新しいメディアをセットし直し、作図を開始してください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
! UV ランプ UV ランプ コウカン : e n t	UV ランプの交換時期です。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
! UV ランプ UV コウリョウカクニン : e n t	UV ランプの照度を測定する時期になりました。	UV ランプ照度確認を行ってください。⇒ P.5-22
<<ロ-加>> ニアエンド カラー : K C M Y c m W S	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】をタッチすると、1ファイルごと作図します。早めに表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。
! インクエンド カラー : K C M Y c m W S	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。
! インクカートリッジ カラー : K C M Y c m W S	インクカートリッジが装着されていません。	表示しているヘッドのインクカートリッジを取り付けてください。
! ハイインク タンク ハイインク タンク フル	廃インクタンクが一杯になりました。	廃インクタンクを取り変えてください。
! インク IC イジョウ カラー : K C M Y c m W S	インクカートリッジのICチップが正常に読めませんでした。	表示している色のインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
! カートリッジ イジョウ カラー : K C M Y c m W S	装填したインクカートリッジが異常です。	表示している色の新しいインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
！インク ヒジューンセイ カラー : KCMYcmWS	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ミマキ純正品をお使いください。
！インク タイプ カラー : KCMYcmWS	装填したインクカートリッジの種類が異なります。	装填したインクカートリッジの種類を確認してください。
！インク カラー カラー : KCMYcmWS	装填したインクカートリッジの色が、前回装填した色と異なります。	表示している色と装填したインクカートリッジの色を確認してください。
！インク キゲン カラー : KCMYcmWS	インクカートリッジの有効期限が切れています。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。
！カバー オープン カバーヨシメテクダサイ	カバーが開いています。	カバーを閉めてください。

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにしてしばらくたってから電源をオンにしてください。

それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 02 MAIN RAM		
ERROR 03 POWER +5V	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
ERROR 03 POWER +35V		
ERROR 04 フラッシュ SAVE	制御基板に異常が発生しました。	
ERROR 05 FPGA ss		
ERROR 06 UHC ss nnnn		
ERROR 07 DFC ss		
ERROR 08 IOC ss		
ERROR 09 ENC ss		
ERROR 10 コマンドエラー		
	本プリンタに適合していないインターフェイスケーブルが使われています。	規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 11 パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	ホストコンピュータの出力設定値を確認してください。
ERROR 12 オフスケール	作図範囲外に作図しました。	作図範囲を確認してください。
ERROR 20 I/F ボード	I/F ボードと制御基板のインターフェイスにエラーが発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 23 ホスト I/F	ホストコンピュータと I/F ボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 24 I/F イニシャル	I/F ボードと制御基板の初期動作不良です。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 30 オペレーションエラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションをしてください。
ERROR 34 ミサクズデータアリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定機能を変更しようとしています。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。

メッセージを表示するトラブル

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 40 モータアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 41 モータアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかりました。	
ERROR 42 X オーバーカレント	X モーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 43 Y オーバーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 44 スキャンハンイ	スキャン範囲外へ移動要求がありました。	
ERROR 50 ゲンテンケンシュツ X	X 軸の原点検出が行えませんでした。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 51 ゲンテンケンシュツ Y	Y 軸の原点検出が行えませんでした。	
ERROR 53 ステップモータゲンテン	ステップモータの原点位置検出が行えませんでした。	
ERROR 60 FLASHING nnnn	フラッシング実行タイムアウトエラーが発生しました。	
ERROR 61 TEMP ss	ヘッド温度が異常です。	
ERROR 70 ミズブソク	温水量が不足しています。	
ERROR 71 オンスイ ソウチ ss	温水装置関連のエラーが発生しました。	
ERROR 72 UV デンゲン OFF	起動時に UV 装置の電源がオフになっています。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 73 UV ソウチ ss	UV 装置関連のエラーが発生しました。	
ERROR 74 UV ソウチ	UV 装置が異常信号を出力しています。	
ERROR 90 F/W	F/W の不具合が発生しました。	

6

困ったときは

付録

各種仕様や構成品、ファンクションメニュー構造を示します。

本章の内容

基本仕様	付録 -2
インク仕様	付録 -3
警告ラベルについて	付録 -4
お問い合わせシート	付録 -6
機能フローチャート	付録 -7

基本仕様

項目		UJF-605R
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	最大8ヘッド搭載可能
作図分解能		300 dpi、600 dpi、1200 dpi、2400 dpi
作図モード	300 x 300 dpi	2 pass 単方向、4/8 pass 単方向・高速印字
	600 x 600 dpi	4/8 pass 単方向、16 pass 単方向・高速印字
	1200 x 1200 dpi	8 pass 単方向、16/32 pass 単方向・高速印字
	1200 x 2400 dpi	16 pass 単方向、32 pass 単方向・高速印字
使用可能インク		専用 UV 硬化インク（弊社純正インク） Bk、C、M、Y、Lc、Lm、W 合計7色+スポット対応
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり インクエンド検出機能あり
インク容量		440 cc（各色1本）
使用可能メディア		640 mm 幅
		厚さ 0.02 ~ 0.2 mm
		紙管内径 3 インチ
最大作図範囲		幅 600 メディア送り方向 500 mm
距離精度	絶対精度	± 0.1 mm 以下
	再現性	± 0.2 mm 以下
直角度		± 0.5 mm/500mm
メディア吸着		プロアバキュームによる吸着固定
UV 装置		UV 照射装置内蔵、UV 電源
廃インクタンク		ボトル式（2000 cc / タンクフルセンサ付き）
インターフェイス	ホスト	IEEE1284 準拠、IEEE1394 準拠
	テーブル	双方向専用ポート各 4
コマンド		MRL-II B <ESC/P [®] レベル2 [®] -ス ミマキオリジナルコマンド>
騒音	待機時	55 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
安全規格		VCCI- クラス A
インク安全性		MSDS
電源仕様	本体、UV 装置	単相 AC200 V
消費電力		4.0 kVA 以下 (印刷時: 16.6A/200V)

項目		UJF-605R
設置環境	使用可能温度	15 ~ 30 ℃
	相対湿度	35 ~ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	18 ~ 25 ℃
	温度勾配	± 10 ℃/h 以下
	粉塵	一般オフィス相当
重量		約 800kg
外形寸法		2340 (W) x 1920 (D) x 1530 (H) mm 以下

インク仕様

詳細は、販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

項目		品番・仕様
形態		専用 UV インクカートリッジ
インク種類		ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトシアン ライトマゼンタ、ホワイト、特色
インク容量		440CC
有効期間		製造日より 1 年間
保存温度	保存時	15℃～35℃
	輸送時	0℃～60℃ 2週間以内



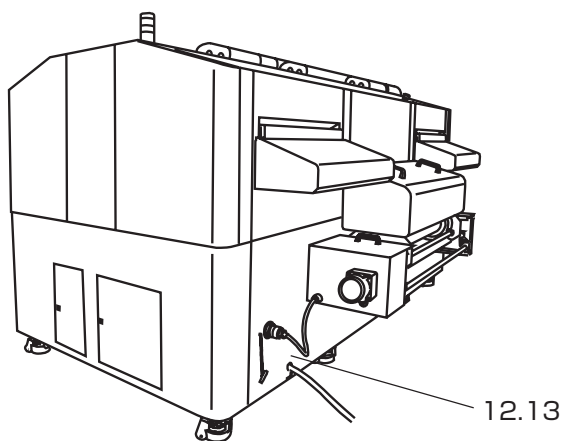
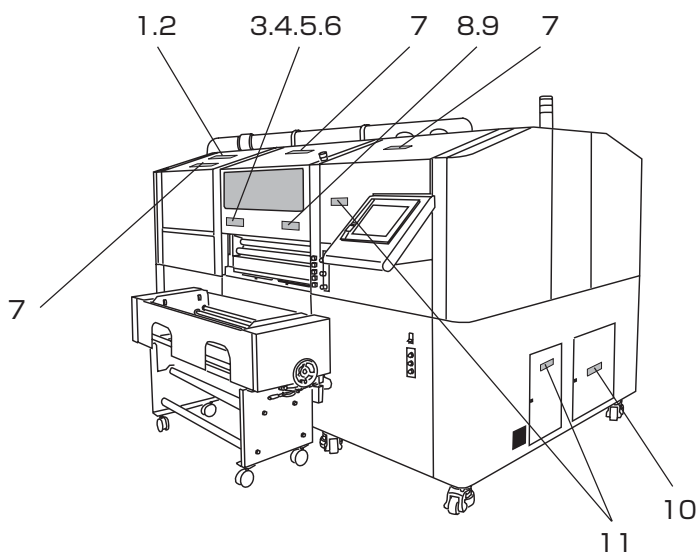
- ★ インクは、-4℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。
万一、凍結した場合は、室温（25℃）で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
- ★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。故障の原因になります。




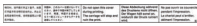





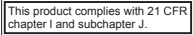

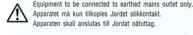

警告ラベルについて

プリンタには、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。

なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置



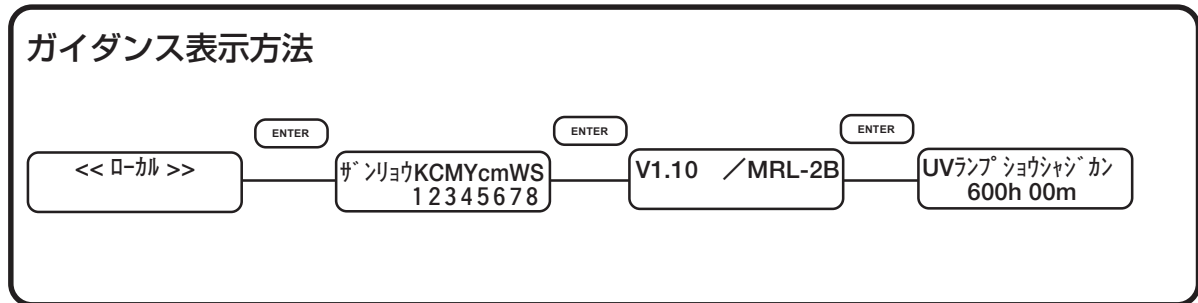
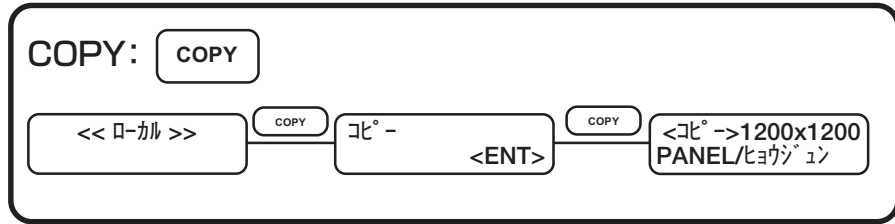
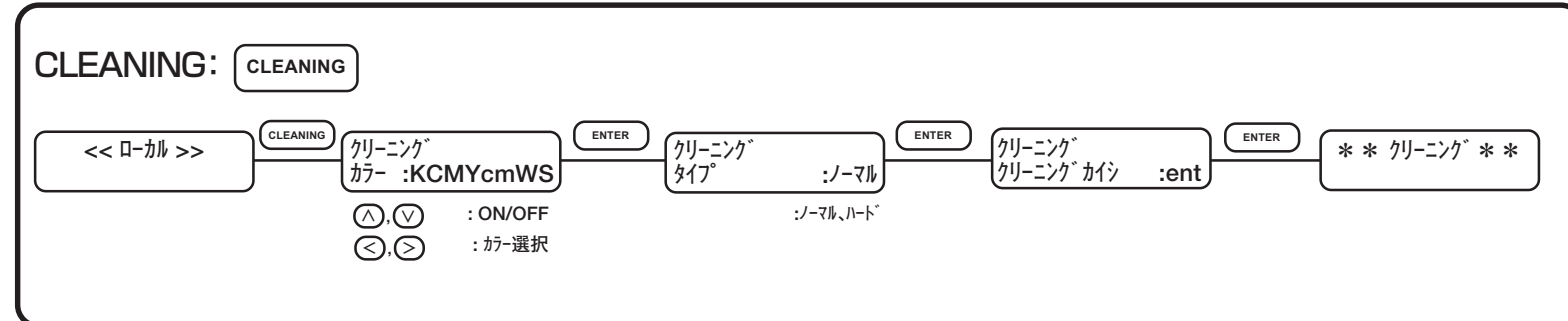
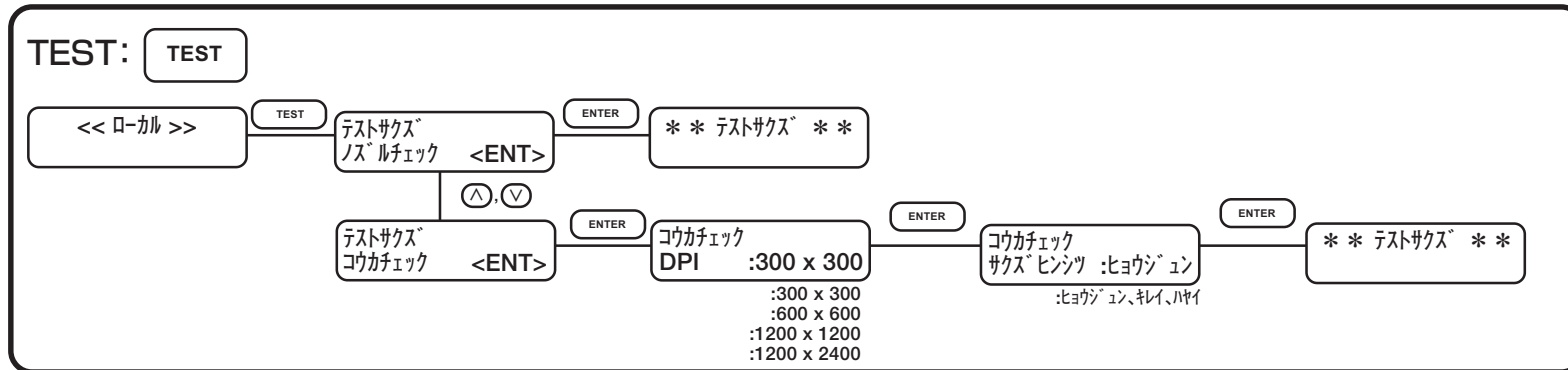
No.	注文 No	ラ	ベ	ル	No.	注文 No	ラ	ベ	ル
1	M903764				8	M901549			
2	M903763				9	M901607			
3	M903747				10	M963239			
4	M904131				11	M903330			
5	M904148				12	M904130			
6					13	M902396			
7	M903946								

お問い合わせシート

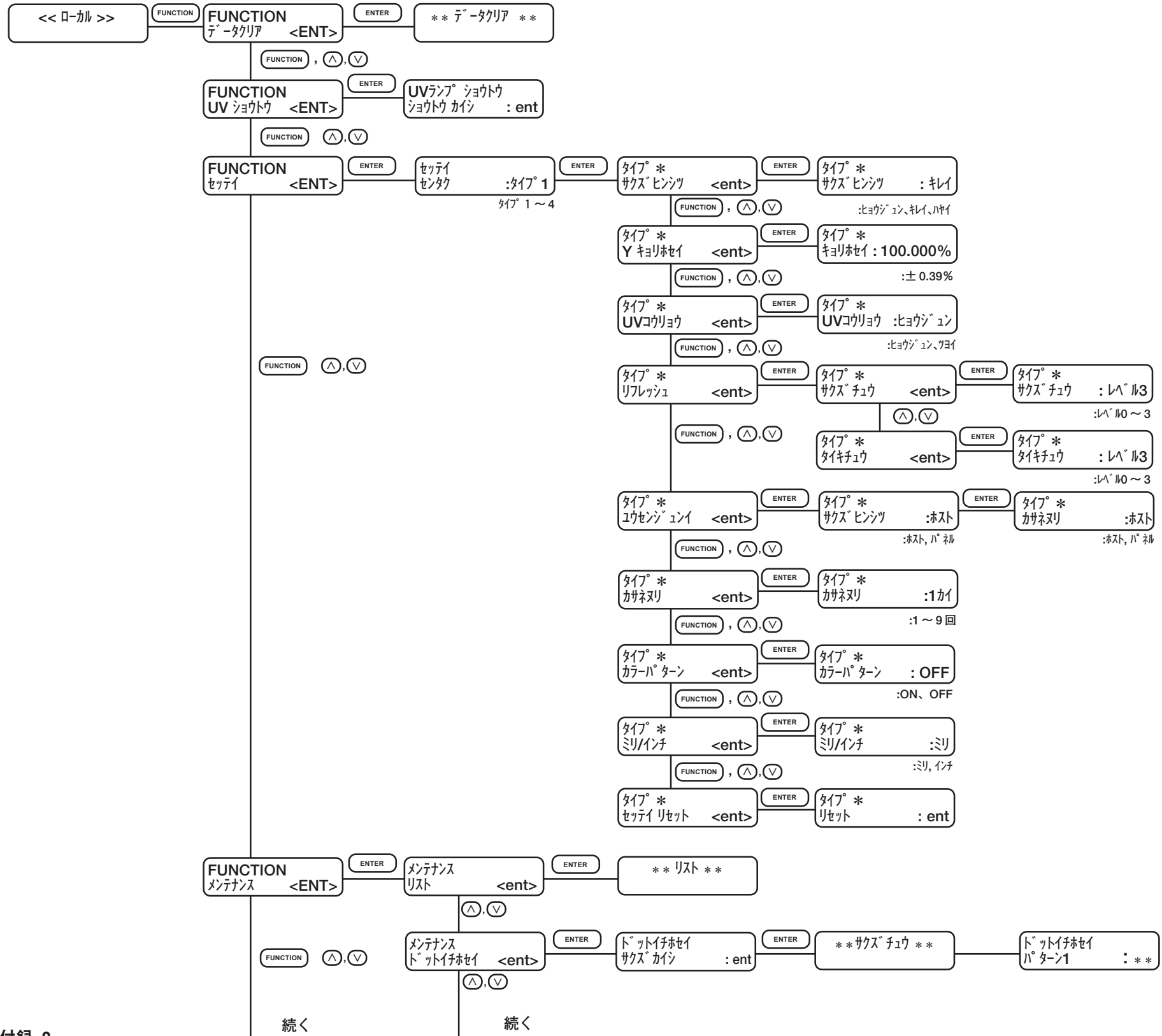
プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所までFAXでお送りください。

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンタ機種名	
お使いのOS	
マシーン情報	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

機能フローチャート



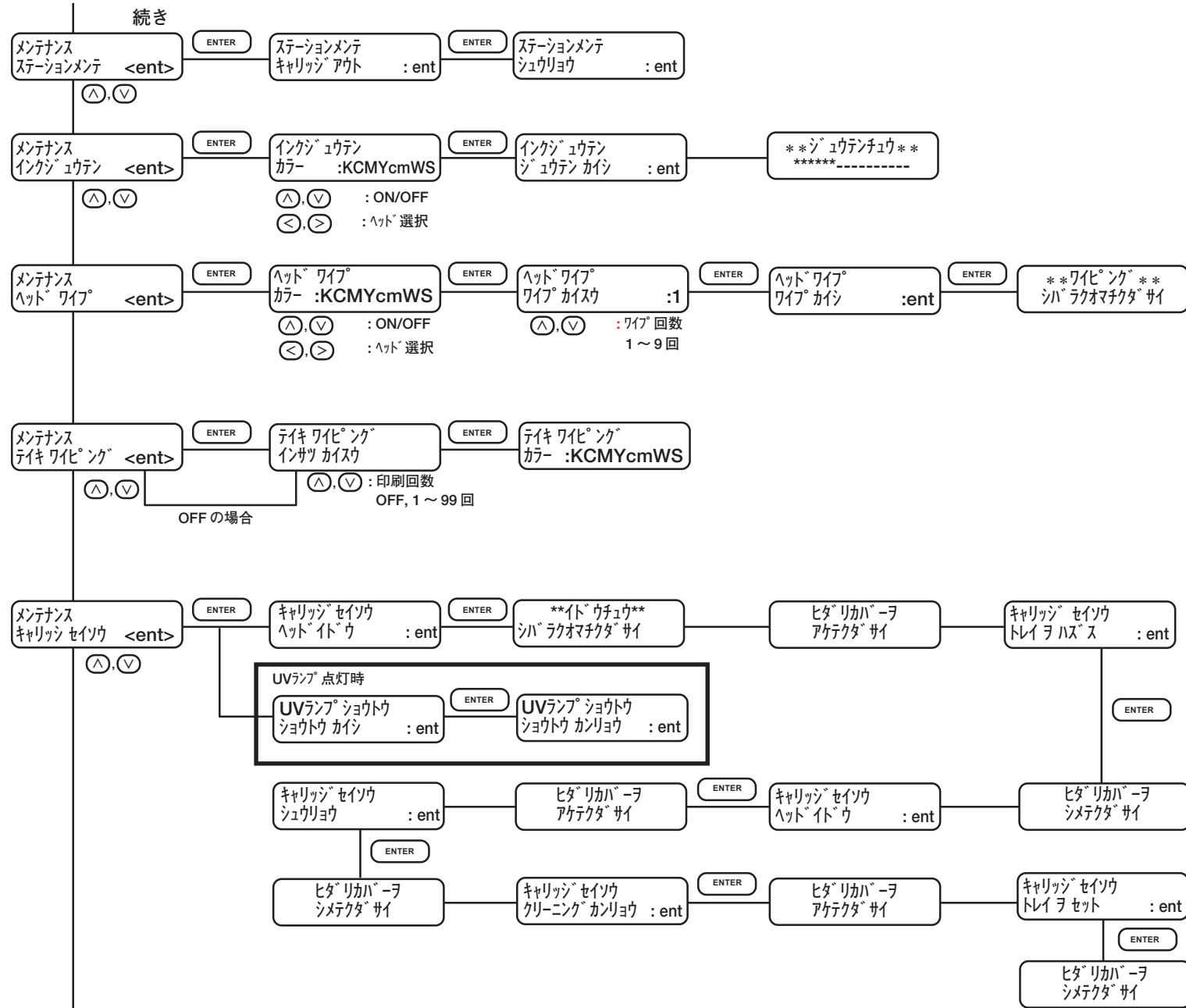
FUNCTION : FUNCTION



続き

続き

FUNCTION (A, V)

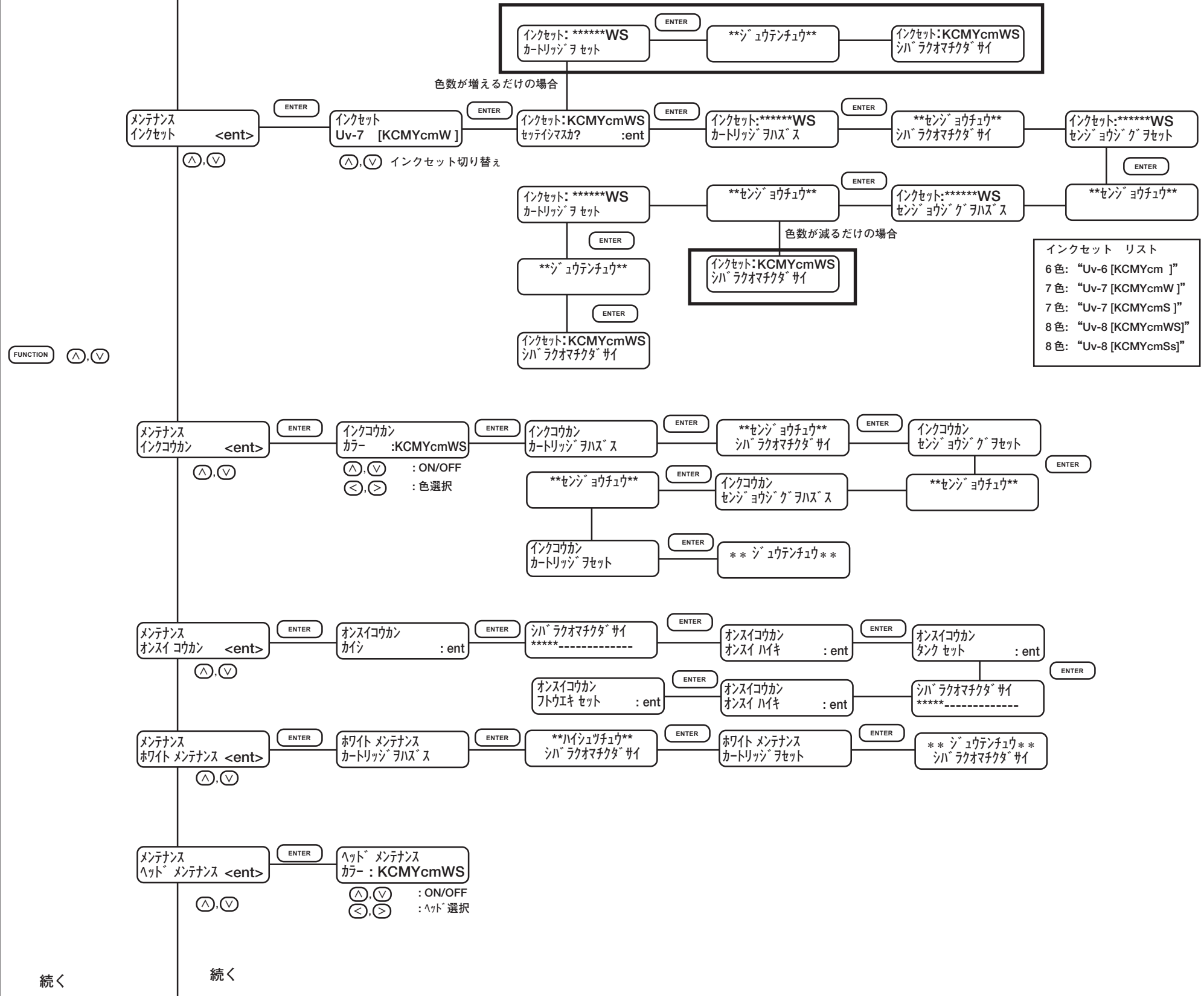


続く

続く

続き

続き

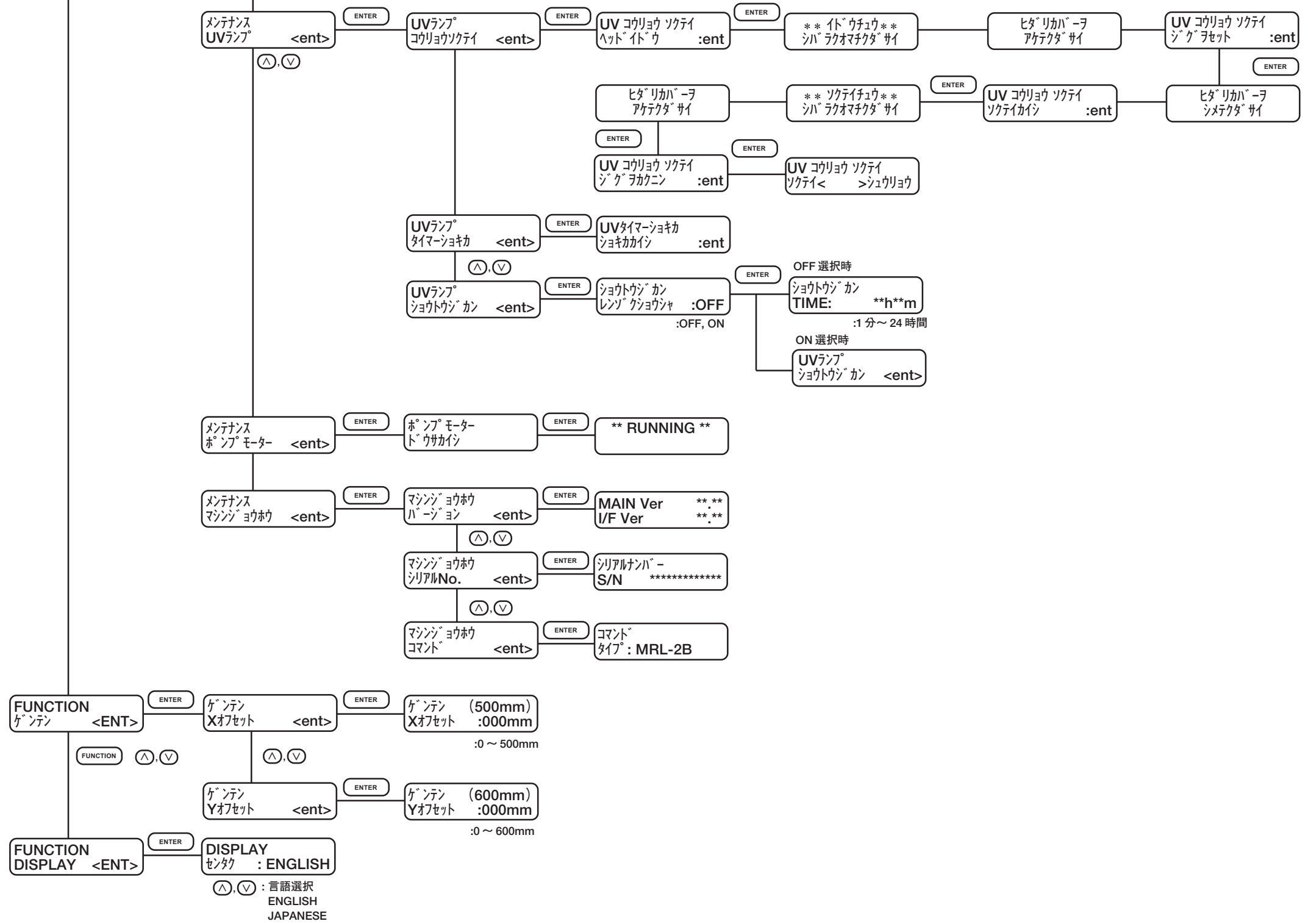


続く

続く

続き

続き



索引

- C**
- CLEANING 1-8
COPY 1-8
- D**
- DATA CLEAR 1-9
DISPLAY 4-9
- E**
- END 1-8
ENTER 1-8
- F**
- FUNCTION 1-8
- I**
- IEEE1284 1-12
IEEE1394 1-12
- R**
- REMOTE 1-8, 1-9
- T**
- TEST 1-8
- U**
- UV 硬化が弱い 5-20, 5-21
UV 光量 5-22
UV コウリョウ 4-5
UV ジュンビチュウ 6-3
UV 照射器具 1-15
 - を消灯する 4-8
UV 照度 5-23, 5-25, 5-26, 5-27, 5-28
UV ショウトウ 4-8
UV 装置 1-14
UV ランプ 5-8, 5-14, 5-15, 5-16, 5-17, 5-19
- を交換する 5-17
- Y**
- Y キョリホセイ 4-5
- ア**
- 安全にお使いいただくために
 - 絶対にしないでください xi
- イ**
- 異常なパターン 2-26
インク 1-18, 2-7, 3-8
 - 交換 2-32, 5-8, 5-14, 5-15
 - の初期充填 2-7
インク滴 .. 3-16, 3-17, 3-19, 3-21, 6-4
 - が落ちる 6-4
 - のボタ落ちを防ぐ 3-16, 3-17, 3-19, 3-21
インクジュウテン 5-7
インク仕様 付録-3
インクセット 5-9
 - を変更する 5-9
 - カラー色のみ 5-9
 - 特色インクの追加 5-11, 5-12
インターフェイスクーブル 1-12
 - IEEE1284 1-12
 - IEEE1394 1-12
- エ**
- エラーメッセージ 6-7
- オ**
- お手入れ
 - 上のご注意 3-2
お問い合わせシート 付録-6
オンスイジュンビチュウ 6-3
温水装置 1-4
 - の水を交換する 3-9, 3-11, 3-13

温水タンク 3-8

カ

カートリッジ異常が発生したら 2-33
各部の名称 1-4
カサネヌリ 4-6
画質不良が解消されない 3-3
カスレが発生する 6-4
紙タオル 3-5
カラーパターン 4-6

キ

基本仕様 付録-2
キャッピングステーション 1-10, 1-11
キャリッジ 1-10
- 下面のクリーニング 3-16, 3-20
キャリッジアウト 5-6
キャリッジセイソウ 3-16
吸引ノズル 1-10

ク

クリーニング 2-26
フラッシングトレイの 3-5

ケ

ケーブルを接続する 1-12
- インターフェイスケーブル 1-12
- 電源ケーブル 1-13
警告ラベル 付録-4
ゲンテン 2-23

コ

ゴースト 3-3, 3-5
コウカチェック 5-18, 5-20
故障？と思う前に 6-2
コピー 2-29
コマンド 2-5

サ

作図
- できない 6-2
- を開始する 2-27
作図原点 2-21
作図原点の設定
- FUNCTIONメニューから 2-23
- ジョグ 2-22
作図条件
- の設定の前に 4-2
- の登録 4-4
サクズヒンシツ 4-5
作図方式
- をプリンター側で設定する 4-5
サブスイッチ 1-4, 1-9

シ

受信障害について ii
照射時間 5-17
- をリセットする 5-18
- を確認する 2-5, 5-17
消灯時間
- を設定する 5-19
ショウトウジカン 5-18, 5-19, 5-20, 5-21
情報を表示する 2-4, 5-29
正面カバー 1-4
ジョグ xviii
シリアル番号 5-29
白インク 3-14
- の定期メンテナンス 3-14, 3-15

ス

ステーション内部 3-3
- の洗浄 3-3
- の汚れがひどい 3-3

セ

正常なパターン 2-25
清掃棒 3-3

接地工事	xii
C種の -	xi
特別第3種 -	xi
セッテイリセット	4-7

ソ

操作パネル	1-4, 1-6
-------------	----------

タ

第2種電気工事士	xii
タイプの選択	4-4
タッチパネル	xviii

チ

長期間使用しない場合	3-2
------------------	-----

テ

テーブル	
-、外装のお手入れ	3-2
テキワイピング	5-8
ディスプレイ	1-6, 1-8
-の表示言語を変更する	4-9
ディスプレイ表記	xviii
手袋	3-3, 3-5
電気工事	xii
電源	
-が入らない	6-2
-のオフ	2-34

ト

特色インク	5-11, 5-12
ドットイチホセイ	5-4
トラブル	6-5, 6-7
取扱説明書	
-操作キー	xviii
-ディスプレイとキーの表記	xviii
本書の構成	xix
-マーク表示について	表-2, ix

ニ

日常のお手入れ	3-2
---------------	-----

ノ

ノズル詰まり	2-25
-が復旧しない	5-7
ノズル面のクリーニング	3-20

ハ

バージョン	2-5, 5-29
廃インク	3-7
廃インクタンク	1-4

フ

ファンクションモード	1-20
不凍液	3-8
フラッシングトレイ	3-5
プリンタの移動	
-レベルフットを上げる	1-3
プリントヘッド	1-10
ブロウユニット	1-4

マ

マーク表示について	表-2, ix
マシジョウホウ	5-29, 2-5

ミ

ミズブソク	3-8
ミリ/インチ	4-7

メ

メッセージを表示するトラブル	6-5, 6-7
メディア	2-8
-について	1-19
-をセットする	2-8
-の厚みが変わったら	5-4
-の伸縮	1-19

-の反り	1-19
メニューモード	
-を確認する	4-2
メンテナンス	
-機能の導入について	5-2
メンテナンス用洗浄液	3-3, 3-5

ユ

ユウセンジュンイ	4-6
----------------	-----

リ

リスト	5-3
リフレッシュ	4-6

レ

レベルフット	
-を上げる	1-3
連続照射 OFF	5-19
連続照射 ON	5-19

ワ

ワーニングエラー	6-5
----------------	-----

UJF-605R 取扱説明書

2007年12月

発 行 者 株式会社ミマキエンジニアリング
発 行 所 株式会社ミマキエンジニアリング
長野県東御市加沢 1333-3
〒389-0514 Tel: 0268-64-2413 (代)

